

## *Wax-up · FCZ IB / Wax-up · FCZ インプラントブリッジ*

- *FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン*
- *FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン*

*For Full Contour / フルカントウア*



## *CAD · FCZ IB / CAD · FCZ インプラントブリッジ*

- *FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン*

*For Full Contour / フルカントゥア*



# DTX Studio Lab 1.10

- FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Scan



修復物のデザイン

スキャンから模型を製作

模型のスキャンと送信

症例のインポート

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

以下情報を各項目に入力し、【次へ】をクリックします

**患者：(必須項目)**  
患者名を入力します

**症例ID：**  
患者毎に割り当てられたカルテNo等を入力します(※省略可)

**期日：**  
入力した年月日から、ソフトウェアが期日を計算します(※省略可)

**歯科医院：郵便番号(必須項目)**  
歯科医院名を入力いたします。

**歯科技工所または歯科医院：**  
歯科技工所または歯科医院名を入力いたします(※省略可)

症例を追加 × キャンセル

### 症例情報

患者 (必須項目)

症例ID

期日  
25 3月 2019

### 歯科医の情報

歯科医名 (必須項目) 郵便番号 (必須項目)

歯科技工所または歯科医院

● ○ 次へ >

# DTX Studio Lab 1.10

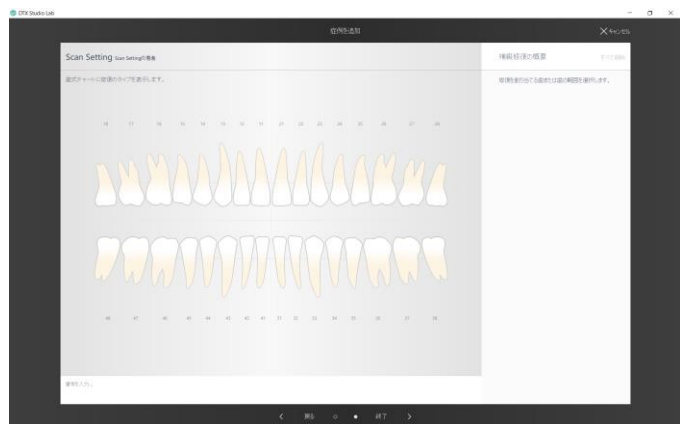
● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

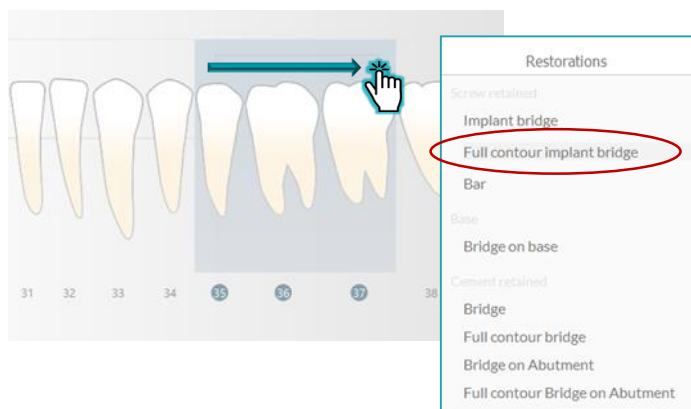
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する範囲をドラッグ&ドロップを行い、製作部位の背景色を反転させると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【Full contour implant bridge】を選択します

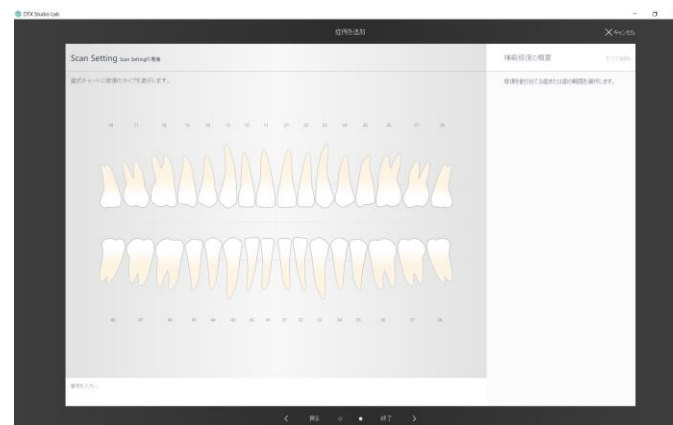


Scan

Genion 2 Scanner

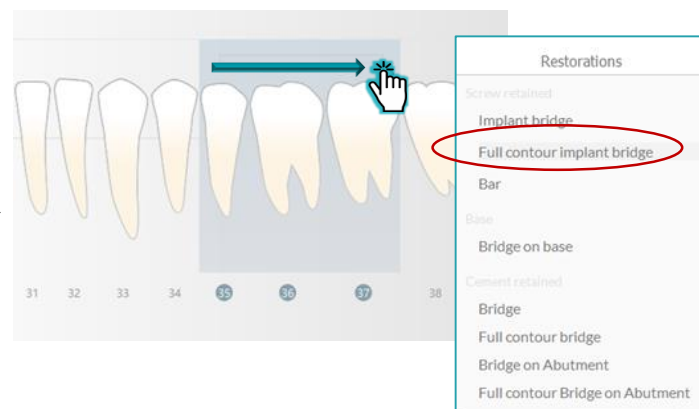
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する範囲をドラッグ&ドロップを行い、製作部位の背景色を反転させると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【Implant bridge】を選択します



# DTX Studio Lab 1.10

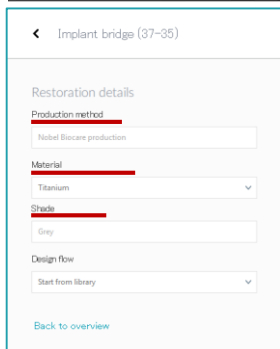
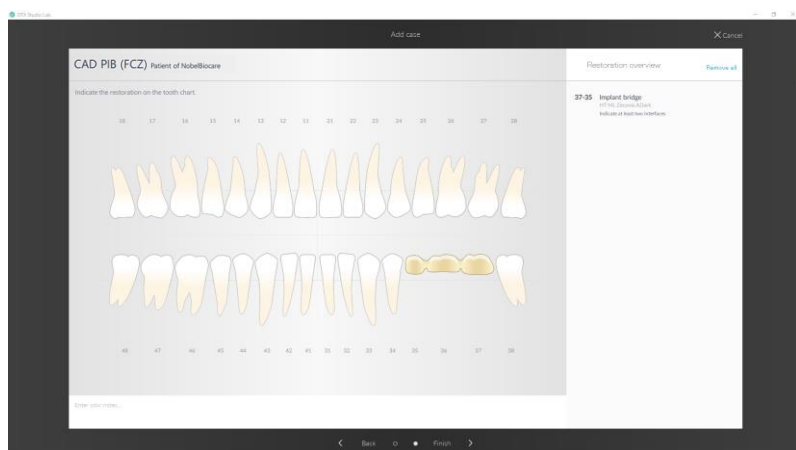
● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



材質、色調、デザイン方法  
を選択いたします

【デザイン方法】  
Start from library  
Start from diagnostic

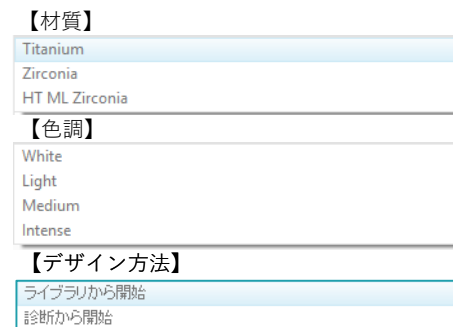
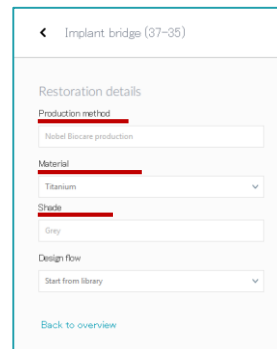
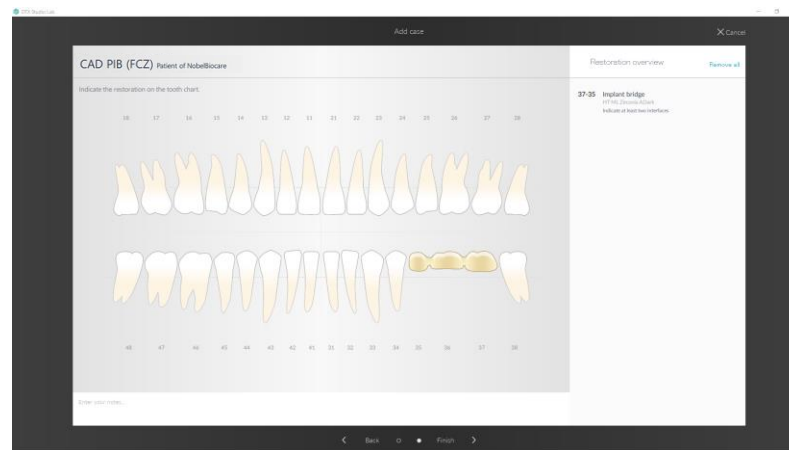
CAD デザインとワックスアップ・スキャンで選択  
ワックスアップ・スキャンでのみ選択



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



材質、色調、デザイン方法  
を選択いたします

【デザイン方法】  
ライブラリから開始  
診断から開始

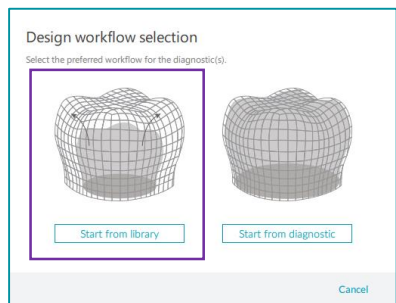
CAD デザインとワックスアップ・スキャンで選択  
ワックスアップ・スキャンでのみ選択



【新規デザインを開始する】

デザインワークフローの選択

【Start from library】ライブラリから開始



DTX STUDIO Lab ソフトウェア内のライブラリーデータを用い、Wax-upスキャンデータに手動で合わせる方法です。

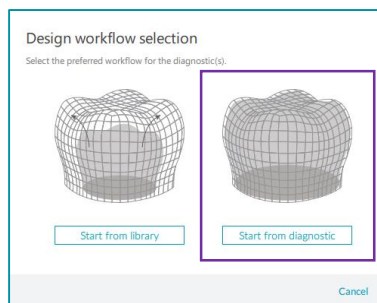
歯牙1本単位での全周囲カットバックや、コネクターのデザイン、歯肉のCADデザインを行うことが可能です。

詳細な設定が可能なワークフローです。

【Start from Diagnostic】【診断から開始】を選択した場合は、カットバック機能のthimble機能がご使用できません



【Start from Diagnostic】診断から開始

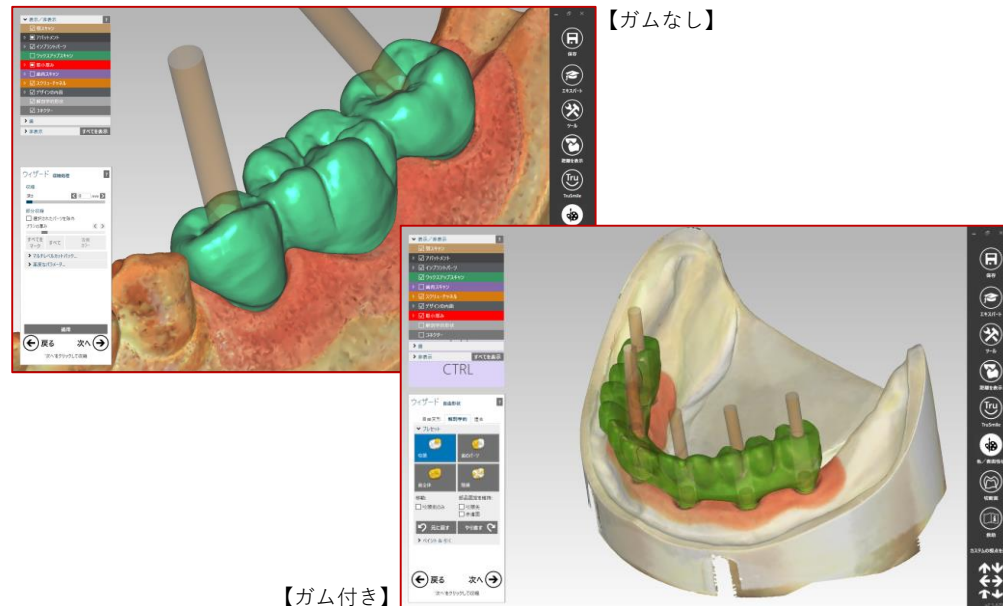
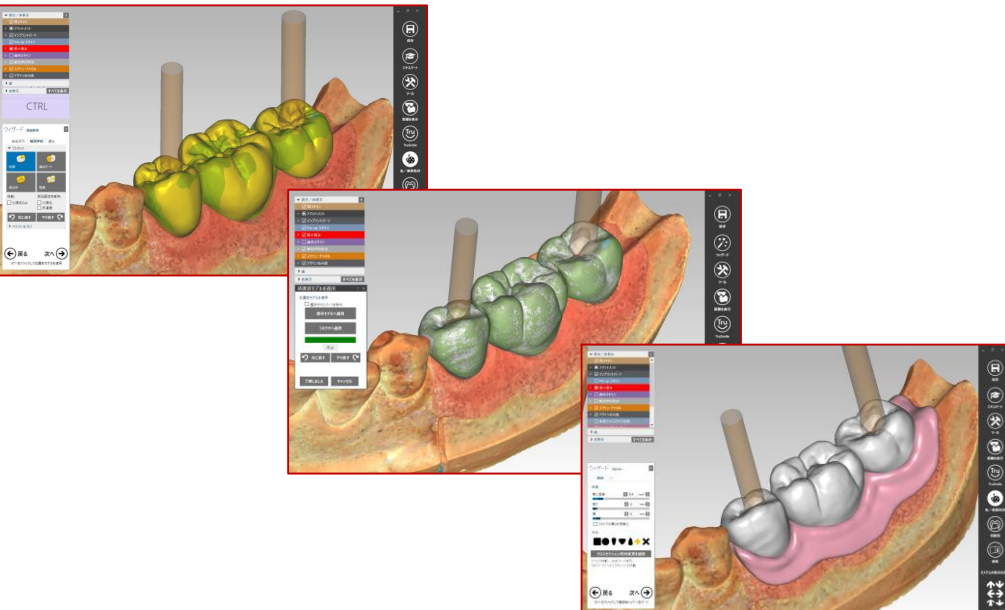


DTX STUDIO Lab ソフトウェア内のライブラリーデータをWax-upスキャンデータに自動で合わせる方法です。

デザインワークフローの初期から、全てのデータが結合され、修復物全体を一つのデータとしてデザインを行います。

効率的なワークフローです。

歯肉デザイン機能はありません。  
ワックスアップ・フレームで歯肉部分を製作してください。



【ガムなし】

【ガム付き】



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

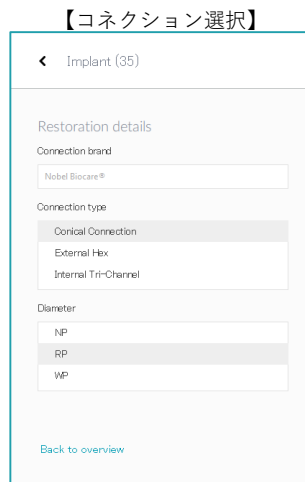
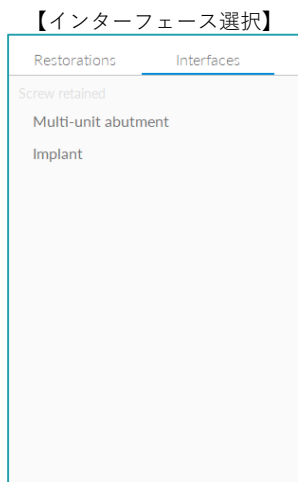


インプラント埋入部位にカーソルを合わせ、背景色を反転させ左クリックします。修復物選択ウィンドウが表示されます。

採得してある印象に合わせて、インターフェースを、**【Multi-unit abutment】** もしくは **【Implant】** を選択します。

コネクションの種類とサイズを決定します。

設定が完了したら **【Finish】** をクリックします。



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

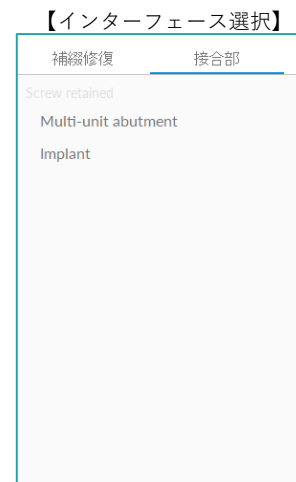


インプラント埋入部位にカーソルを合わせ、背景色を反転させ左クリックします。修復物選択ウィンドウが表示されます。

採得してある印象に合わせて、インターフェースを、**【Multi-unit abutment】** もしくは **【Implant】** を選択します。

コネクションの種類とサイズを決定します。

設定が完了したら **【終了】** をクリックします。





Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

## 修復の詳細

← Implant bridge (37-35)

Restoration details

Production method  
Nobel Biocare production

Material  
Titanium

Shade  
Grey

Design flow  
Start from library

[Back to overview](#)

例：(本項での手順)  
**Implant Bridgeを製作する場合**  
(NobelBiocare インプラントシステムのみ適応)

- Production method  
・ NobelBiocare Production center のみ
- Material  
・ HT ML Zirconia
- Shade (Zircino系)  
・ HT ML Zirconia (6色から選択)
- Design flow  
・ Start from Library  
・ Start from diagnostic
- Connection brand  
・ NobelBiocare のみ
- Connection type  
・ 選択したシステムに準ずる  
Conical ConnectionのみASC機構可
- Diameter  
・ 選択したシステムに準ずる

Restoration details

Connection brand  
Nobel Biocare

Connection type  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

Diameter  
NP  
RP  
WP



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

## 修復の詳細

← インプラント・ブリッジ (37-35)

修復の詳細

製作方法  
Nobel Biocare production

材質  
Titanium

シェード  
Grey

デザイン・フロー  
ライブラリから開始

[概要に戻る](#)

例：(本項での手順)  
**Implant Bridgeを製作する場合**  
(NobelBiocare インプラントシステムのみ適応)

- 製造方法  
・ NobelBiocare Production center のみ
- 材質  
・ HT ML Zirconia
- シェード  
・ HT ML Zirconia (6色から選択)
- デザイン・フロー  
・ ライブラリから開始  
・ 診断から開始
- コネクションのメーカー名  
・ NobelBiocare のみ
- コネクションのタイプ  
・ 選択したシステムに準ずる  
Conical ConnectionのみASC機構可
- 直径  
・ 選択したシステムに準ずる

修復の詳細

コネクションのメーカー名  
Nobel Biocare

コネクションのタイプ  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

直径  
NP  
RP  
WP



# DTX Studio Lab 1.10

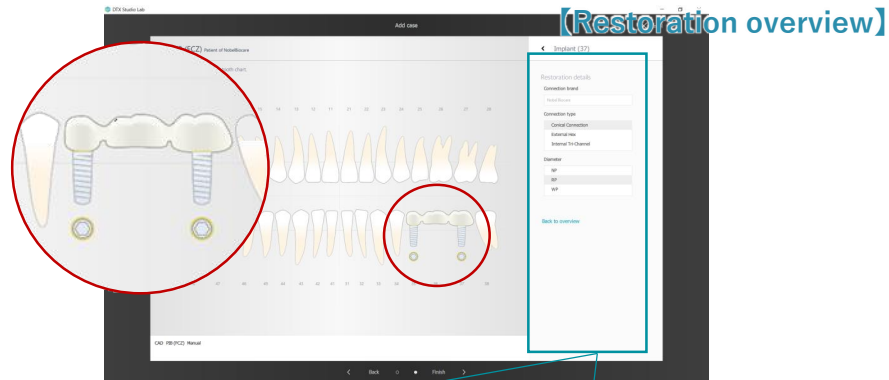
## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



Restoration details

**Connection brand**

Nobel Biocare

**Connection type**

Conical Connection

External Hex

Internal Tri-Channel

**Diameter**

NP

RP

WP

インプラントを選択します

Restoration details

**Production method**

Nobel Biocare production

**Material**

HT ML Zirconia

**Shade**

AWhite

**Design flow**

Start from library

Back to overview

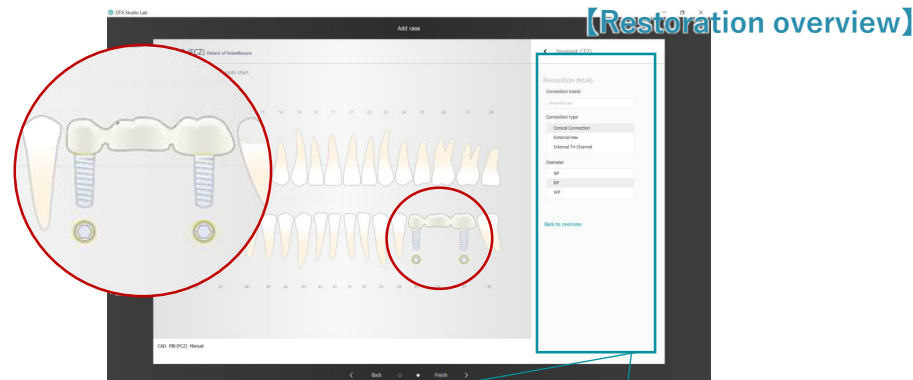
製作方法、材質、色調、  
デザイン方法を選択いたします



Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



**コネクションのメーカー名**

Nobel Biocare

**コネクションのタイプ**

Conical Connection

External Hex

Internal Tri-Channel

**直径**

NP

RP

WP

インプラントを選択します

修復の詳細

**製作方法**

Nobel Biocare production

**材質**

HT ML Zirconia

**シェード**

AWhite

**デザインフロー**

ライブラリから開始

概要に戻る

製作方法、材質、色調、  
デザイン方法を選択いたします

# DTX Studio Lab 1.10

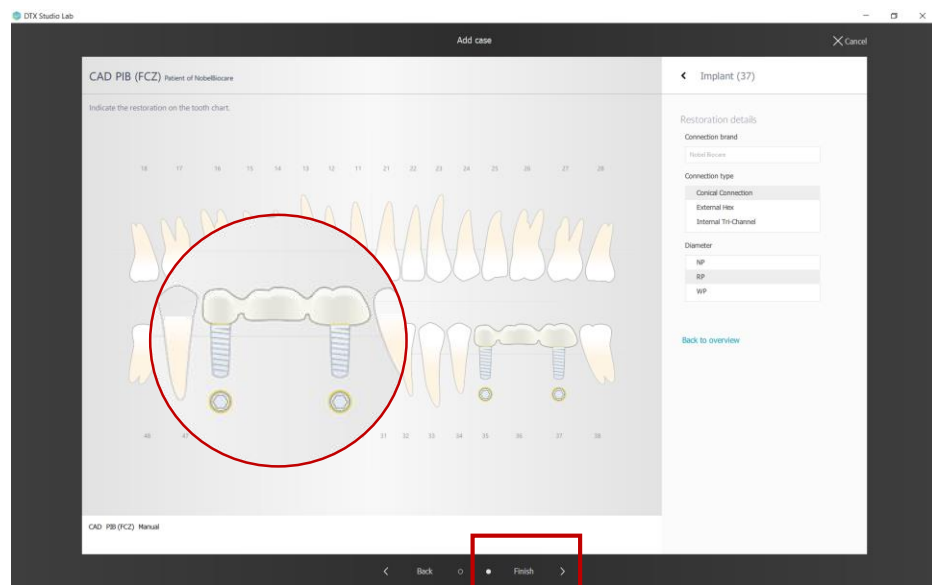
## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



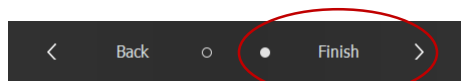
Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



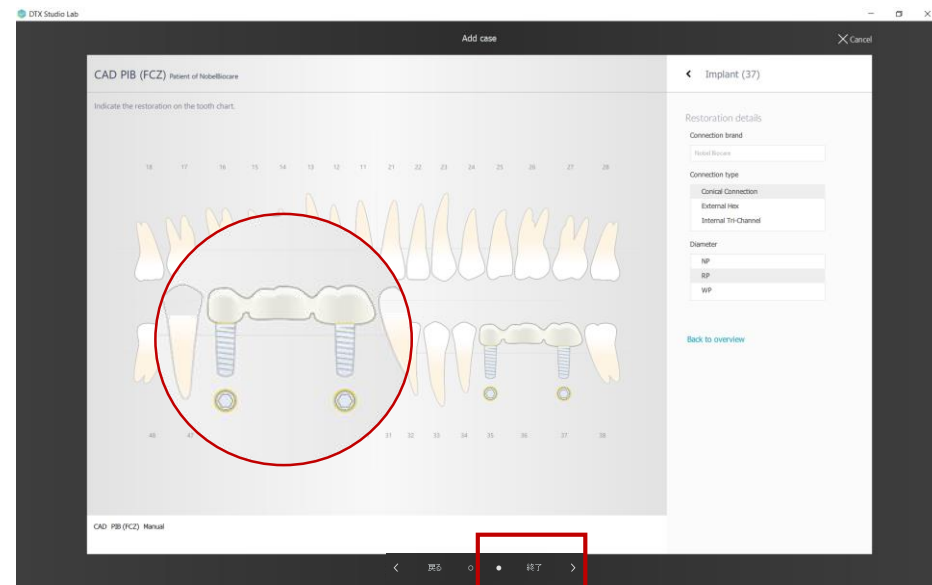
設定が完了したら、画面下の【Finish】ボタンで終了します



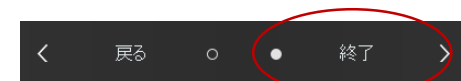
Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の【終了】ボタンで終了します



# DTX Studio Lab 1.10

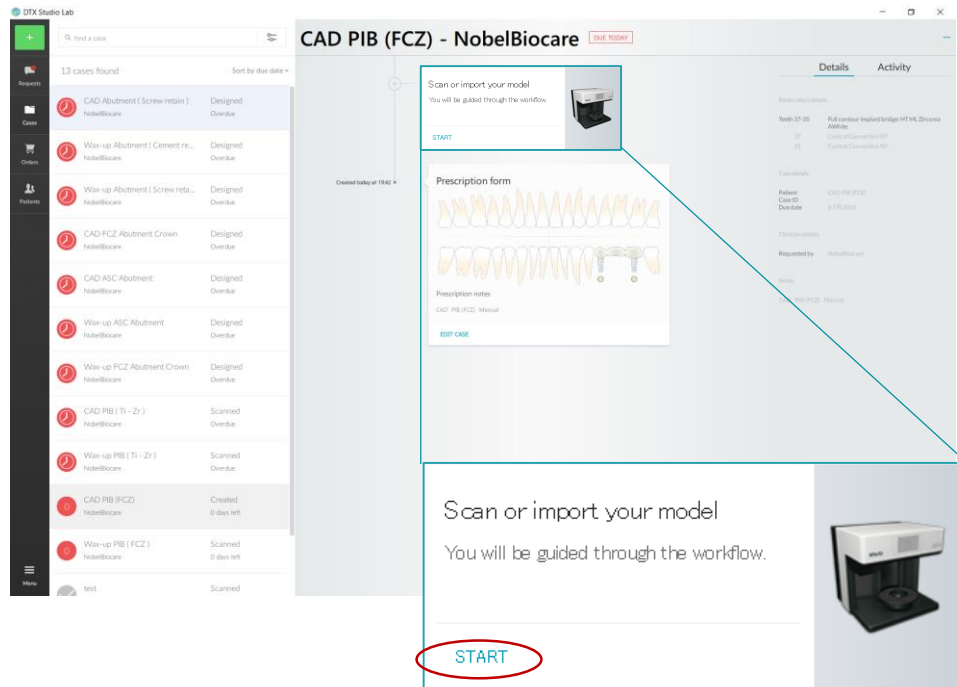
● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



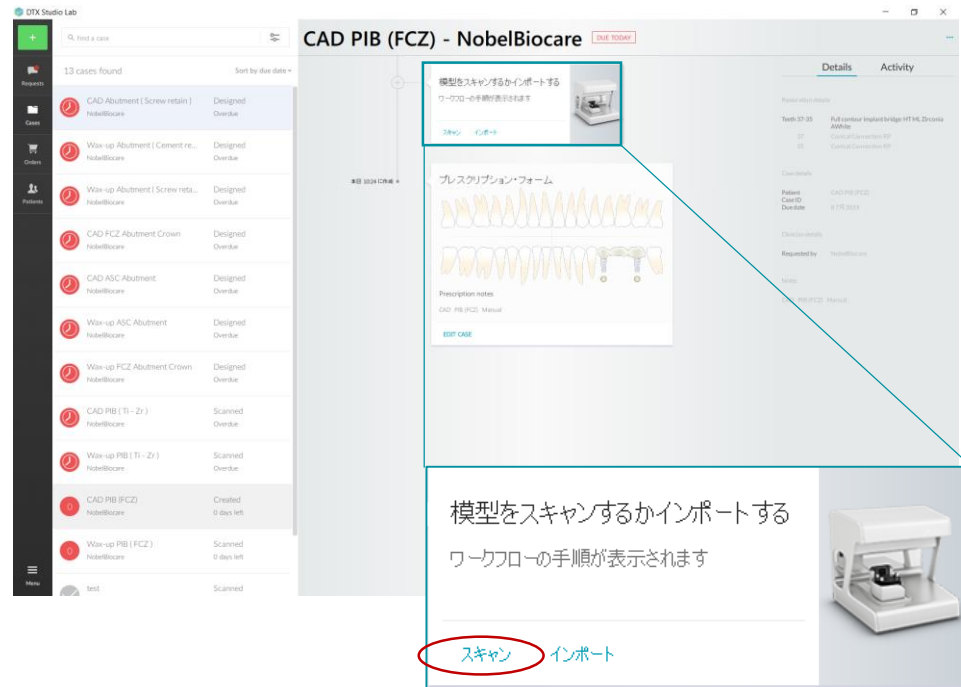
上段の、【SCAN】ボタンから、スキャンを開始します



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【スキャン】ボタンから、スキャンを開始します

# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



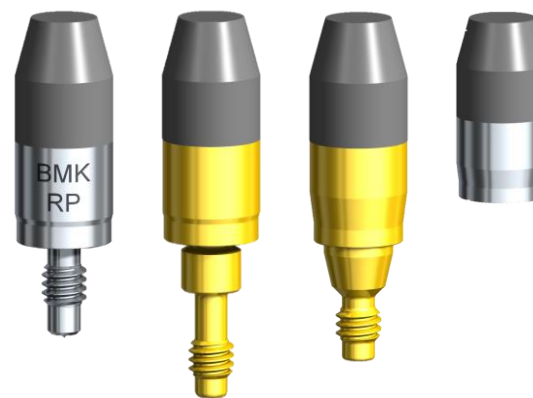
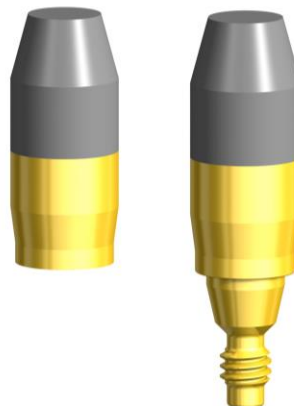
## 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

- 作業模型
  - ・ Wax-Up フレーム
  - ・ 分割模型が望ましい
  - ・ ガム材使用が望ましい
- アバットメントポジションロケーター



作業模型 & Wax-Upフレーム



NobelProcera Model Position Locator  
ポジションロケーター 模型用 ( Model )



## Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーにスキャン模型を固定し、LS3 スキャナーへ装着します。 ※図1

KaVoプロッター咬合器専用のマウンティングプレートを着用している場合は、直接スキャナーに装着します ※図2

図1



モデルホルダへの装着例

図2



KaVoプロッター咬合器専用のマウンティングプレートへ装着例



## Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーG2にスキャン模型を固定し、Genion2 スキャナーへ装着します。



# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

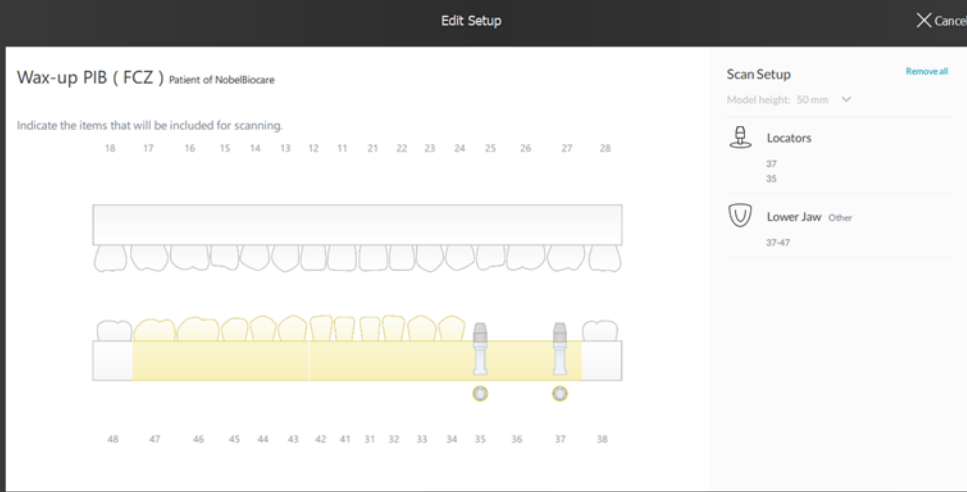
Scanの設定を行います



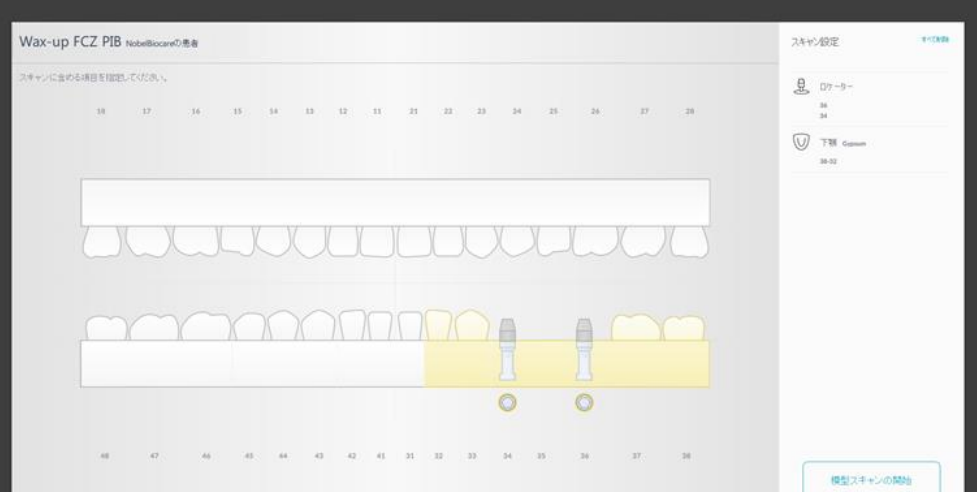
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)



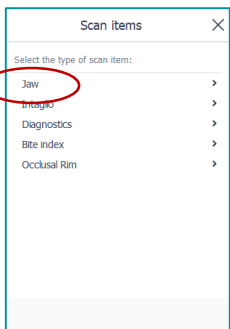
顎のスキャン範囲を変更したい場合

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38

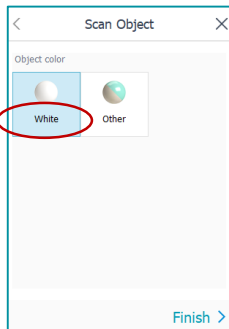


スキャン範囲をドラッグし反転させます

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



Scan itemsから  
【Jaw】を選択します



Scan Objectを  
選択し【Finish】をク  
リックし終了します

※ 模型にスプレーを行う  
場合は、【White】を選択  
してください



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)



顎のスキャン範囲を変更したい場合

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38

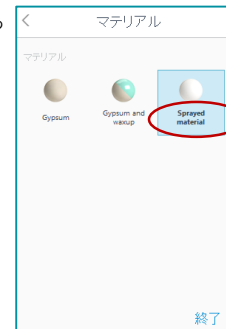


スキャン範囲をドラッグし反転させます

48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



スキャン・アイテムから  
【顎】を選択します



マテリアルを  
選択し【終了】をクリッ  
クし終了します

※ 模型にスプレーを行う  
場合は、【Sprayed  
material】を選択してく  
ださい

# DTX Studio Lab 1.10

- FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up PIB ( FCZ ) Patient of NobelBiocare

Indicate the items that will be included for scanning.

18 17 16 15 14 13 12 11 21 22 23 24 25 26 27 28



48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up FCZ PIB NobelBiocareの患者

スキャンに含める項目を指定してください。

18 17 16 15 14 13 12 11 21 22 23 24 25 26 27 28



48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



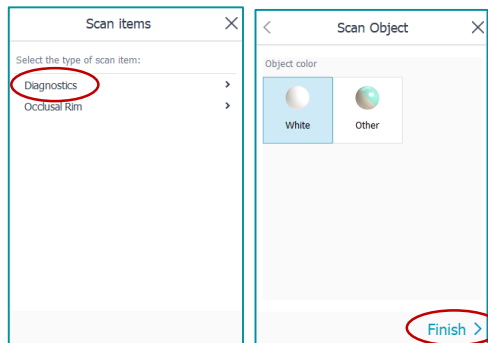
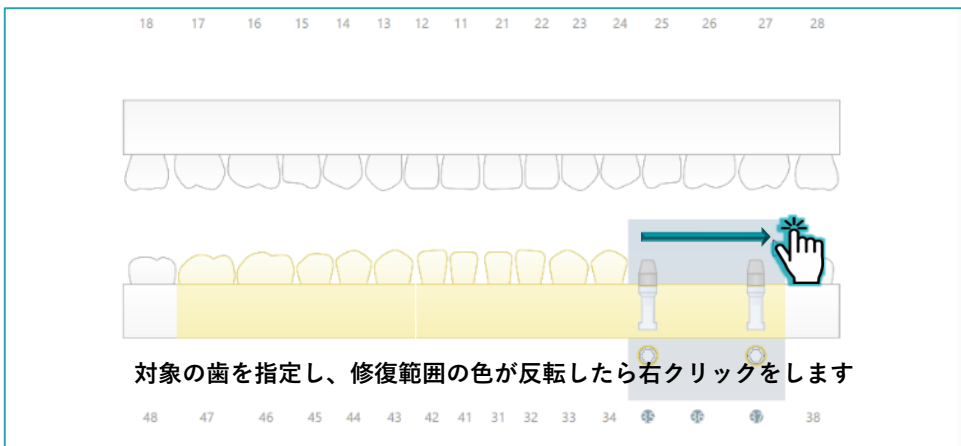


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

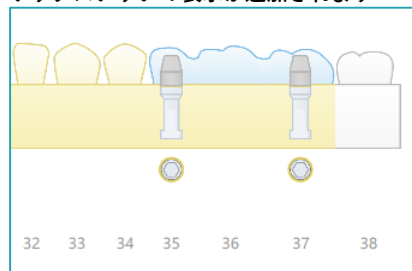
Scan設定の項で、デザイン方法を【Start from diagnostic】を選択した場合は、ワックスアップ・スキャンが予め設定されています。

Wax-UpのScan範囲設定を行います (修復する顎)



- ・ Scan itemsから【Diagnostics】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします

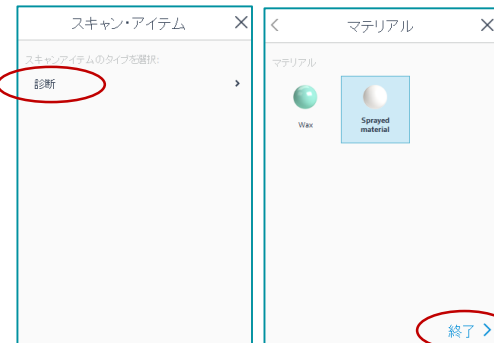
ワックスアップの表示が追加されます



Genion 2 Scanner

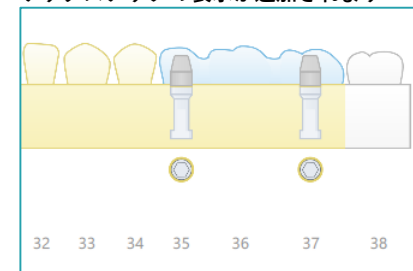
【新規スキャンを開始する場合】

ワックスアップのScan範囲設定を行います (修復する顎)



- ・ スキャン・アイテムから【診断】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします

ワックスアップの表示が追加されます



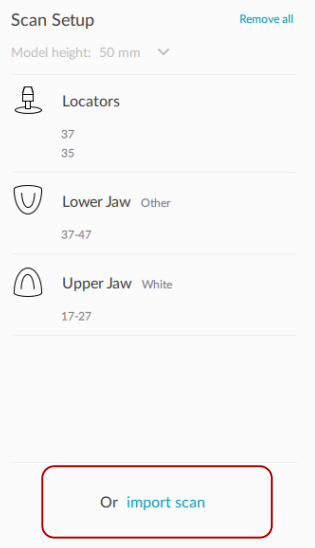


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

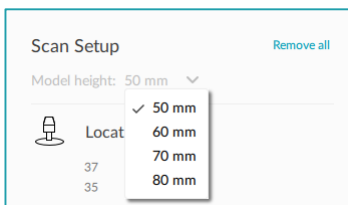
Scanの設定を行います

設定を行うと同時に、Scan Setupの項目が追加され、Scanの準備が整います



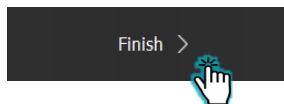
本項では、対合模型のScan方法で説明しています

【import scan】から、IOS等から得た、stl fileを取り込むことが可能です。



Scan Setupから、模型の高さを選択できます。ドロップダウン・リストから選択します。

設定が完了したら、画面下の【Finish】をクリックし設定を完了します

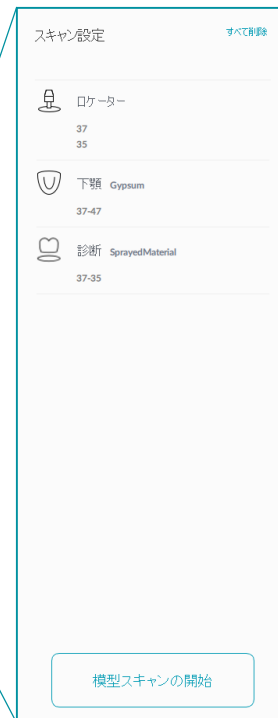
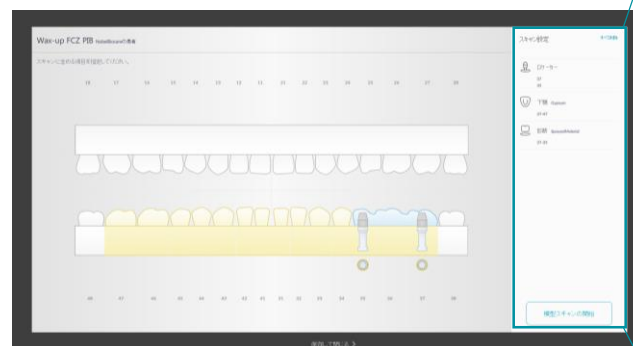


Genion 2 Scanner

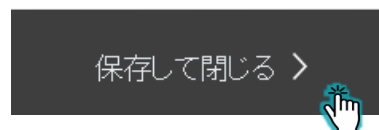
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

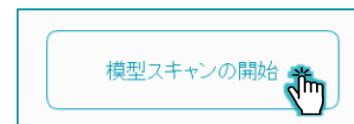
設定を行うと同時に、スキャン設定の項目が追加され、Scanの準備が整います



設定が完了し保存したい場合は、画面下の【保存して閉じる】をクリックし設定を保存します。



設定が完了しスキャンに移動したい場合は、スキャン設定下部の【模型スキャンの開始】をクリックします。

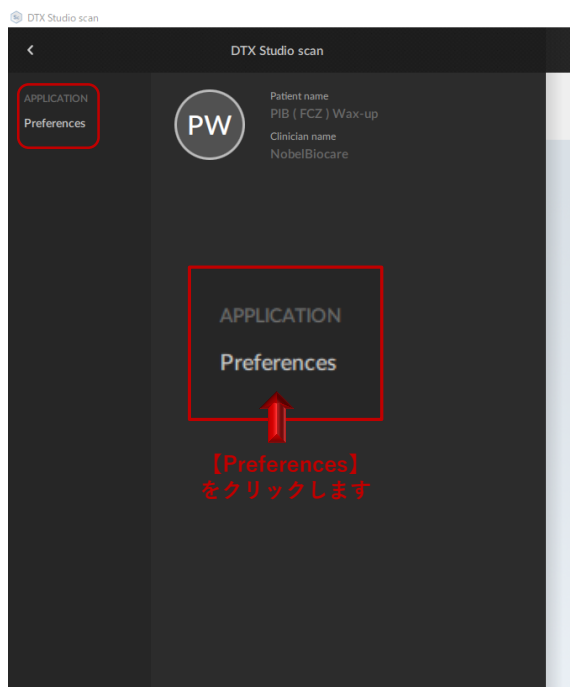
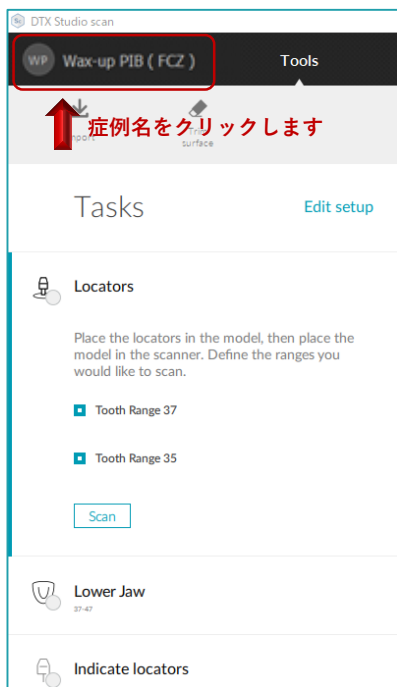




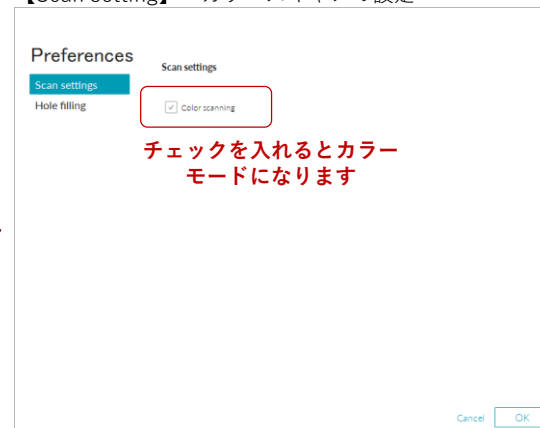
KAVO LS3 Scannerのみの項目となります

## 【スキャンの設定を行います】

Scan Menu上部の症例名をクリックします。  
ソフトウェアMenuから【Preferences】をクリックします。



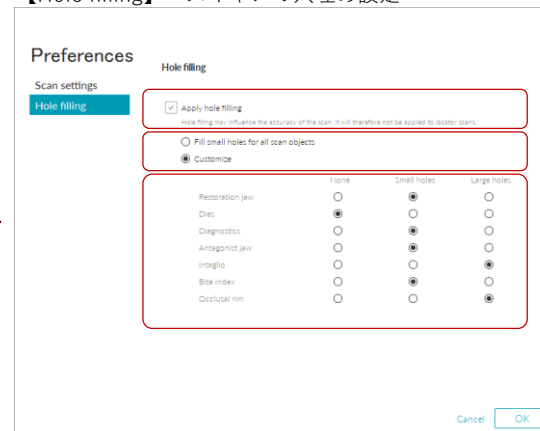
## 【Scan setting】 - カラースキャンの設定



【Scan setting】 から、カラースキャンの設定が行えます。  
【Color scanning】のチェックを入れると、カラースキャンモードになります。

\*スキャン対象物ごとに、ON/OFFが切り替えられます

## 【Hole filling】 - スキャンの穴埋め設定



【Hole filling】 から、スキャン対象物の甘梅設定が行えます。

【Apply hole filling】  
穴埋め機能の ON/OFF設定  
(チェックを入れるとONとなります)

【Fill small holes for all scan objects】  
全てのスキャンデータに出来た、小さい範囲の穴を自動で埋めます。

【Customize】  
それぞれの対象物ごとに、穴埋め設定を行なう事ができます。  
None : 穴埋めなし  
Small holes : 小さい穴埋め  
Large holes : 大きい穴埋め

設定が完了したら【OK】をクリックします。



# DTX Studio Lab 1.10

## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

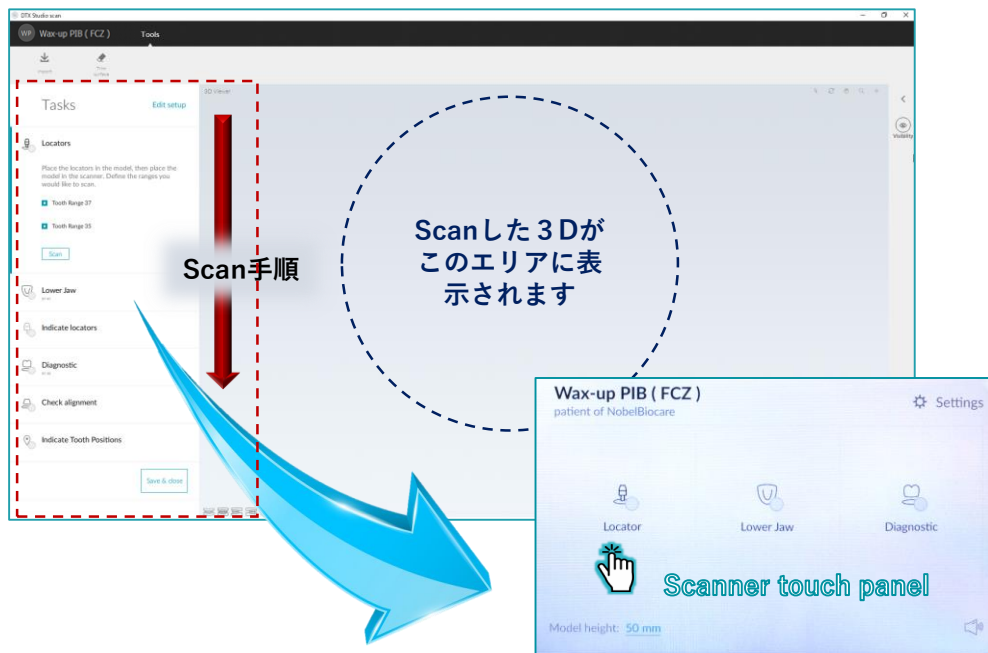
ブリッジの場合は複数本のLocatorがあります。  
歯式の番号を間違えないようにご注意ください。

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

Scan Tasksに表示されている順番(上から下)でScanを行ってください。  
各項目の【Scan】をクリックするとScanを開始します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。  
各項目をタッチし、さらに【Scan】をタッチするとスキャンを開始します



Genion 2 Scanner

Scan

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

領域指定オブジェクトが表示されますので、スキャン対象物に領域指定を行いScanを行ってください。  
各項目画面下の【>】を左クリックするとScanが開始します。



スキャン対象物に領域指定を行い  
Scanを開始します

スキャン領域設定

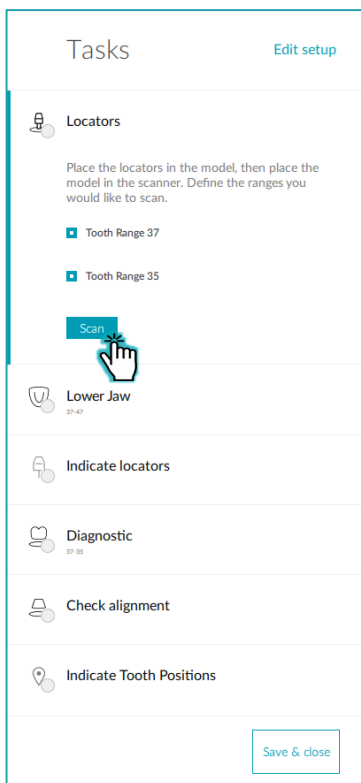


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Locators項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータの【スキャン】を開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



**POINT**

ポジションロケータが足りない場合は、模型にセットされていないロケータの部位を確認し、【ロケータのリスト】から対象部位のチェックを外してください。  
最初のロケータをスキャンした後に、残りのロケータをスキャンします。

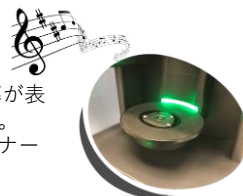


Kavo LS3 Scanner

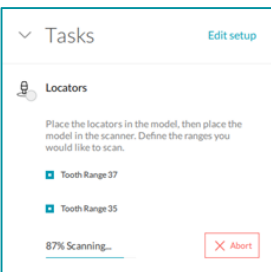
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

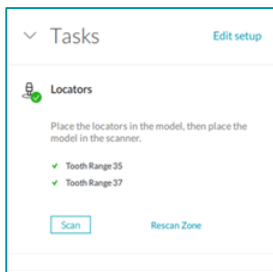
Scanを実行すると、TasksにScanning 進行率が表示され、画面中央に3Dデータが表示されます。Scanが終了すると、効果音とともに、スキャナーが緑色に光ります



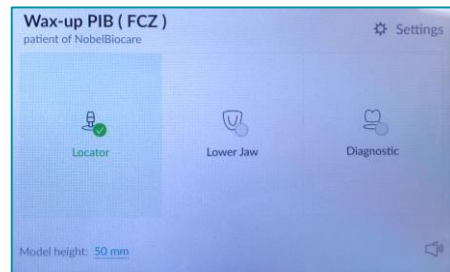
Scanが終了すると、項目アイコンの横にチェックマークが点灯します



Scan進行中の画面 (ソフトウェア側)



Scan終了時の画面 (ソフトウェア側)



Scan終了時の画面 (スキャナー側)



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します

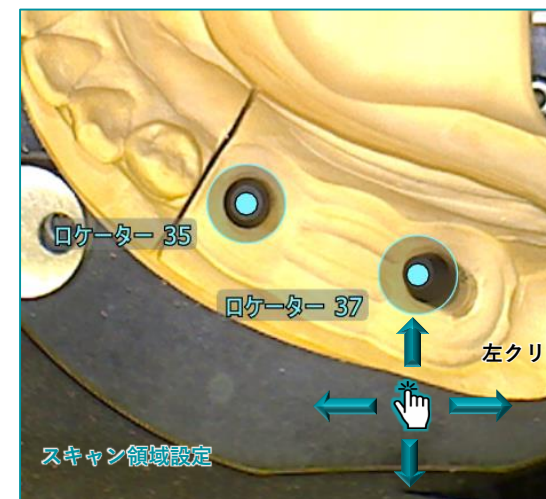


ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します

- ロケータ-37  
Conical Connection RP
- ロケータ-35  
Conical Connection RP



ロケータ-35

ロケータ-37

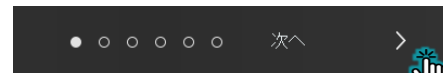
左クリック

スキャン領域設定

Scan対象物に領域指定を行い、画面下の【>】を左クリックすると、Scanを開始します



左ドラック：ポイントをつかみ、移動します

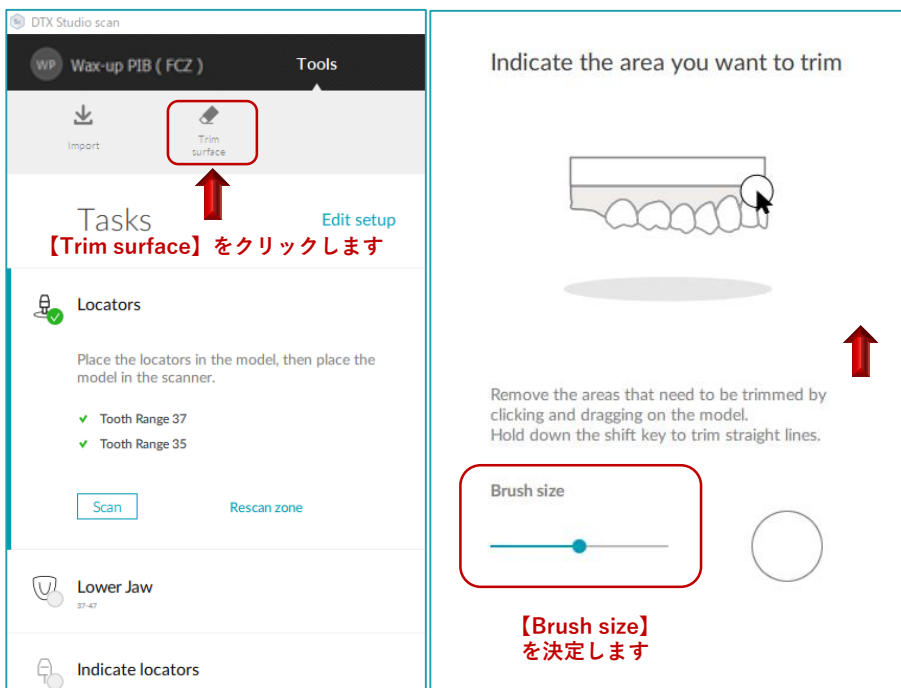




KAVO LS3 Scannerのみの項目となります

## 【スキャンの設定を行います】

Scan Menu上部の【Trim surface】をクリックします。  
左ドラッグで不要なデータをトリミングすることができます。



## 【Trim surface】 - データ・トリミング機能



設定が完了したら【Finish】をクリックします。

Finish >

# DTX Studio Lab 1.10

- FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン

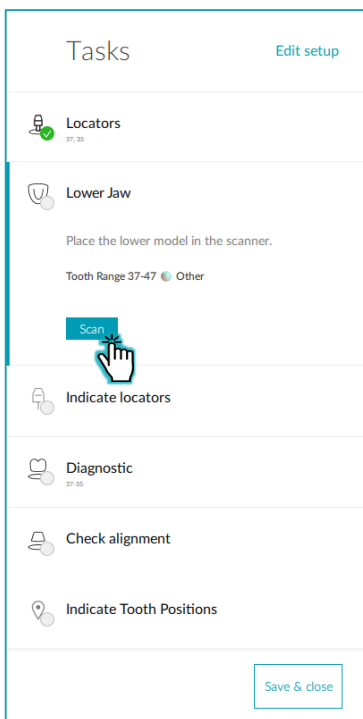


Kavo LS3 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(修復側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。



Genion 2 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン





# DTX Studio Lab 1.10

- FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(修復側の顎)のスキャン完了

Tasks Edit setup

- Locators 07:38
- Lower Jaw**  
Place the lower model in the scanner.  
Tooth Range 37-47 Other  
Scan Rescan zone
- Indicate locators
- Diagnostic 07:35
- Check alignment
- Indicate Tooth Positions

Save & close

カラースキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン完了

CAD 001 (11-2)

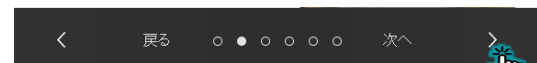
模型のスキャン キャンセル

ロケーターの設置 3Dビュー

ロケーターの設置  
ロケーターを正確にスキャンするには、必ず正確に  
配置します。

Scanが完了すると、スキャン対象物が3D表示されます。

Scanが終了したら、画面下の  
【>】を左クリックすると、次の  
項目へ移動します



# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



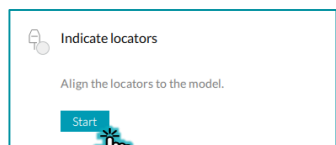
Kavo LS3 Scanner

ブリッジの場合は複数本のLocatorがあります。  
歯式の番号を間違えないようにご注意ください。

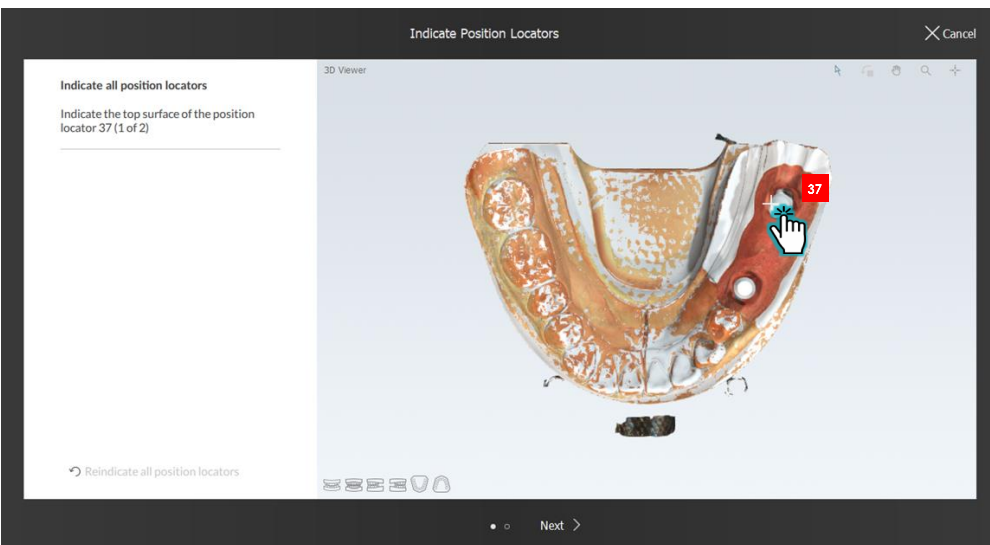
## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの【Start】をクリックし、Locatorの確認を開始します



下図のように、【+キー】をLocatorの中心に合わせクリックします。



Genion 2 Scanner

Scan

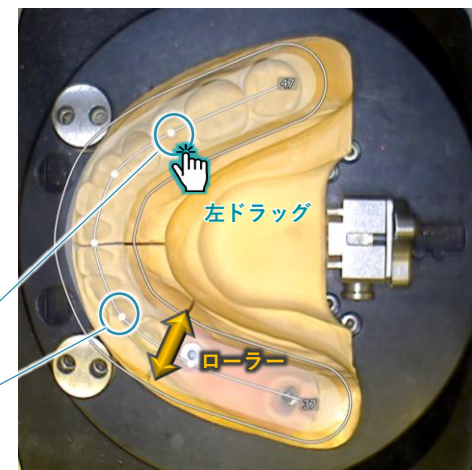
## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(修復側の顎)のスキャンを開始します



ローケターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。

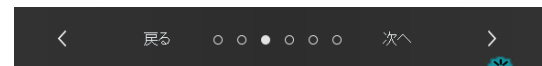


左ドラッグ：  
ポイントをつかみ、移動します



ローラー：  
領域の幅を拡大/縮小します

領域指定が完了し、画面下の【>】を左クリックすると、Scanが開始されます



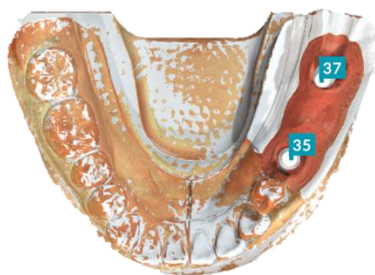
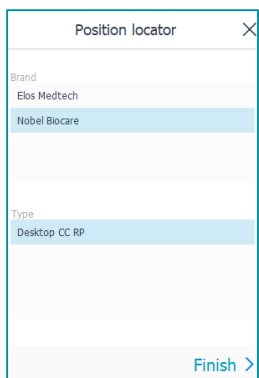


Kavo LS3 Scanner

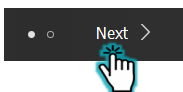
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

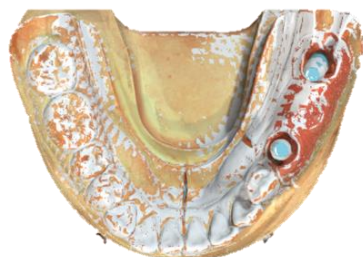
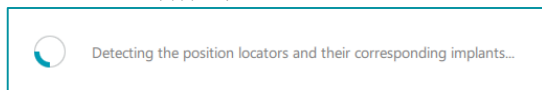
実際に使用したPosition Locatorの種類を選択し【Finish】をクリックします。



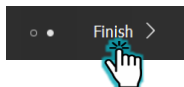
Position Locatorと、ソフトウェアがはめ込んだ、青色のロケータデータにズレが起きていなければ、【Next】をクリックします



ソフトウェアが計算を行います



Position Locatorのアライメントが終了したら、【Finish】をクリックします



**POINT**

ブリッジの場合は複数本のLocatorがあります。歯式の番号を間違えないようにご注意ください。



Genion 2 Scanner

Scan

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(修復側の顎)のスキャン



# DTX Studio Lab 1.10

## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン

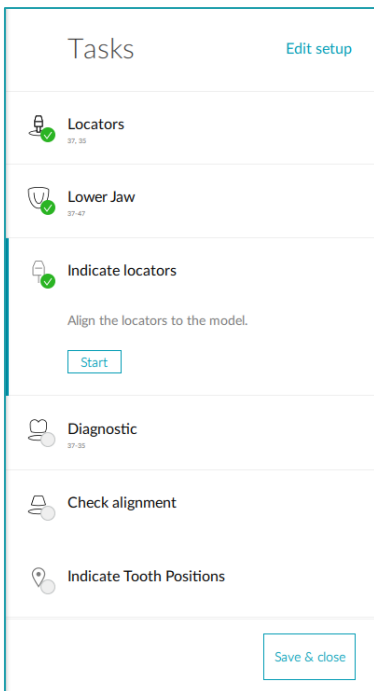


Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの完了



カラーズキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

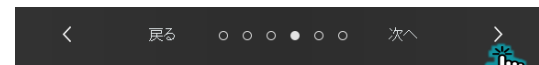
### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



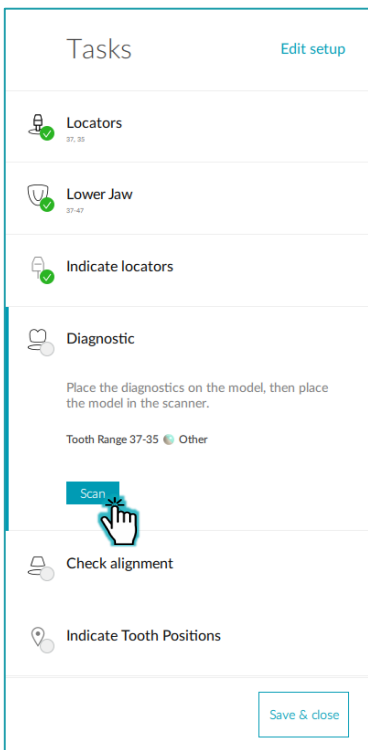


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Diagnostics項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



修復側模型にワックスアップフレームを装着します。  
ガム材を外しておくと、歯肉内も読み込むことができます。



スクリーアクセスホールを  
ワックスやシリコンで封鎖  
します。



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

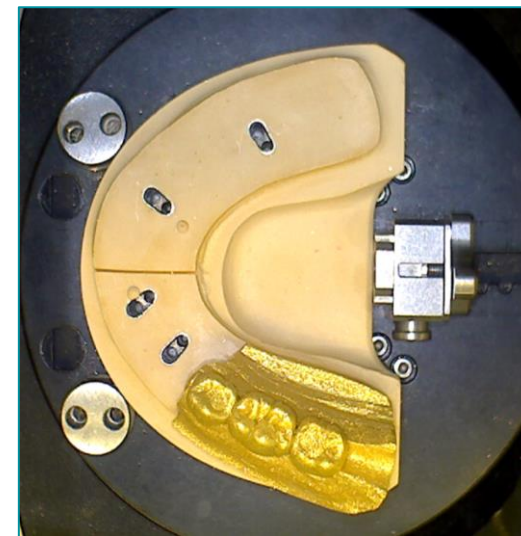
Scanを行います

ワックスアップフレーム(修復側の顎)のスキャンを開始します



修復側顎模型にワックスアップを装着し、  
スキャンスプレーもしくは、スキャンパウダーを塗布します

青いスプレー&パウダーはScanできません



# DTX Studio Lab 1.10

## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了

Tasks Edit setup

---

Locators 37-38

---

Lower Jaw 37-47

---

Indicate locators

---

Diagnostic

Place the diagnostics on the model, then place the model in the scanner.

Tooth Range 37-35 ● Other

Start

---

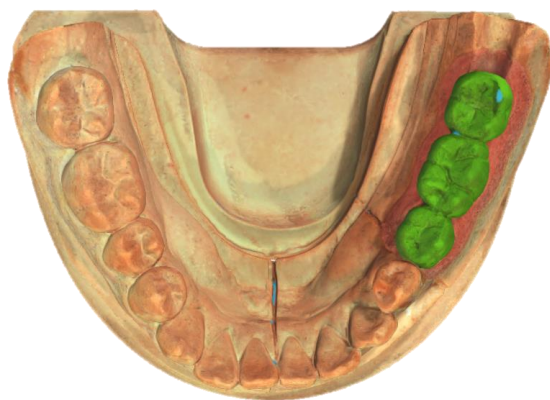
Check alignment

---

Indicate Tooth Positions

Save & close

カラスキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックス(修復側の顎)のスキャンを開始します

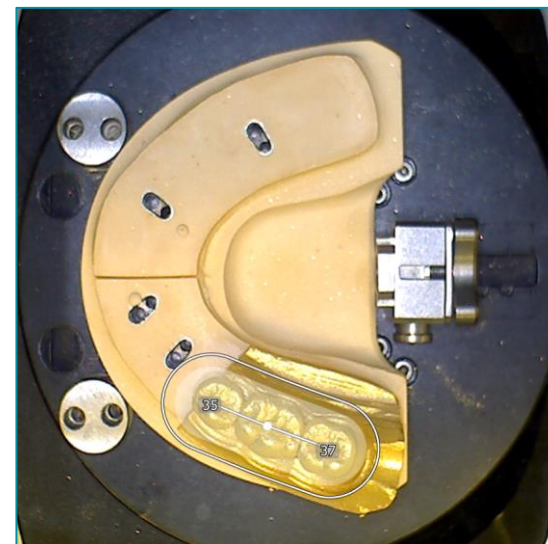
診断の指定

模型を移動せずに診断を配置してください。コントロール・ポイントをドラッグしてスキャン領域を調整してください。

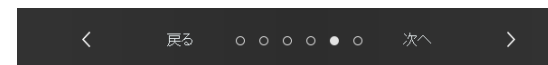
↔ スキャン幅

↓ スキャン高さ

スキャン領域の指定を行います。



スキャン領域を指定したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが開始されます。



# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



Scan

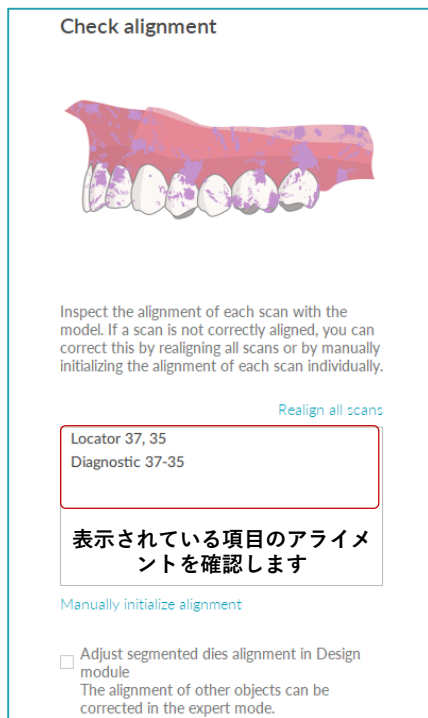
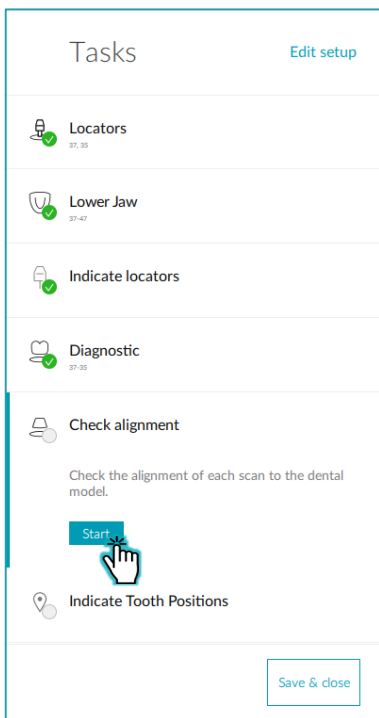


KAVO LS3 Scannerのみの項目となります

【新規スキャンを開始する場合】

Check alignment項目の【Scan】をクリックし  
アライメント確認を開始します

【アライメントの確認】

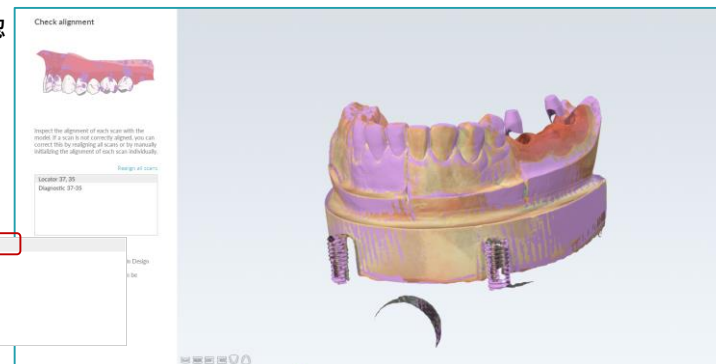


表示されている項目をクリックし  
アライメント確認を行います。  
選択されている項目は、紫色で  
3Dに反映されます

アライメントがずれている場合は、  
【Manually initialize alignment】を  
クリックし、手動で合わせます。



Locatorの確認



Diagnosticの確認





## KAVO LS3 Scannerのみの項目となります

### 【新規スキャンを開始する場合】

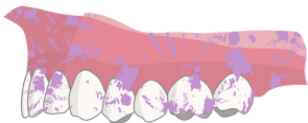
Check alignment項目の【Scan】をクリックし  
アライメント確認を開始します

【アライメントの修正】 - 一括再調整

### アライメントを行う項目の選択



### Check alignment



Inspect the alignment of each scan with the model. If a scan is not correctly aligned, you can correct this by realigning all scans or by manually initializing the alignment of each scan individually.

Realign all scans

Locator 37, 35  
Diagnostic 37-35



表示されている項目のアライメントを選択します

Manually initialize alignment



Adjust segmented dies alignment in Design module  
The alignment of other objects can be corrected in the expert mode.

アライメントがずれている場合

Check alignment項目内のアライメント確認対象項目を選択し、  
【Manually initialize alignment】をクリックします。  
アライメント修正を手動で開始します。

本項では、ワックスアップ・スキャンとローケターのそれぞれのデータに、3点を付与しマッチングを行います。

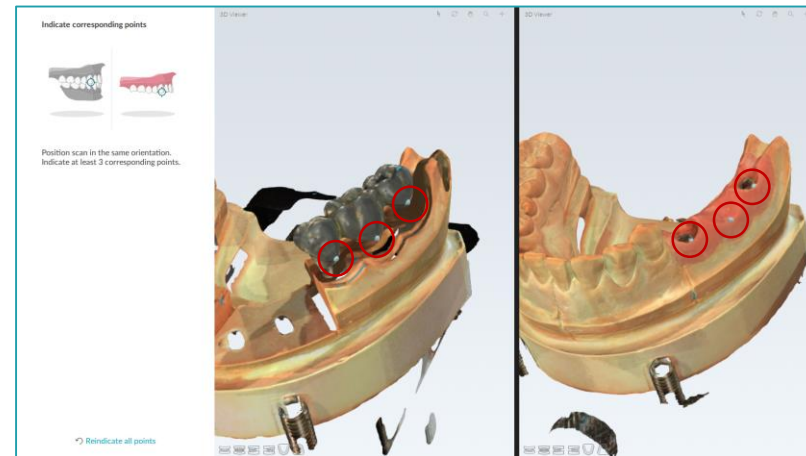
ポイント付与完了後、【Next】をクリックします。

マッチングが完了したら、【Finish】をクリックします。

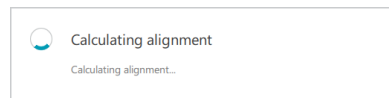
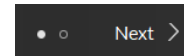
同様に対象項目の手動マッチングを繰り返します

### 【デザインモジュールでの調整】

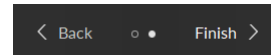
チェックを入れると、デザインモジュールでアライメント調整ができます。  
デザイン・モジュールで支台歯のアライメントを調整します。  
他のオブジェクトの配置は、エキスパートモードで修正できます。



3点のポイント付与が完了したら、  
【Next】をクリックします。



マッチングが完了したら、  
【Finish】を2回クリックします。







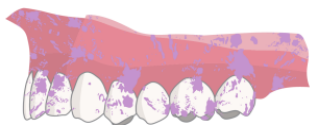
KAVO LS3 Scannerのみの項目となります

## 【新規スキャンを開始する場合】

Check alignment項目の【Scan】をクリックし  
アライメント確認を開始します

【アライメントの修正】 - 一括再調整

### Check alignment



Inspect the alignment of each scan with the model. If a scan is not correctly aligned, you can correct this by realigning all scans or by manually initializing the alignment of each scan individually.

Realign all scans

Locator 37\_35  
Diagnostic 37-35

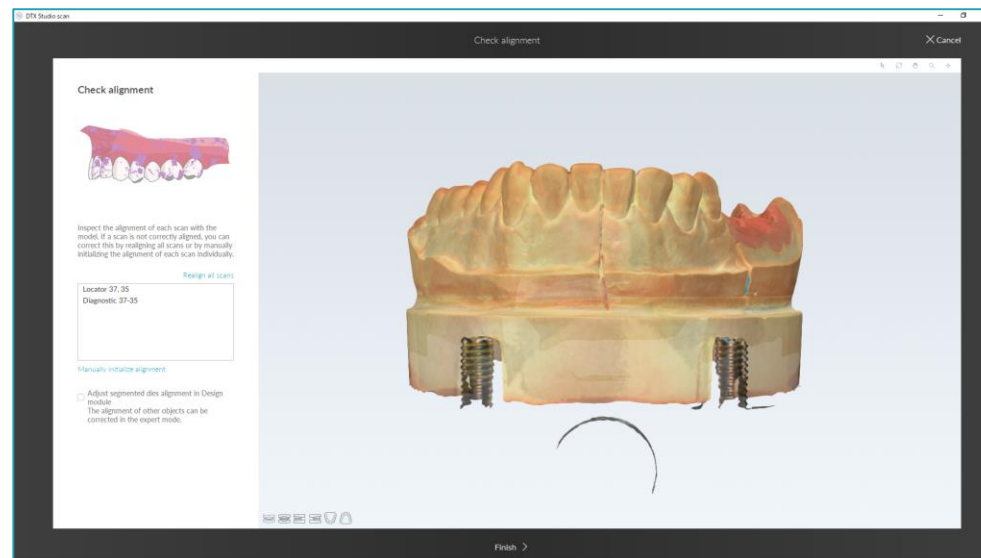
Manually initialize alignment

Adjust segmented dies alignment in Design module  
The alignment of other objects can be corrected in the expert mode.

本項では使用しません

Check alignment項目内の【Realign all scans】  
をクリックしアライメント修正を開始します。

主に、Scanデータを入れ替えた際に使用します  
詳細は、【Scan+Import】(別紙)を参照ください



# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン



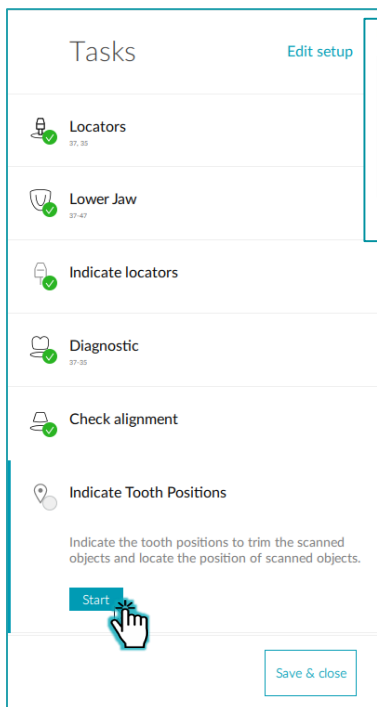
Kavo LS3 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

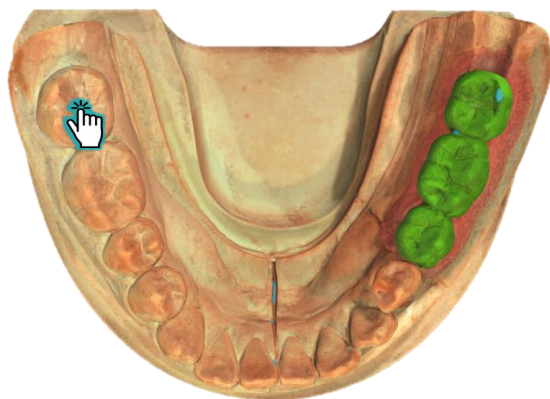
Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です。)



画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントを付与します。

歯牙番号



Genion 2 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックスのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。



Kavo LS3 Scanner

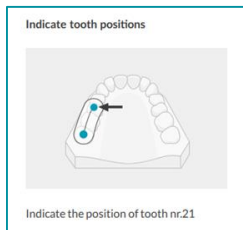
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

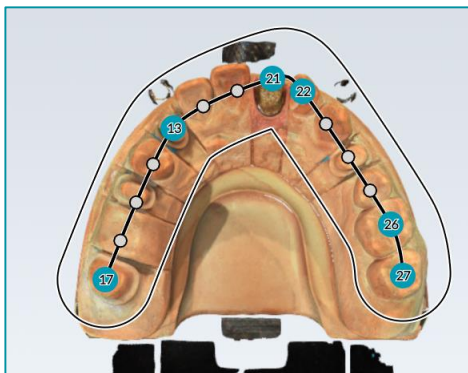
Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です)。

画像は参考です

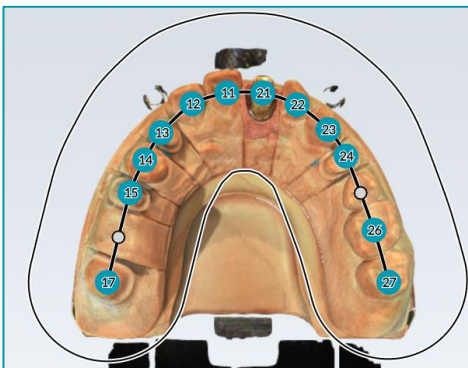


画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントが付与します。



ポイントを付与がしゅうりょうしたら、模型外周の枠線をかくにんしながら、ポイントの位置をを修正します。

範囲をひろげたり、狭めたりしたい場合は、【Area width】ゲージで調整します。



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

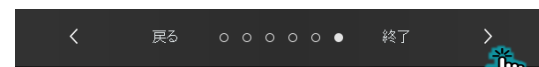
Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了



Scanが完了すると、スキャン対象物が3D表示されます。

Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが完了します。



# DTX Studio Lab 1.10

## ● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン

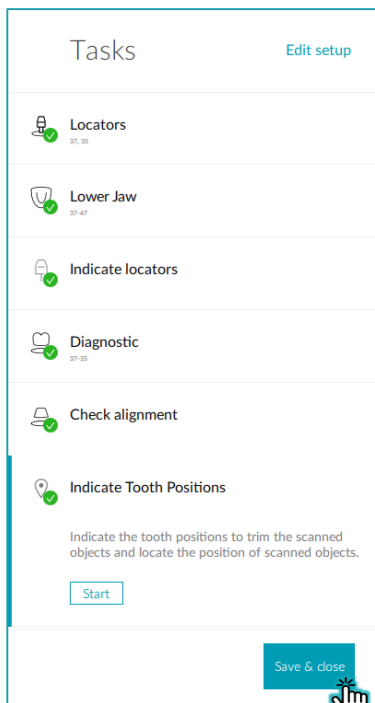


Kavo LS3 Scanner

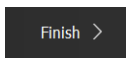
### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

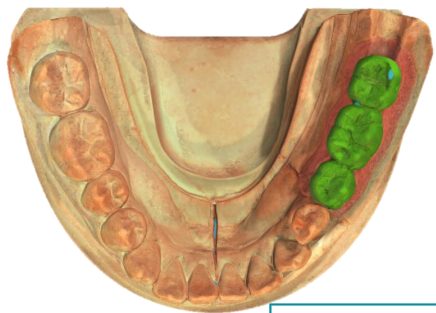
Indicate Tooth Positions項目のScanを完了します。



画面下の **【Finish】** を左クリックします。



計算後、模型がカットされたら完了です。  
**【Tasks】** の下部にある **【Save & Close】** をクリックし、スキャンの全工程を終了します。



データをセーブし終了します。

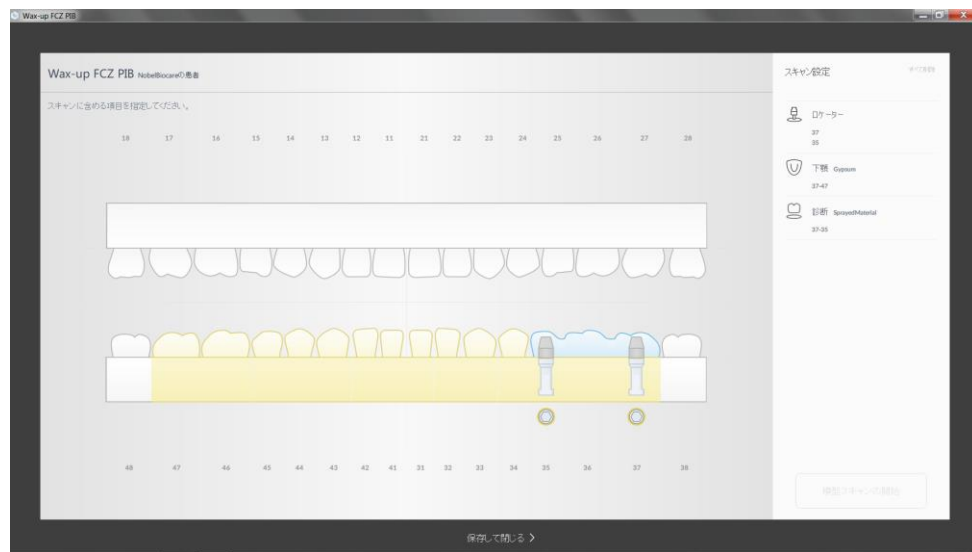


Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanの完了



Scanが終了したら、画面下の **【保存して閉じる>】** を左クリックし保存します



# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Scan / FCZ インプラント・ブリッジ スキャン

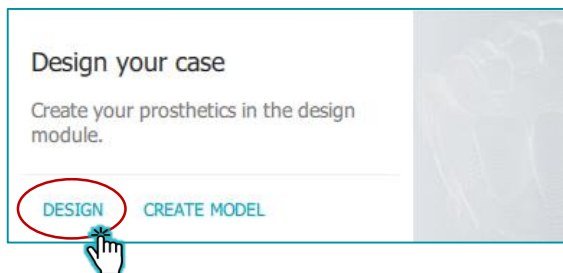


【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

スキャンを完了すると、DTX STUDIOプラットフォームにデザイン項目が表示されます。

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない

0 Wax-up PIB ( FCZ ) Scanned  
NobelBiocare 0 days left

Scanが終了すると、ステータスが変更されます

Scan

DTX Studio Lab

Wax-up PIB ( FCZ ) - NobelBiocare DUE TODAY

Design your case  
Create your prosthetics in the design module.

Model scan

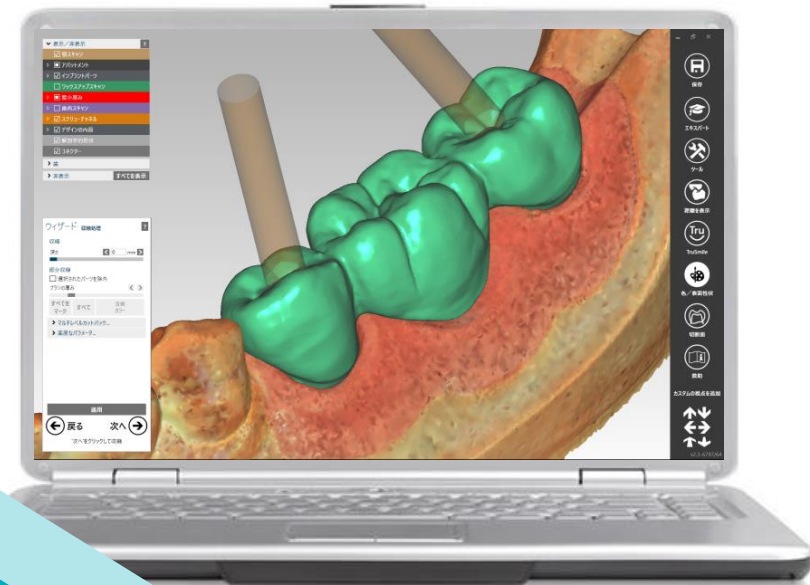
Prescription form

DTX STUDIO Labのプラットフォーム

## *Wax-up · FCZ IB / Wax-up · FCZ インプラントブリッジ*

- *FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン*

*For Full Contour / フルカントウア*



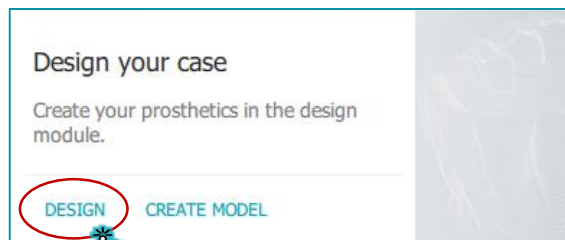


【新規デザインを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

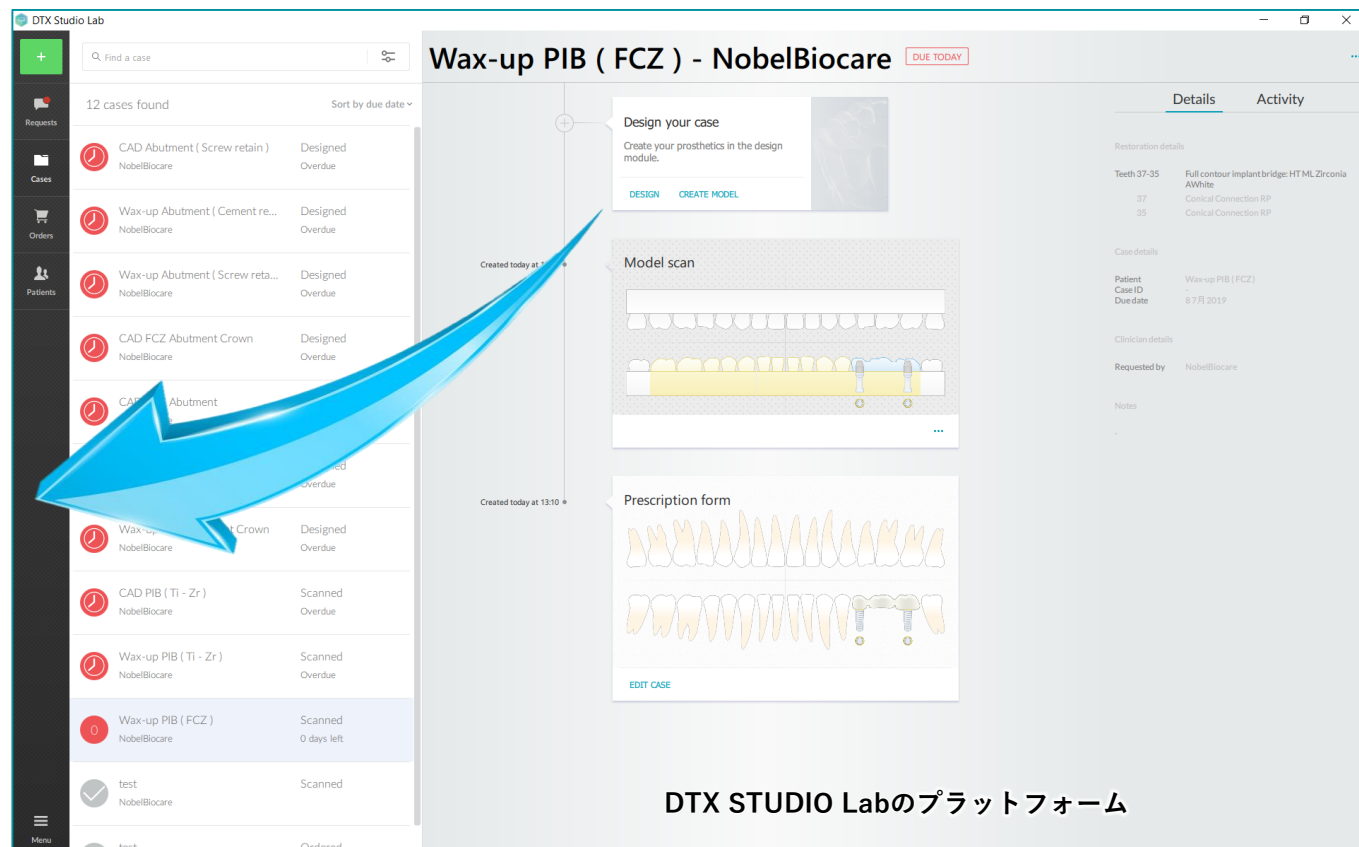
DTX STUDIOプラットフォームからデザインを開始します

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、  
デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングルライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない



DTX STUDIO Labのプラットフォーム

# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン



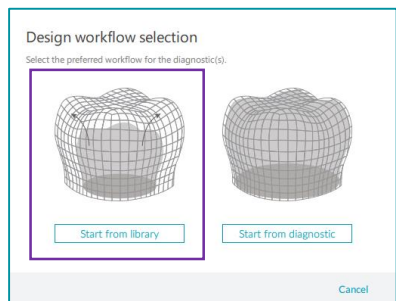
Design



【新規デザインを開始する】

デザインワークフローの選択

【Start from library】ライブラリから開始 P,58へ移動

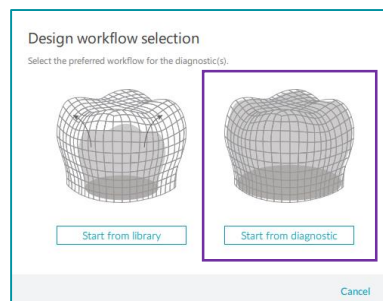


DTX STUDIO Lab ソフトウェア内のライブラリーデータを用い、Wax-upスキャンデータに手動で合わせる方法です。

歯牙1本単位での全周囲カットバックや、コネクターのデザイン、歯肉のCADデザインを行うことが可能です。

詳細な設定が可能なワークフローです。

【Start from Diagnostic】診断から開始 P,41へ移動

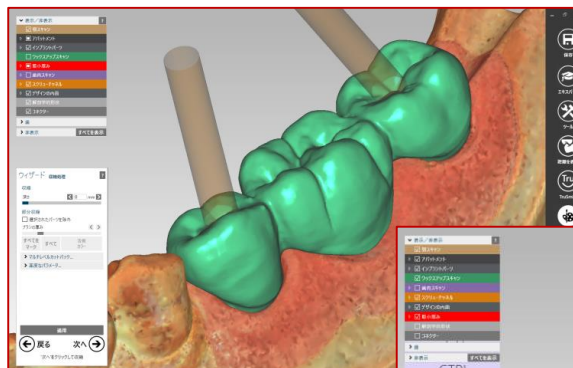
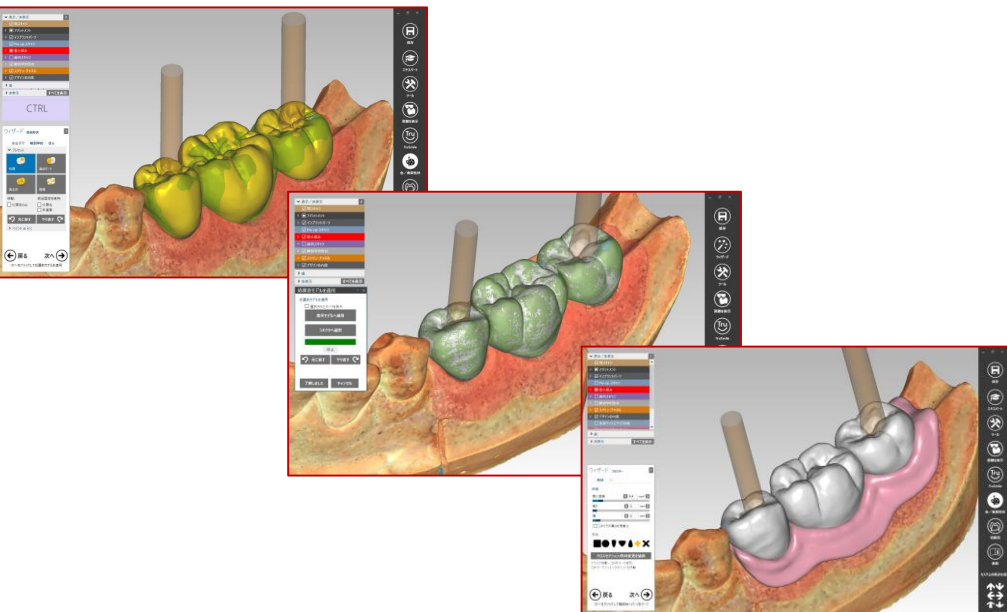


DTX STUDIO Lab ソフトウェア内のライブラリーデータをWax-upスキャンデータに自動で合わせる方法です。

デザインワークフローの初期から、全てのデータが結合され、修復物全体を一つのデータとしてデザインを行います。

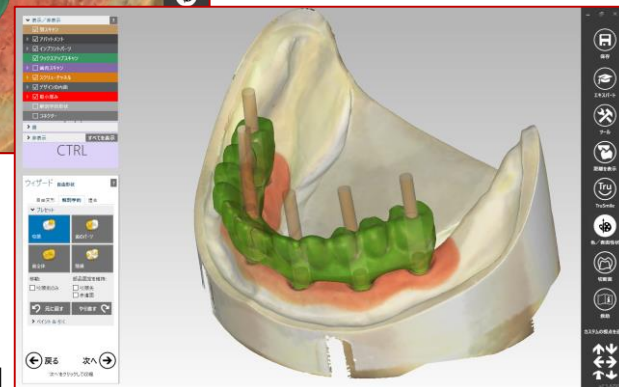
効率的なワークフローです。

歯肉デザイン機能はありません。  
ワックスアップ・フレームで歯肉部分を製作してください。



【ガムなし】

【ガム付き】





# DTX Studio Lab 1.10

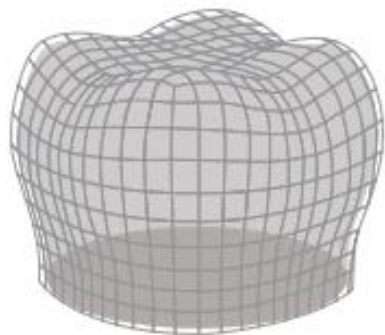
- FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン



Design



【新規デザインを開始する】



Start from diagnostic

Start from diagnostics / 診断から開始  
を選択した場合。

# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン

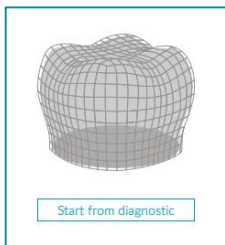


Design



【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ



Start from diagnostics  
診断から開始  
を選択した場合。

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



マウスの操作



左クリック：  
決定/選択



右クリック：  
画像の回転



左右クリック：  
画像の移動

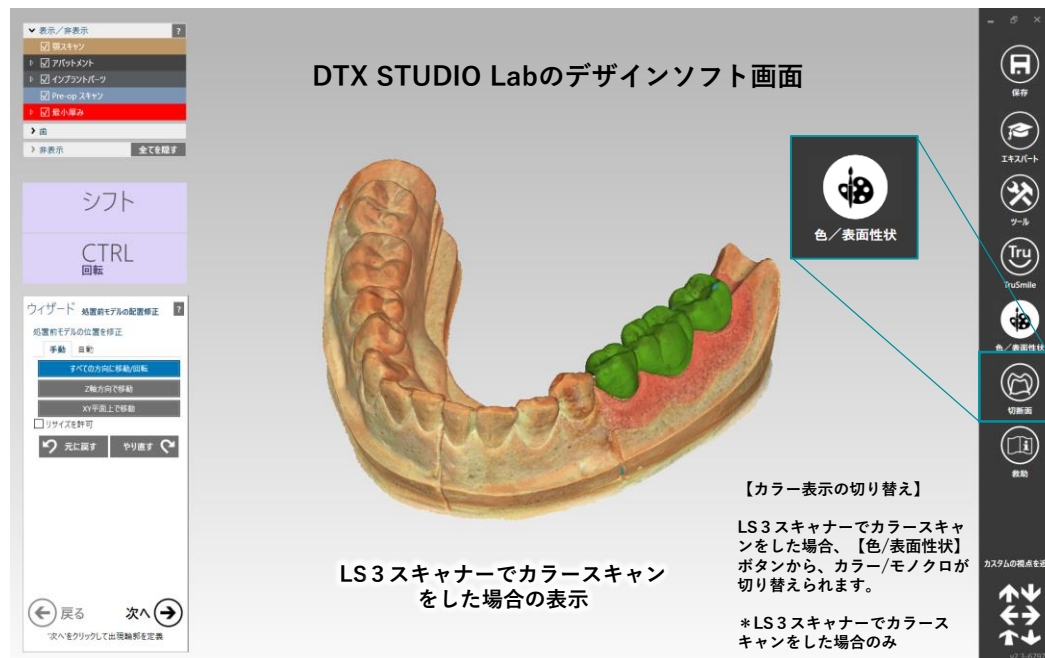


ローラー：  
画像の拡大/縮小



デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。  
また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。  
ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面

LS 3 スキャナーでカラーキャン  
をした場合の表示

【カラー表示の切り替え】

LS 3 スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

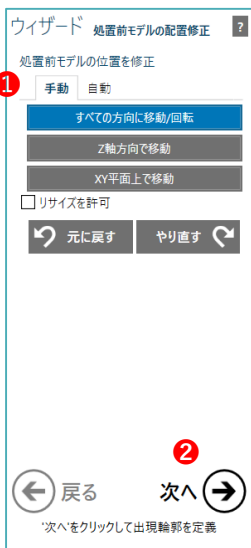
\* LS 3 スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



【新規デザインを開始する】

## デザインの準備 (位置修正)

【処置前モデルの配置を修正します】

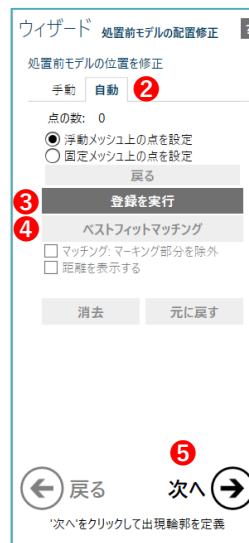
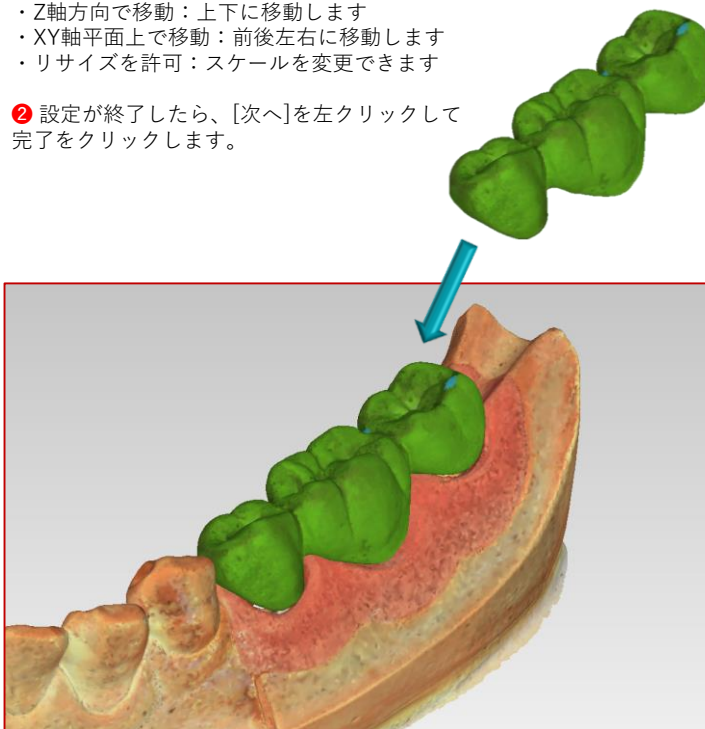


データにずれがない場合は、②をクリックして、次の項目に進みます

① ウィザード欄の【手動】タブから項目を選択し、手動で移動させます。左ドラッグで対象物が移動します。  
【Ctrl】+左ドラッグで対象物が回転します。

- ・すべての方向に移動/回転：全方向に移動します
- ・Z軸方向で移動：上下に移動します
- ・XY軸平面上で移動：前後左右に移動します
- ・リサイズを許可：スケールを変更できます

② 設定が終了したら、[次へ]を左クリックして完了をクリックします。

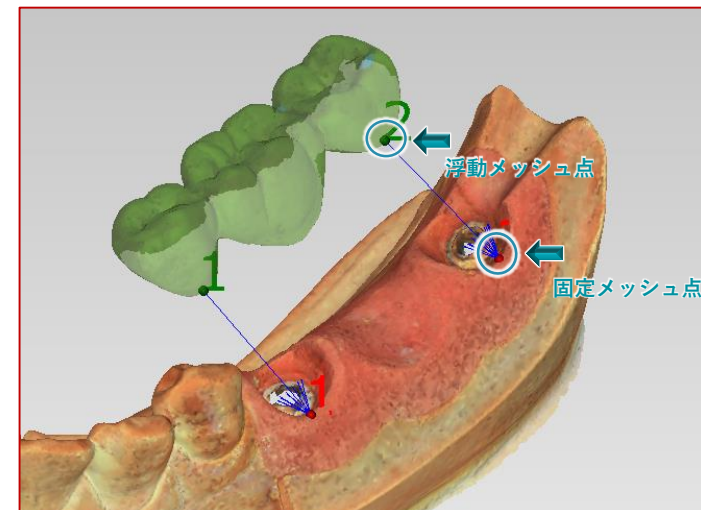


② ウィザード欄の【自動】タブから対象物の合わせたい箇所へポイントを指定し移動させます。【複数のポイントを設定できます】

- ・浮動メッシュ上の点を設定：ズレている対象物上にポイントします。
- ・固定メッシュ上の点を設定：合わせたい対象物上にポイントします。

③ 【登録を実行】を左クリックするとポイント同士が重なり、データが移動します。

④ 【ベストフィットマッチング】をクリックすると、ソフトウェアが自動計算を行います



### POINT

浮動メッシュ側にポイントした箇所と同じになるように、固定メッシュ側にポイントします

⑤ 設定が完了したら、[次へ] を左クリックして設定を完了します



【新規デザインを開始する】

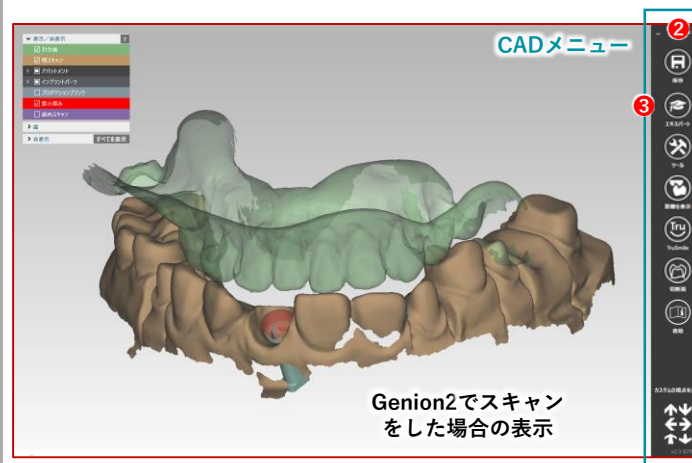
デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。

【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイト・インディックスの編集を例に解説します。



2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

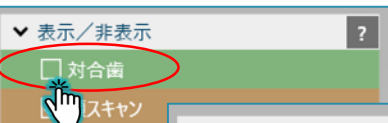
Genion2でスキャンをした場合の表示

右クリック：Context Menuの表示



対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。



1 画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【対合歯】に左クリックでチェックを入れ、対合歯を表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。





【新規デザインを開始する】

## デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合は、Wクリックで範囲指定します。

### 範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**  
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**  
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**  
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**  
全てのデータを1クリックで選択します。
- ▶ **【なし】**  
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**  
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。

### 動作

- ▶ **【削除】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**  
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**  
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**  
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**  
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

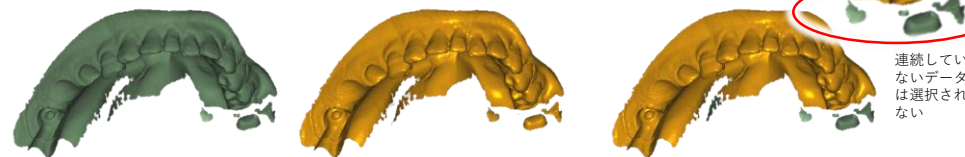
● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



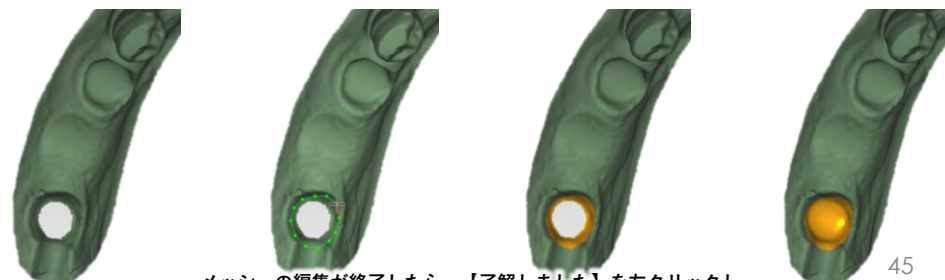
● 削除：1クリックで範囲を指定

【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。

### 3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択  
 表面上で選択  
 表面をクリックして選択

動作

削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】

ウィザード 出現輪郭を定義

検出 修正/描画

1 歯の番号 37

輪郭マージンを発見

ポイントの追加

ポイントの削除

クリアー

ライトの調整

少なくとも4ポイントを設定して定義  
出現輪郭のマージン

戻る

次へ

\*次へをクリックして出現輪郭を定義

1 ウィザード欄の【検出】タブから、【ポイントの追加】を選択します。指示されている部位のマージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。\*図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。\*図2

図1



図2



## POINT

インプラント埋入本数分の設定が必要です。  
【次へ】をクリックすると、他の部位へ移動しますので、全ての部位の設定を行ってください

ウィザード 出現輪郭を定義

検出 修正/描画

2 歯の番号 37

移動

上下

描画

マージンラインを上下に移動

0.05 mm

クリアー

前処置された歯肉

元に戻す

やり直す

3

戻る

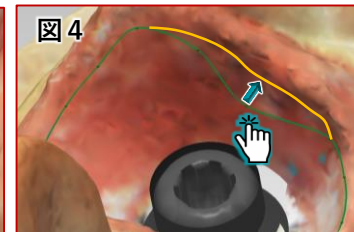
次へ

\*次へをクリックして出現輪郭を定義

2 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

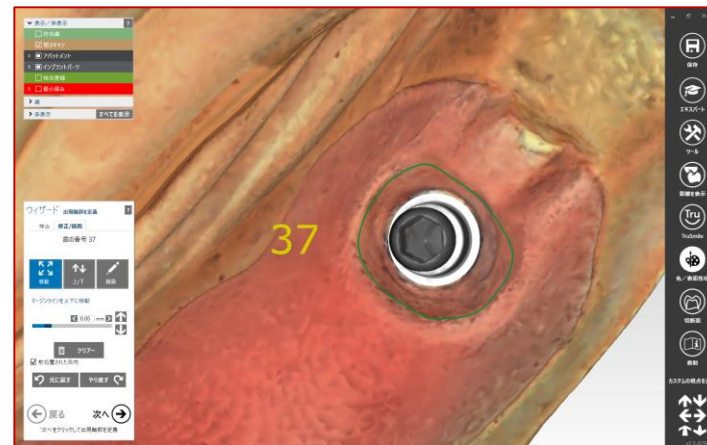
自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。  
\*図3  
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。\*図4

3 設定が完了したら、【次へ】を左クリックしてマージンの設定を決定します



## POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態ですら右クリックします。





【新規デザインを開始する】

### サブジンジバル・カントウアのデザイン

【顎スキュアの表示を薄くし、歯肉貫通部を可視化します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

3 以上

4

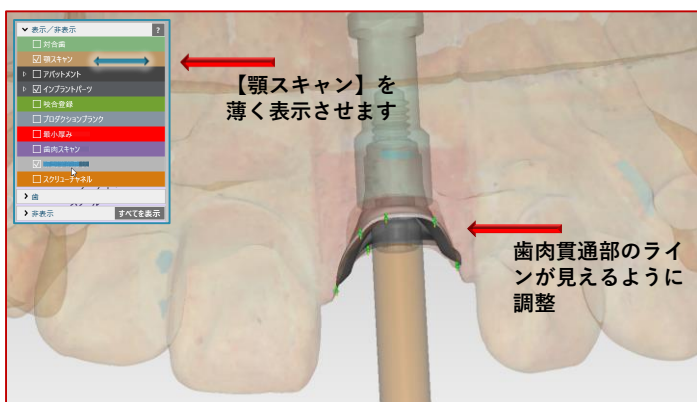
5 以下

6

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

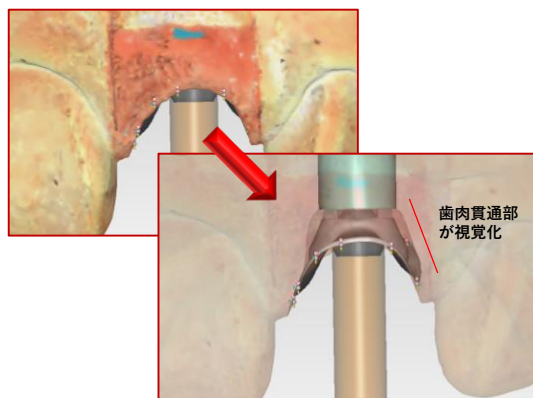
元に戻す やり直す

戻る 次へ



ウィザード欄の【下部】タブの項目を使用し、アバットメントのプロファイルをデザインします。

歯肉貫通部の形状が見えやすいように、【表示/非表示】ウィンドウから【顎スキュア】を薄く表示させます



【プロファイル形状を決定します】

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

【形状】の項目を使用し、アバットメント・プロファイルのトップとボトムをデザインします。

ゲージをスライドさせると形状が変更されます

3

4

フリーフォーム  視覚化 リミット?

以上 < 0.2 >

5 以下 < 0.2 >

丸めを適用  
コントロールキー 制御点を追加

フリーフォーム (Shiftキー)

0.2 -0.1 0 0.1 0.2

### POINT

5 視覚化ゲージ 0.2 -0.1 0 0.1 0.2

ゲージをスライドさせると数値が変更

以上:  
0から歯肉から離れていく方向の値

以下:  
0から歯肉へ向かっていく方向の値

オリジナル:

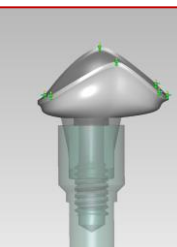
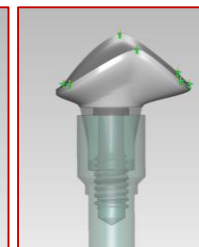
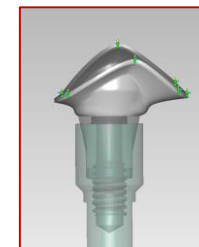
何もいじっていない状態

1 トップアングル

マージンライン付近の豊隆を調整

2 ボトムアングル

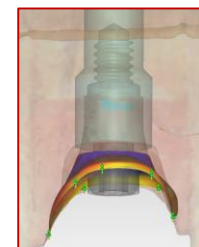
接合部付近の豊隆を調整



3 フリーフォーム

左ドラッグで自由変形を行う

ポリウムを増やしたい箇所にカーソルを合わせ、左クリック及び左ドラッグでポリウムを任意に増やすことができます。減らすときは【Shift】キーを押しながら左ドラッグをします



4 視覚化

歯肉内面との接触状態を色で表示します。

赤色: 歯肉へ強く接している状態

黄色: 歯肉へほぼピッタリと接している状態

青色: 歯肉へ接触していない状態

【視覚化】にチェックを入れると、視覚表示のゲージが有効化されステータスを変更することができます。



【新規デザインを開始する】

### サブジンジバル・カントウアのデザイン

【プロファイル形状を決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トッパングル

ボトムアングル

フリーフォーム  視覚化 リミット?

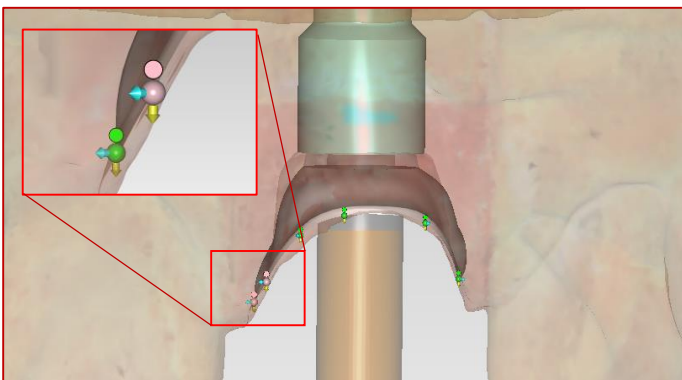
以上 < 0.2 >

以下 < 0.2 >

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ



マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

⑥ ウィザード欄の説明にあるように、ポイントとを左ドラッグで動かし、マージン位置を再設定することができます。

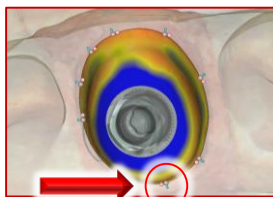
【歯肉へ差し込む】をクリックすると切り替えができます

緑色のポイントは歯肉に沿って移動ができます

ピンク色のポイントは歯肉内へ差し込むことが可能です。

### POINT マージンポイントの追加

マージンのポイントを追加する場合は、キーボードの【Ctrl】を押しながら左クリックをします。



【アバットメント下部と上部デザインの境界の高さ設定】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

\*\*\*外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.24 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

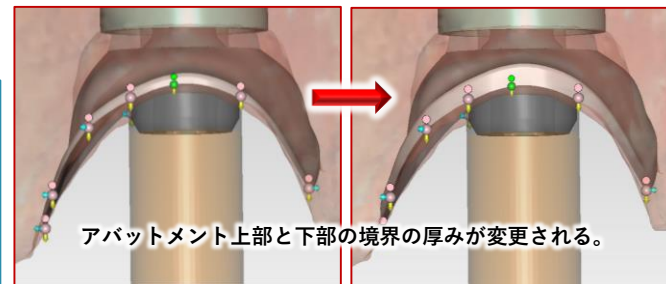
\*\*\*外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.5 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

ウィザード欄の【高度な】タブをクリックします。  
【外観境界線/境界の輪郭】ゲージを調整しデザインを決定します



アバットメント上部と下部の境界の厚みが変更される。

表示/検索

表示  検索

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トッパングル

ボトムアングル

フリーフォーム  視覚化 リミット?

以上 < 0.2 >

以下 < 0.2 >

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ

プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。





【新規デザインを開始する】

## スクリーアクセスホールのデザイン

**Check !**

ASC機能は、Connical Connectionインプラント (Implant Level)のみ設定が可能です。

【アクセスホールを決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

\*\*\*外観境界線/境界の軸部

高さ < 0.24 mm >

半径 < 0 mm >

インプラントより下を実行する

スクリーチャンネルを角度付け

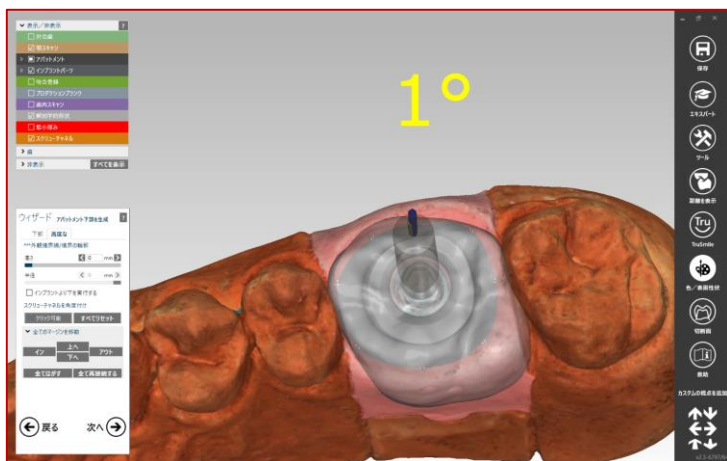
**7** クリック可能  すべてリセット

▼ 全てのマージンを移動

イン 上へ アウト 下へ

全てはがす 全て再接続する

戻る 次へ



ウィザード欄の【高度な】タブの項目を使用し、アバットメントスクリーアクセスホールを設定します。

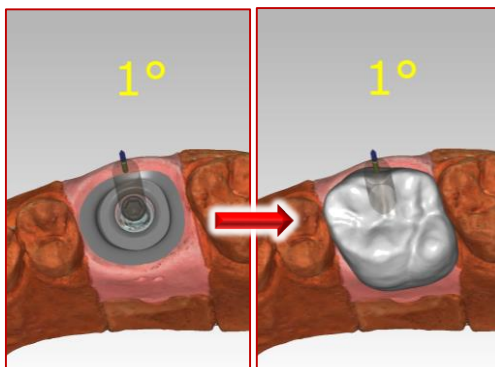
### POINT

#### 歯牙形態の表示

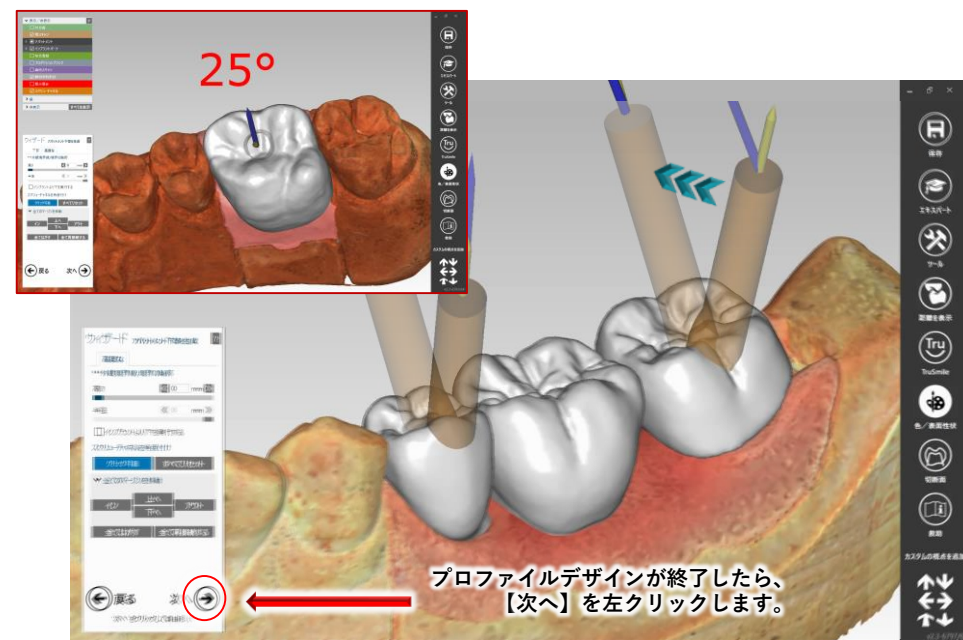
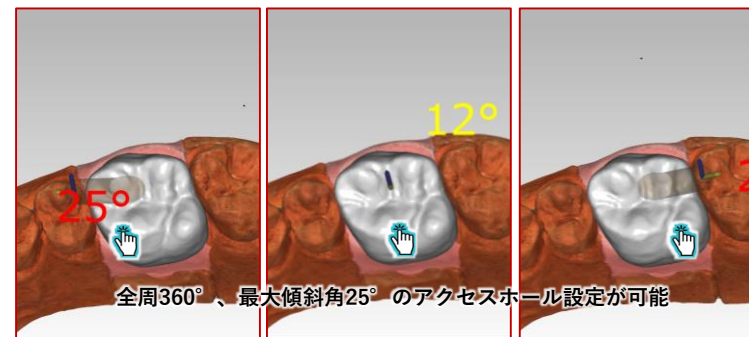
アクセスホールを適正な位置に設定するため、歯牙形状を表示すると設定し易くなります。

表示 / 非表示

- 対合歯
- 歯スキャン
- ▶ アバットメント
- ▶  インプラントパーツ
- 咬合登録
- プロダクションプランク
- 歯肉スキャン
- 最小厚み
- 解剖学的影注
- スクリーチャンネル
- ▶ 歯
- ▶ 非表示



ウィザード欄の【高度な】タブ内にある、**7**【スクリーチャンネルの角度付け】の【クリック可能】を選択し、3Dデータ上でアクセスホールの位置をクリックで決定します。

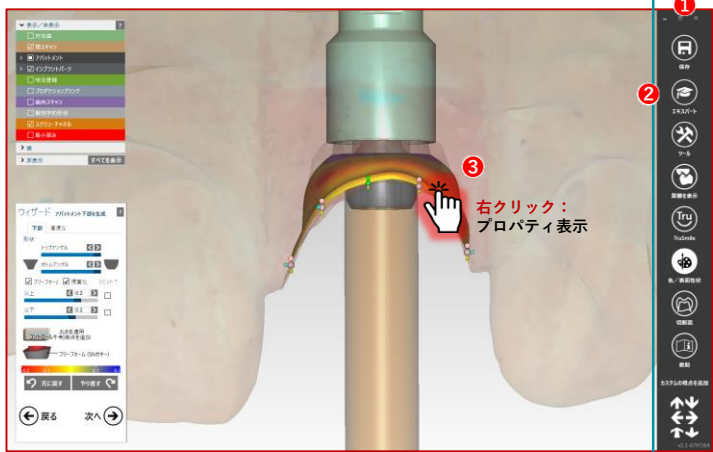




【新規デザインを開始する】

## サブジンジバル・カントウアのデザイン - アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



CADメニュー

① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

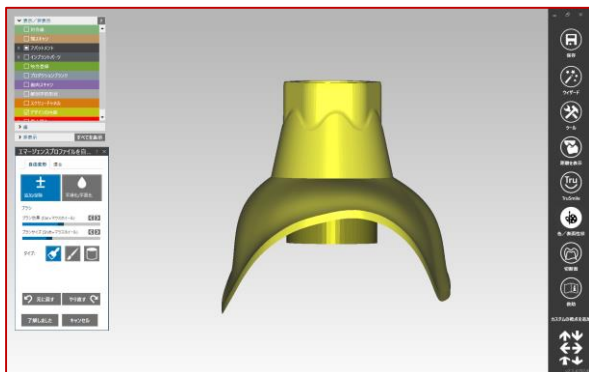
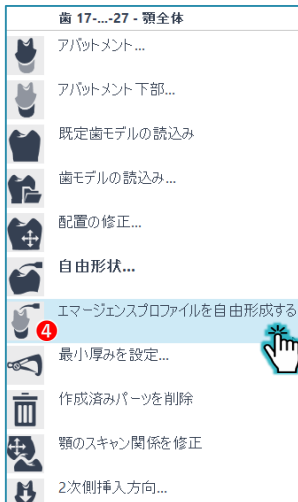
② エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

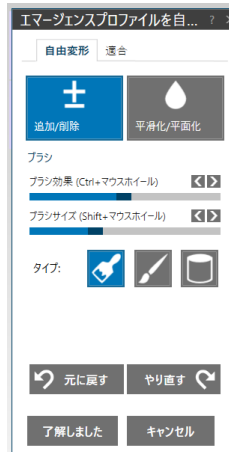
③ 右クリック：プロパティ表示

③ アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【エマージェンスプロファイルを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



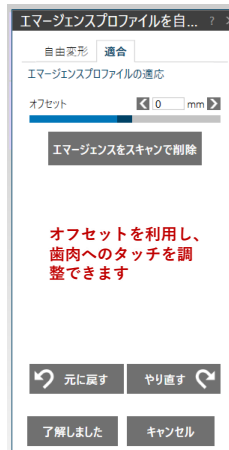
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



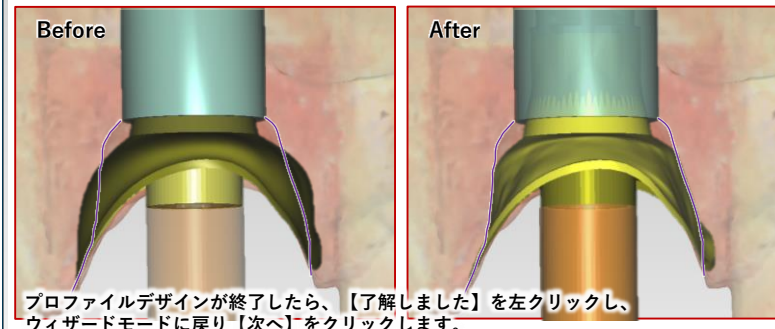
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】



ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマージェンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



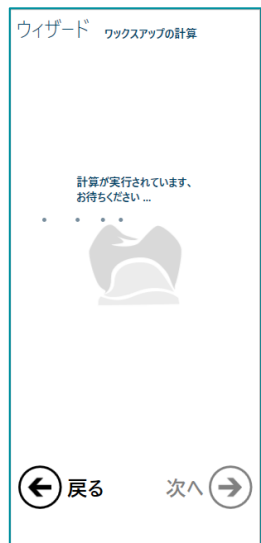
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。



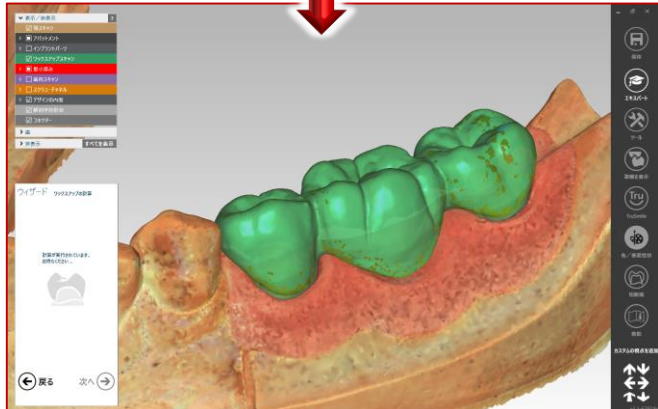
【新規デザインを開始する】

## Wax-up マッチング

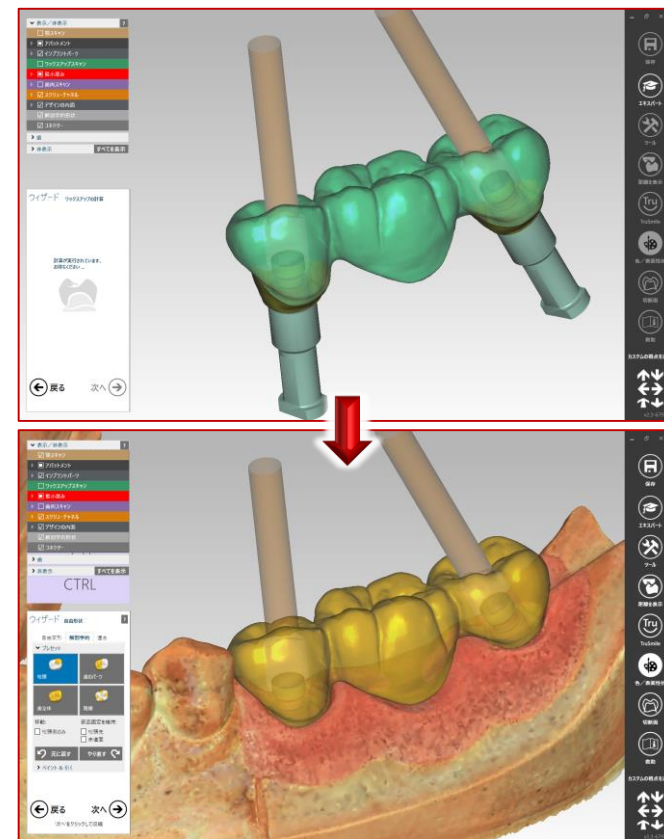
【Wax-up スキャンへのデータマッチング】



サブ・ジンジバル・カントウアの調整後、【次へ】をクリックすると、【ワックスアップの計算】を開始します。ワックスアップ・スキャンデータに、ソフトウェア内のライブラリーを合わせる作業を自動で行います。



計算が実行されています、お待ちください...



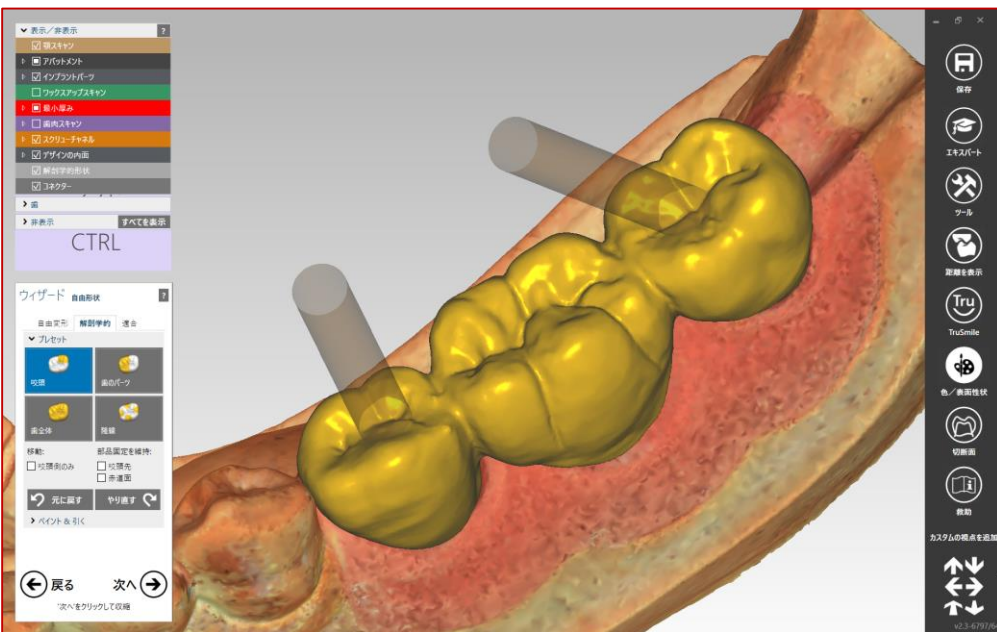
ワックスアップ・スキャンデータへのマッチングが終了すると、【自由形状】ウィザードが開きます。



【新規デザインを開始する】

## 歯冠形態のデザイン

【自由形状をデザインします】 - ブリッジ -



ウィザード欄の

- ① 【自由変形】
- ② 【解剖学的】
- ③ 【適合】

タブ内の項目を使用し、歯冠形態をデザインしていきます



【解剖学的特徴のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【解剖学的】タブをクリックします。  
【咬頭】【歯のパーツ】【歯全体】【隆線】の項目から、症例に合わせて歯冠データを調整します

① 【咬頭】

咬頭部(または一部分)の形態を変更できます

② 【歯のパーツ】

歯のブロック(近心、遠心、頬側、舌側)部分の形態を変更できます

③ 【歯全体】

歯全体の位置を動かす変更ができます  
根尖側を軸にあらゆる方向に移動できます

④ 【隆線】

隆線部(または一部分)の形態を変更できます

### POINT 形状変形

左クリックでツマミ、左ドラッグで変形させます。



【新規デザインを開始する】

## 歯冠形態のデザイン

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。  
 【追加/削除】【平滑化/平面化】【ブラシ効果】【ブラシサイズ】  
 【タイプ】の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

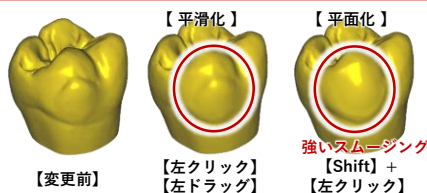
### 1 【追加/削除】

【左クリック＆ドラッグ】  
 でデータを追加できます。  
 データを減らす場合は  
 【Shift】 + 【左クリックor  
 ドラッグ】で削除できます



### 2 【平滑化/平面化】

【左クリック＆ドラッグ】  
 でデータを平滑できます。  
 強スムージングの場合は  
 【Shift】 + 【左クリックor  
 ドラッグ】で実行します。



### 3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します  
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

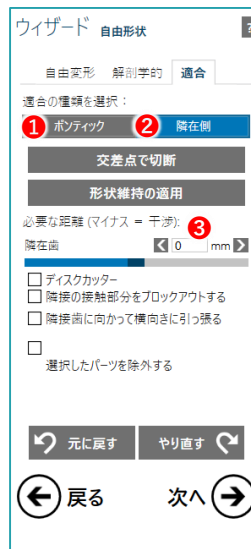
### 4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します  
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

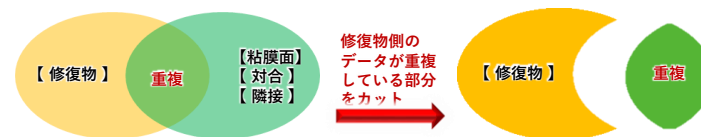
### 5 6 7 【ブラスタイプ】

- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。  
 表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分  
 のデータをカットします。  
 (製作するプロダクトにより表示が異なってきます)



### 1 【ボンテック】

粘膜面と交差している部分の  
 データを削除します

歯肉に適合

【ボンテック】タブから【歯肉に適合】を  
 クリックし粘膜に合わせて



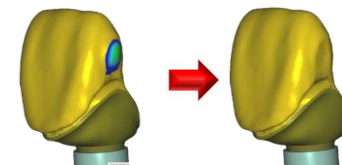
### 2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差して  
 いるデータを削除します

交差点で切断

形状維持の適用

交差点で切断：データを切り取ります  
 形状維持の適用：データを維持します



### 3 【必要な距離】

データの交差量を調整します  
 マイナス：干渉  
 プラス：空隙

右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)



デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

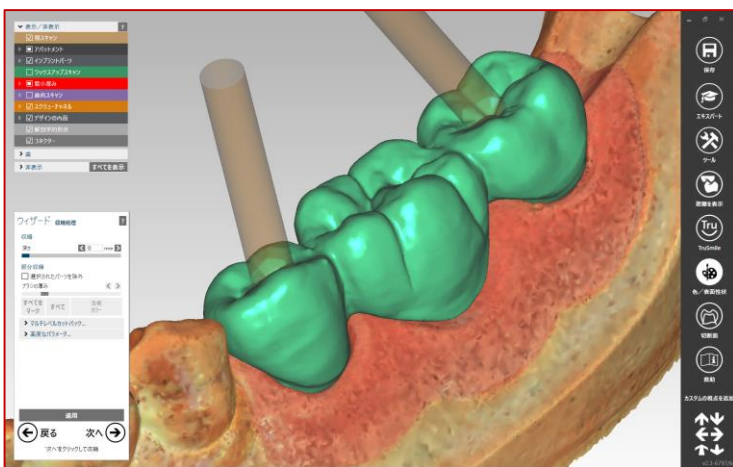
【カットバックフレームをデザインします】

ウィザード 収縮処理

- 1 収縮
  - 深さ < 0 mm >
- 2 部分収縮
  - 選択されたパーツを除く
  - ブラシの厚み < >
  - すべてをマーク
  - すべて
  - 舌側カラー
- 3 マルチレベルカットバック...
- 4 高度なパラメータ...
- 5 適用

戻る 次へ

\*次へをクリックして収縮



- 1 【収縮】：カットバック量を調整します。(深さ：0～5mm)
- 2 【部分収縮】：部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
  - ・すべてをマーク：クラウン全体を選択します。
  - ・すべて：マークされた部分をクリアします。
  - ・舌側カラー：使用できません。
- 3 【マルチレベルカットバック】：同一箇所カットバックが複数回できます。
- 4 【高度なパラメータ】：最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- 5 【適用】：1～4のステータス設定後、適用ボタンでカットバックします。

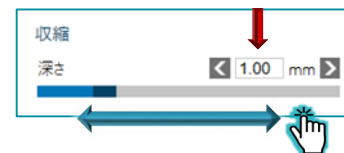
【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

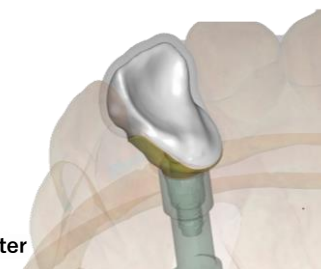
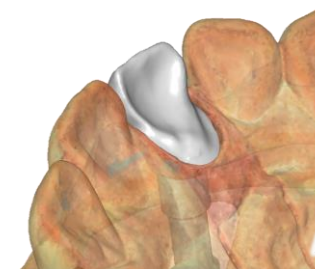
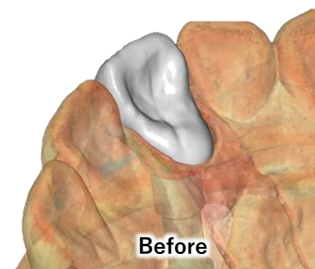
Step :

1. 1 【収縮】の深さを設定します。
2. 5 【適用】をクリックします。
3. カットバックされます。

1 値の入力もしくは、ゲージ調整



クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます



### POINT カットバックの表示

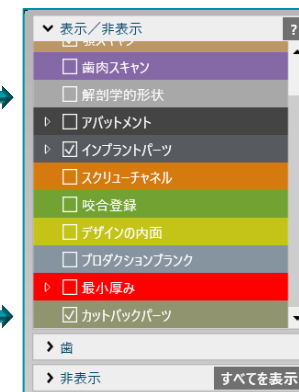
【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする



### POINT カットバック

1の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

フルクラウンタイプに使用できます



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】

ウィザード 収縮処理

1 収縮  
深さ 0 mm

2 部分収縮  
 選択されたパーツを除外  
ブラシの厚み

3 すべてをマーク  
すべて 舌側カラー

4 マルチレベルカットバック...  
高度なパラメータ...

5 適用

戻る 次へ

\*次へをクリックして収縮

クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ②【部分収縮】の【**選択されたパーツを除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。  
(適宜、**すべてをマーク**・**すべて**・**舌側カラー**を選択します。)
3. ⑤ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

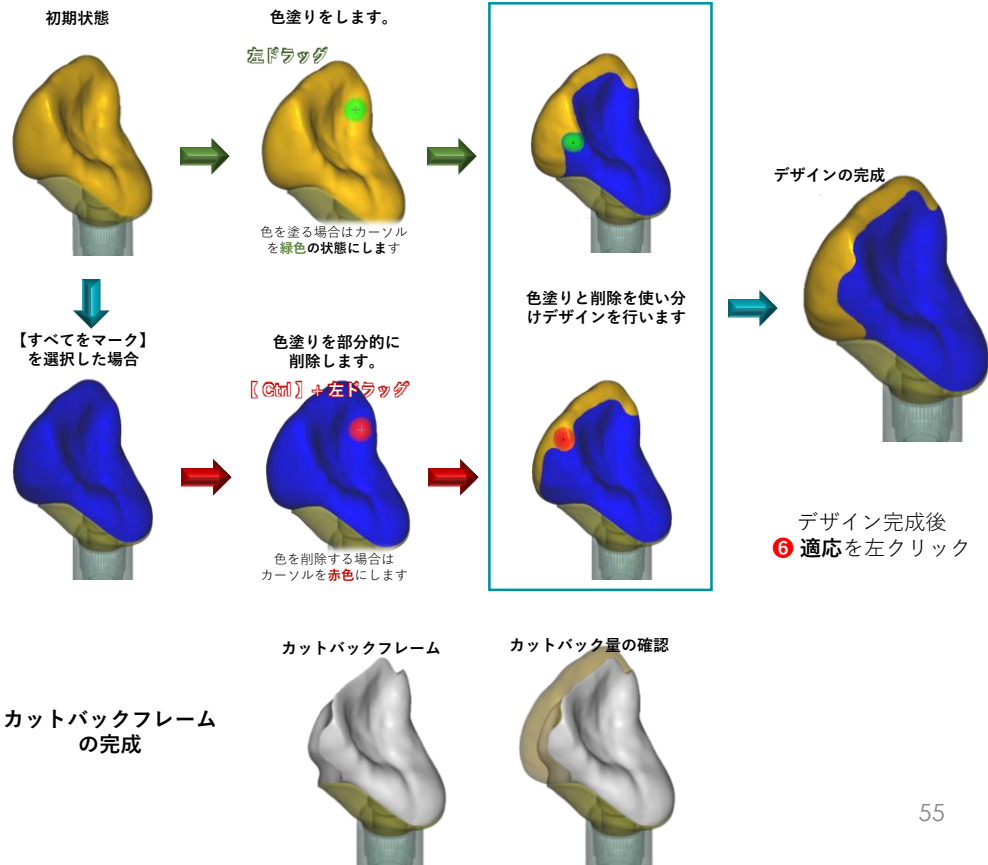
【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。  
色~~が塗られた箇所~~以外が**カットバック**されます。

- ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。  
[Shift] + 左ドラッグで色を消し、デザインをします。
- ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
- ・舌側カラー：使用できません。

【パーシャルカットバック】

フリー・デザイン





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)
2. ②【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. ④【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (\*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. ②部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

例) 前歯部唇側側の、ポディー部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合  
ポディー : 0.5mm  
切端 : 1.0mm

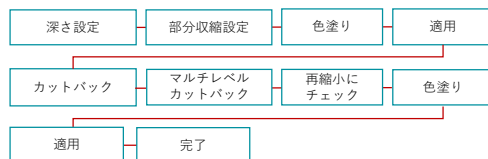
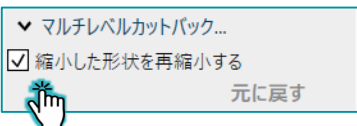


図2

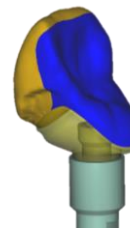


【パーシャルカットバック】

1. 設定  
・深さ  
・部分収縮



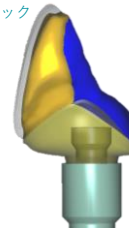
2. デザイン  
・色塗り



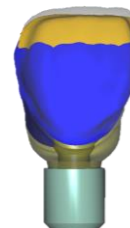
3. カットバック  
・適用



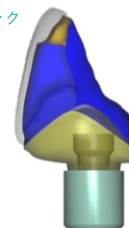
4. マルチレベル  
カットバック  
・再縮小に  
チェック



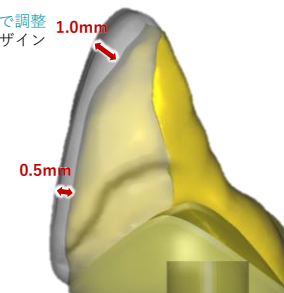
5. 追加デザイン  
・色塗り



6. カットバック  
・適用



自由形状で調整  
・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。



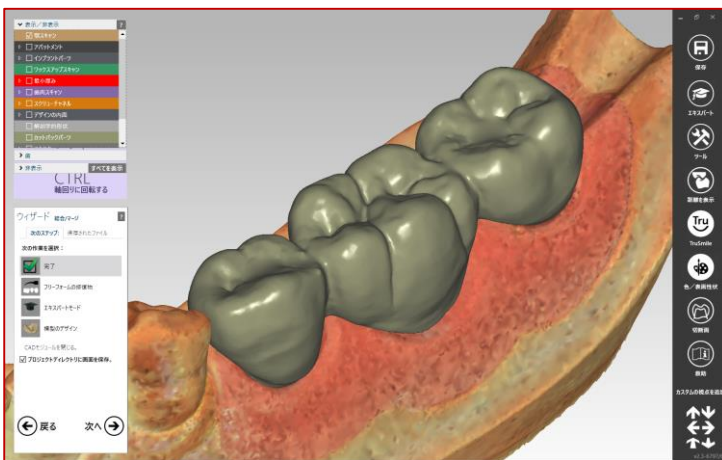
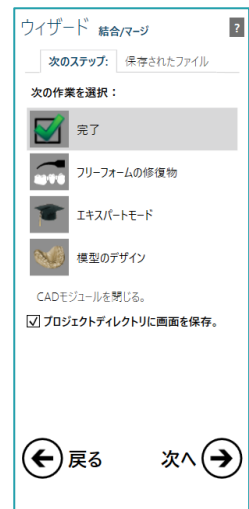


【新規デザインを開始する】

デザインの結合・完了

【デザインを結合します】

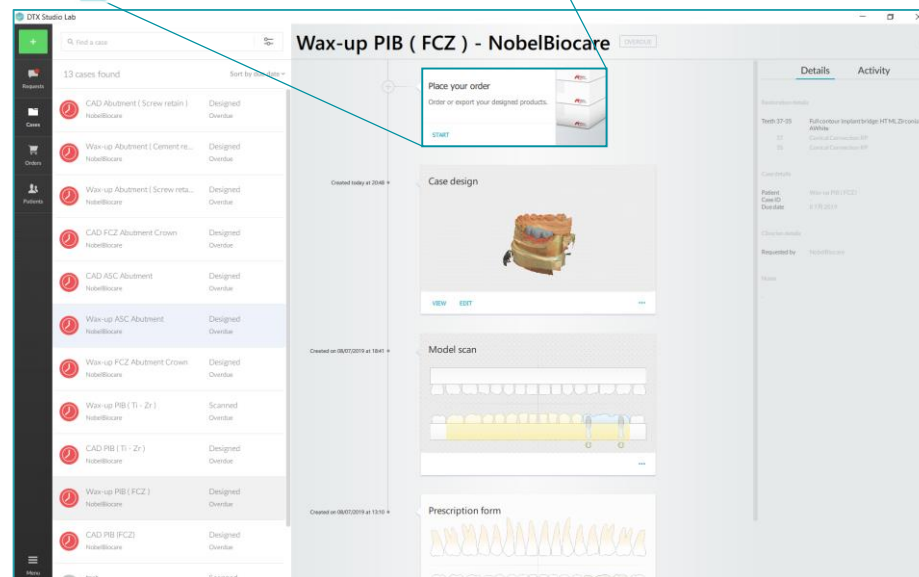
デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います



- 完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます
- フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います
- エキスパートモード：様々なデザイン設計変更をします
- 模型のデザイン：模型の3Dデザインを行います (ModelCleator/要License)

【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・プラットフォームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



# DTX Studio Lab 1.10

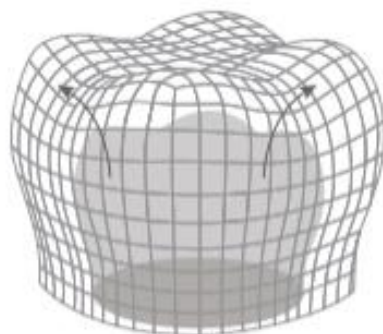
- FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン



Design



【新規デザインを開始する】



Start from library / ライブラリから開始  
を選択した場合。

Start from library

# DTX Studio Lab 1.10

● FCZ Implant Bridge Design / FCZ インプラント・ブリッジ デザイン

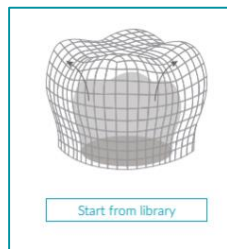


Design



【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ



Start from library  
ライブラリから開始  
を選択した場合。

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



マウスの操作



左クリック：  
決定/選択



右クリック：  
画像の回転



左右クリック：  
画像の移動



ローラー：  
画像の拡大/縮小



デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面

LS 3 スキャナーでカラーキャンをした場合の表示

【カラー表示の切り替え】

LS 3 スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

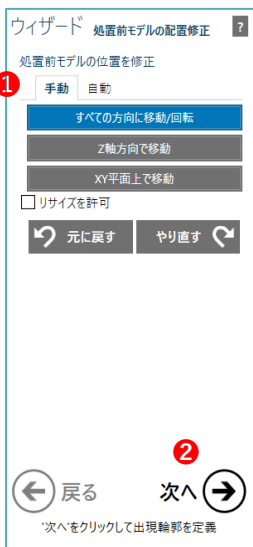
\* LS 3 スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



【新規デザインを開始する】

## デザインの準備 (位置修正)

【処置前モデルの配置を修正します】

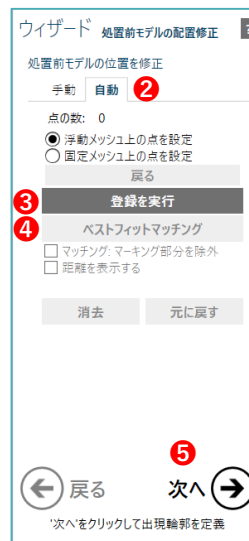
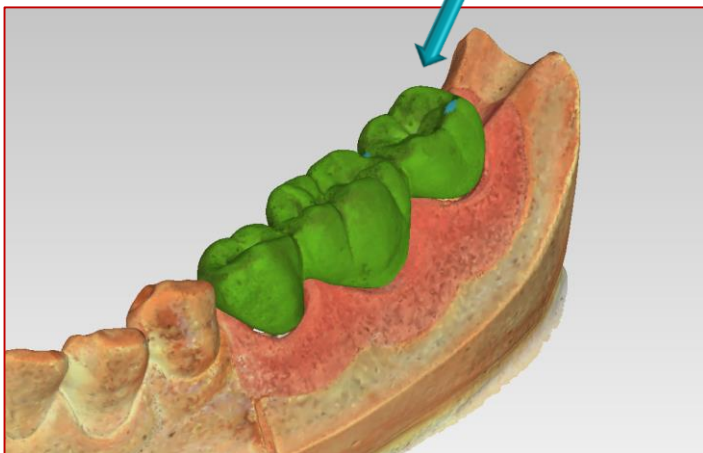


データにずれがない場合は、2をクリックして、次の項目に進みます

1 ウィザード欄の【手動】タブから項目を選択し、手動で移動させます。左ドラッグで対象物が移動します。【Ctrl】+左ドラッグで対象物が回転します。

- ・すべての方向に移動/回転：全方向に移動します
- ・Z軸方向で移動：上下に移動します
- ・XY軸平面上で移動：前後左右に移動します
- ・リサイズを許可：スケールを変更できます

2 設定が終了したら、[次へ]を左クリックして完了をクリックします。

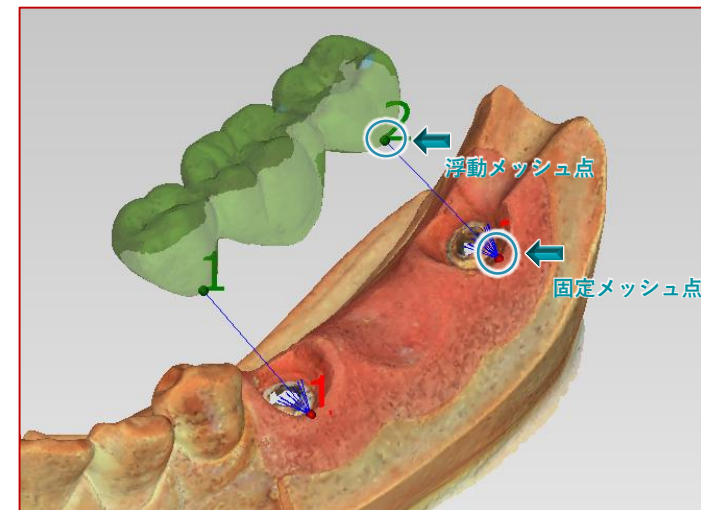


2 ウィザード欄の【自動】タブから対象物の合わせたい箇所へポイントを指定し移動させます。【複数のポイントを設定できます】

- ・浮動メッシュ上の点を設定：ズレている対象物上にポイントします。
- ・固定メッシュ上の点を設定：合わせたい対象物上にポイントします。

3 【登録を実行】を左クリックするとポイント同士が重なり、データが移動します。

4 【ベストフィットマッチング】をクリックすると、ソフトウェアが自動計算を行います



5 設定が完了したら、[次へ] を左クリックして設定を完了します

### POINT

浮動メッシュ側にポイントした箇所と同じになるように、固定メッシュ側にポイントします



【新規デザインを開始する】

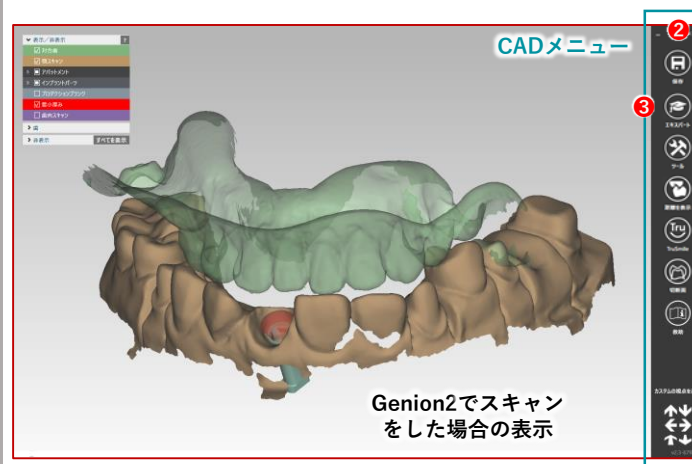
デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。

【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイト・インディックスの編集を例に解説します。



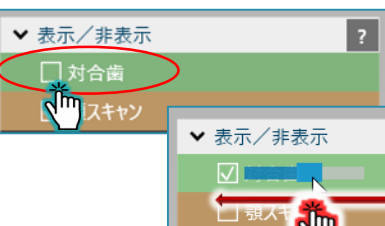
2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

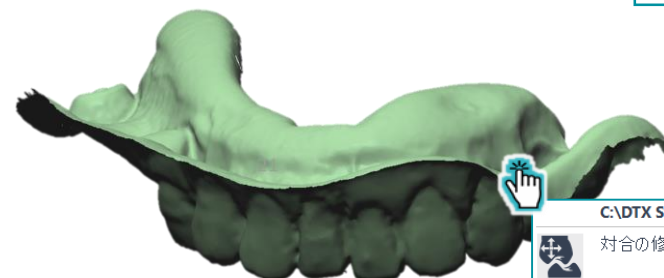
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。



右クリック：Context Menuの表示

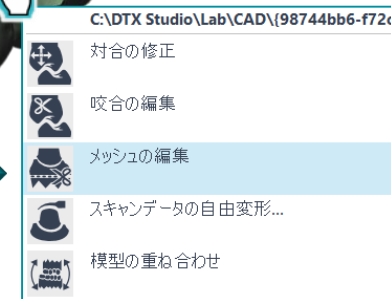


1 画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【対合歯】に左クリックでチェックを入れ、対合歯を表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。





【新規デザインを開始する】

## デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合は、Wクリックで範囲指定します。

### 範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**  
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**  
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**  
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**  
全てのデータを1クリックで選択します。
- ▶ **【なし】**  
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**  
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。

### 動作

- ▶ **【削除】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**  
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**  
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**  
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**  
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

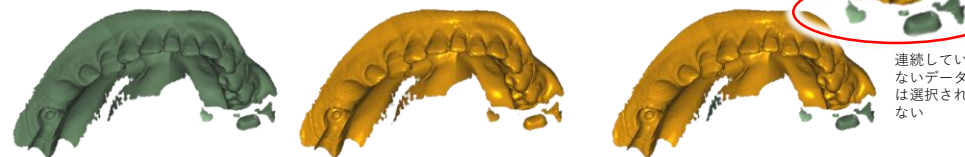
● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



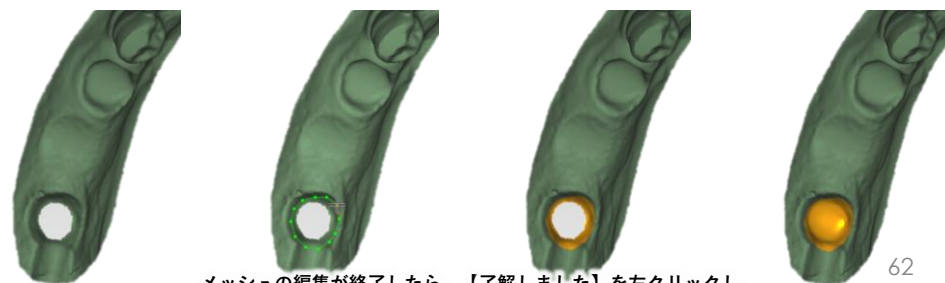
● 削除：1クリックで範囲を指定

【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。

### 3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択  
 表面上で選択  
 表面をクリックして選択

動作

削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】

ウィザード 出現輪郭を定義

検出 修正/描画

1 歯の番号 37

輪郭マージンを発見

ポイントの追加

ポイントの削除

クリアー

ライトの調整

少なくとも4ポイントを設定して定義  
出現輪郭のマージン

戻る

次へ

\*次へをクリックして出現輪郭を定義

1 ウィザード欄の【検出】タブから、【ポイントの追加】を選択します。指示されている部位のマージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。\*図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。\*図2

図1

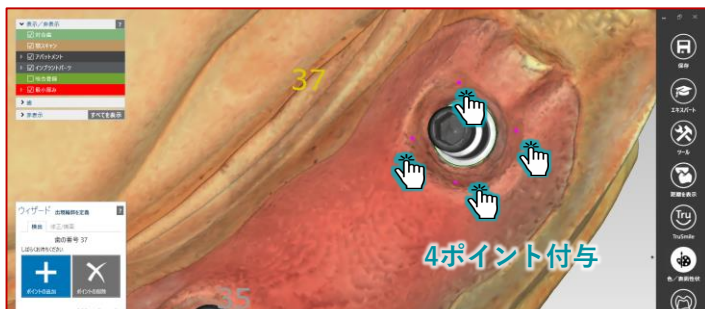


図2



## POINT

インプラント埋入本数分の設定が必要です。  
【次へ】をクリックすると、他の部位へ移動しますので、全ての部位の設定を行ってください

ウィザード 出現輪郭を定義

検出 修正/描画 2

歯の番号 37

移動

上下

描画

マージンラインを上下に移動

0.05 mm

クリアー

前処置された歯肉

元に戻す

やり直す

3

戻る

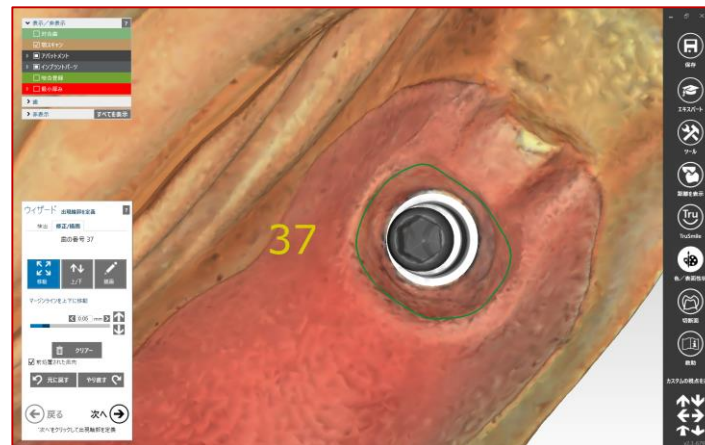
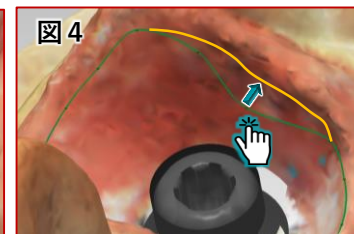
次へ

\*次へをクリックして出現輪郭を定義

2 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。  
\*図3  
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。\*図4

3 設定が完了したら、【次へ】を左クリックしてマージンの設定を決定します



## POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態です右クリックします。



【新規デザインを開始する】

## 歯牙データの挿入

【症例に合わせて、歯牙データを挿入します】



ウィザード欄の【選択】タブから挿入する歯牙のタイプを選択します。

### 【ライブラリーデータの使用】

・ソフトウェアのライブラリーデータを使用する場合は【次へ】をクリックし、次の項目で配置設計をします

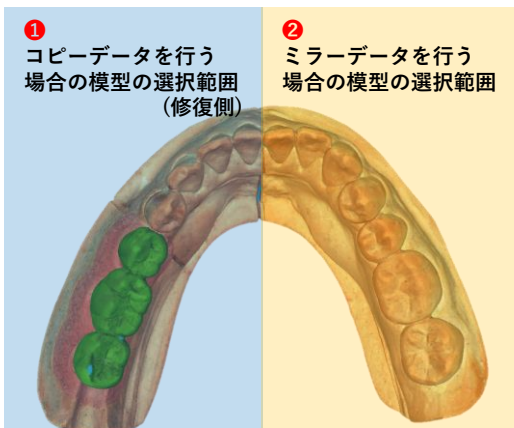
#### ① 【コピーデータの使用】

・模型上の歯牙をコピーしてデザインを行う場合は、【コピー】を選択した後、コピーしたい模型の歯牙を左クリックで選択します。

#### ② 【ミラーデータの使用】

・模型データの反対側同名歯を反転コピーしたい場合は、②の【ミラー】を選択した後、模型の歯牙を左クリックで選択します。

③ 選択が終了したら、【次へ】を左クリックします。



本項では【ライブラリーデータ】を使用しています

### Check

本項では、【ライブラリーデータ】を使用して解説しています。

### ① コピーデータを使用した場合

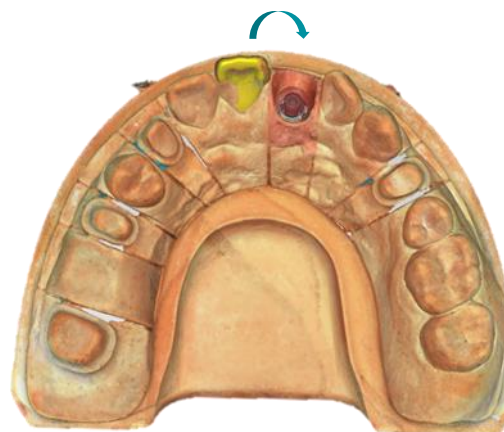
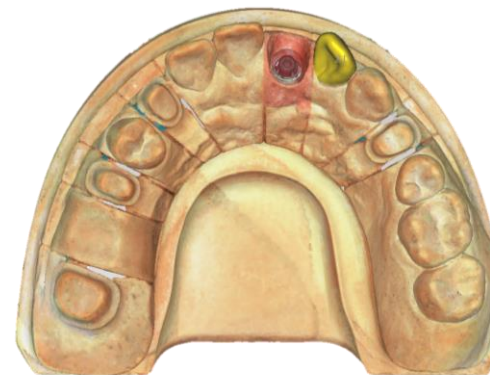


【主に白歯部に使用】

### ② ミラーデータを使用した場合



【主に前・白歯部に使用】







【新規デザインを開始する】

## 歯牙の配置設定

【ウィザード各項目を使用し、歯牙を歯列へ配置を行います】

ウィザード 歯の配置

① サンプル   ② チェーンヘッド   ③

移動   回転   スケール

全方向  
 近心/遠心方向のみ  
 頬側/舌側方向のみ  
 咬頭方向のみ  
 近心/遠心 + 頬側/舌側  
 同時にすべてを移動

コンテキストメニューを使用して変更する歯のタイプ。

移動   回転   スケール

① 左ドラッグで移動します

移動   回転   スケール

② 左ドラッグで回転します

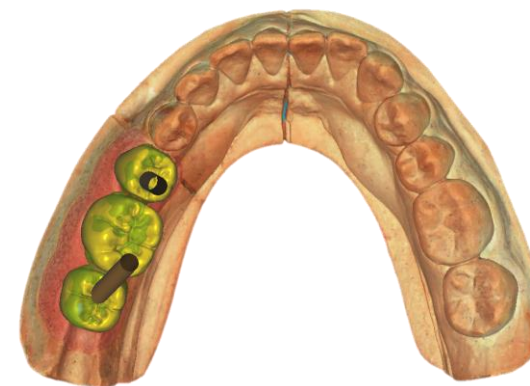
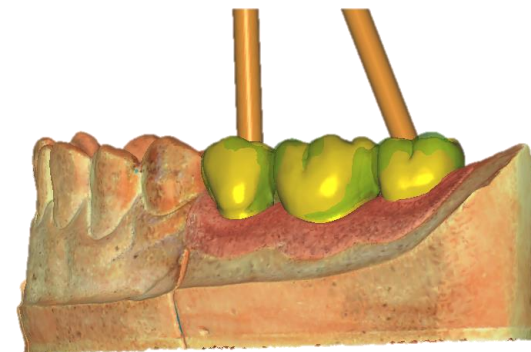
移動   回転   スケール

③ 左ドラッグで拡大/縮小します

### Check

本項では、【ライブラリーデータ】を使用して解説しています。

配置設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。



### POINT

ワックスアップスキャンデータより、歯牙のライブラリーデータを若干大きくなるように、を調整します。

配置設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

## サブジンジバル・カントウアのデザイン

【顎スキヤンの表示を薄くし、歯肉貫通部を可視化します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

3 以上

4

5 以下

6

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ

【顎スキヤン】を薄く表示させます

歯肉貫通部のラインが見えるように調整

ウィザード欄の【下部】タブの項目を使用し、アバットメントのプロファイルをデザインします。

歯肉貫通部の形状が見えやすいように、【表示/非表示】ウィンドウから【顎スキヤン】を薄く表示させます

【プロファイル形状を決定します】

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

【形状】の項目を使用し、アバットメント・プロファイルのトップとボトムをデザインします。

ゲージをスライドさせると形状が変更されます

オリジナル:

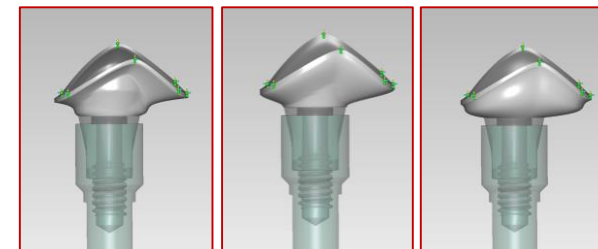
何もいじっていない状態

1 トップアングル

マージンライン付近の豊隆を調整

2 ボトムアングル

接合部付近の豊隆を調整



3

4

フリーフォーム  視覚化 リミット?

以上 < 0.2 >

5 以下 < 0.2 >

丸めを適用  
コントロールキー制御点を追加

フリーフォーム (Shiftキー)

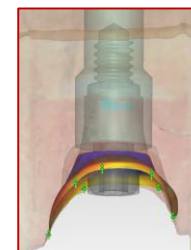
-0.2 -0.1 0 0.1 0.2



3 フリーフォーム

左ドラッグで自由変形を行う

ポリウムを増やしたい箇所にカーソルを合わせ、左クリック及び左ドラッグでポリウムを任意に増やすことができます。減らすときは【Shift】キーを押しながら左ドラッグをします



4 視覚化

歯肉内面との接触状態を色で表示します。

赤色: 歯肉へ強く接している状態  
黄色: 歯肉へほぼピッタリと接している状態  
青色: 歯肉へ接触していない状態

【視覚化】にチェックを入れると、視覚表示のゲージが有効化されステータスを変更することができます。

表示/非表示

対合歯

顎スキヤン

歯肉

解部

アバットメント

インフラストラクチャー

スクリューチャネル

咬合登録

プロダクションプランク

最小厚み

歯

非表示

歯肉貫通部が視覚化

POINT

5 視覚化ゲージ < 0.2 > < 0.2 >

ゲージをスライドさせると数値が変更

以上:  
0から歯肉から離れていく方向の値

以下:  
0から歯肉へ向かっていく方向の値

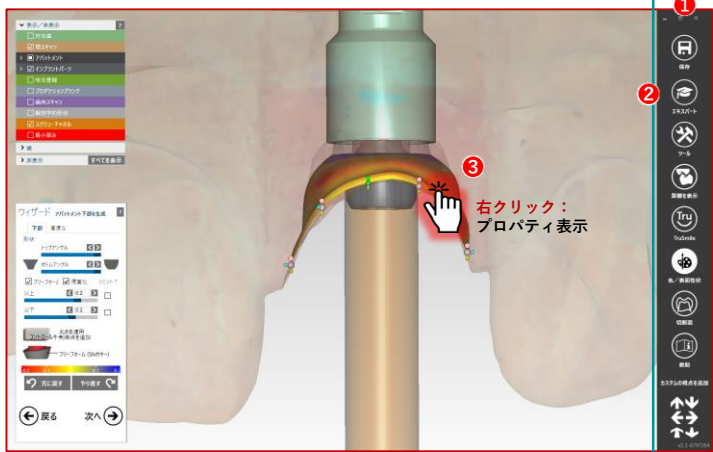




【新規デザインを開始する】

## サブジンジバル・カントウアのデザイン - アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



CADメニュー

① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

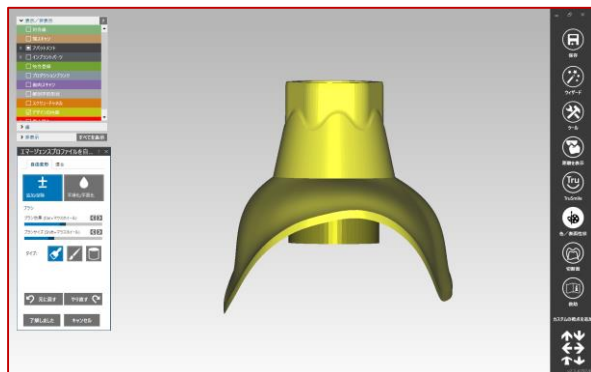
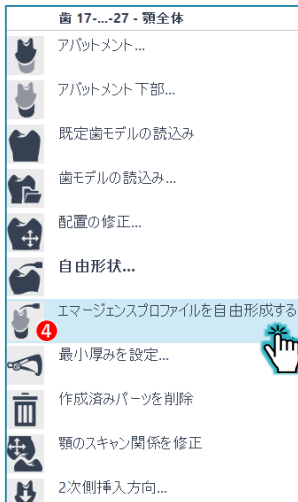
② エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

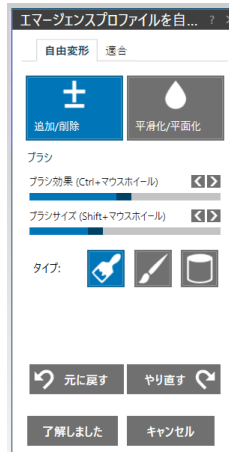
③ 右クリック：  
プロパティ表示

③ アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【エマージェンスプロファイルを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



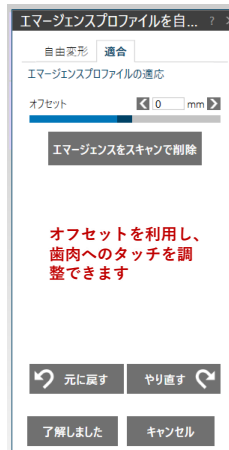
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



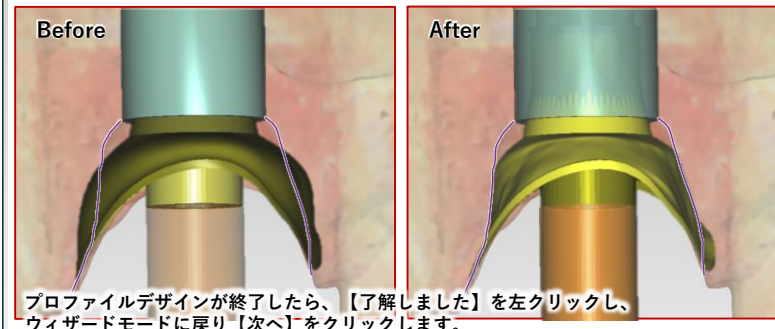
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】



ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマージェンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。



【新規デザインを開始する】

## スクリーアクセスホールのデザイン

**Check !**

ASC機能は、Connical Connectionインプラント (Implant Level)のみ設定が可能です。

【アクセスホールを決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

\*\*\*外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.24 mm >

半径 < 0 mm >

インプラントより下を実行する

スクリーチャンネルを角度付け

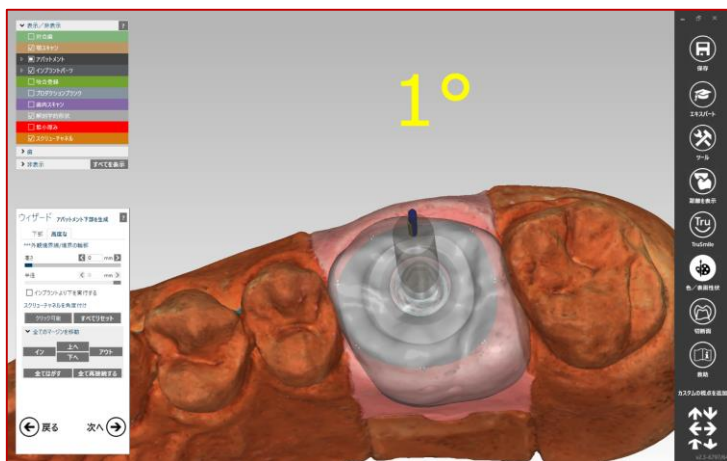
**7** クリック可能  すべてリセット

▼ 全てのマージンを移動

イン 上へ アウト 下へ

全てはがす 全て再接続する

戻る 次へ



ウィザード欄の【高度な】タブの項目を使用し、アバットメントスクリーアクセスホールを設定します。

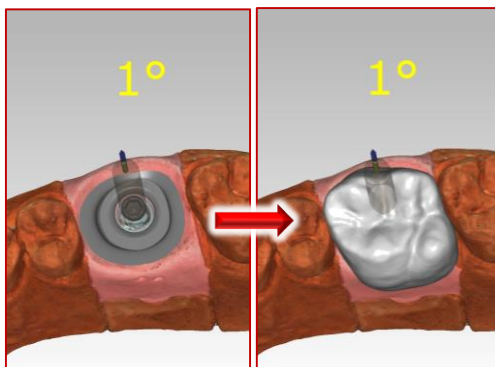
### POINT

#### 歯牙形態の表示

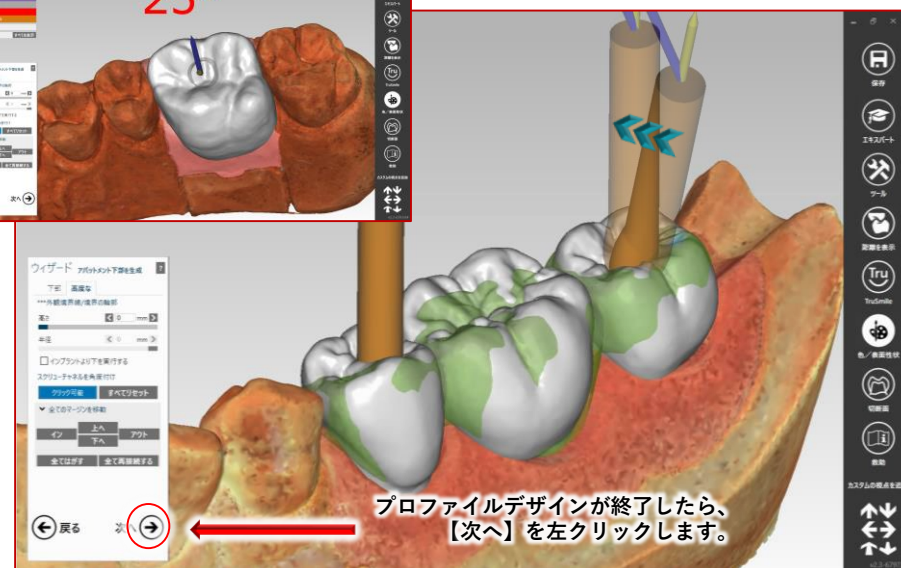
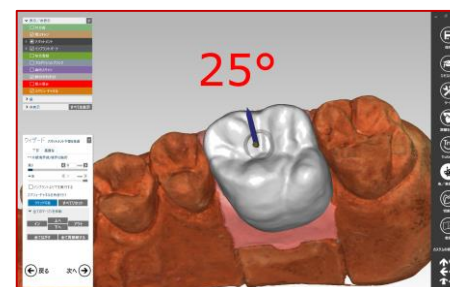
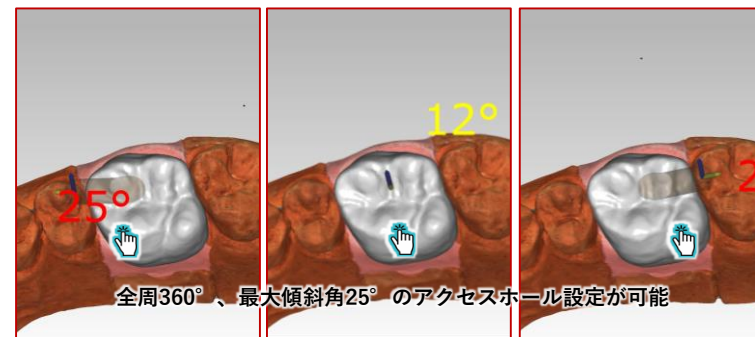
アクセスホールを適正な位置に設定するため、歯牙形状を表示すると設定し易くなります。

▼ 表示/非表示

- 対合歯
- 歯スキャン
- ▶ アバットメント
- ▶  インプラントパーツ
- 咬合登録
- プロダクションプランク
- 歯肉スキャン
- 最小厚み
- 解剖学的影注
- スクリーチャンネル
- ▶ 歯
- ▶ 非表示



ウィザード欄の【高度な】タブ内にある、**7**【スクリーチャンネルの角度付け】の【クリック可能】を選択し、3Dデータ上でアクセスホールの位置をクリックで決定します。

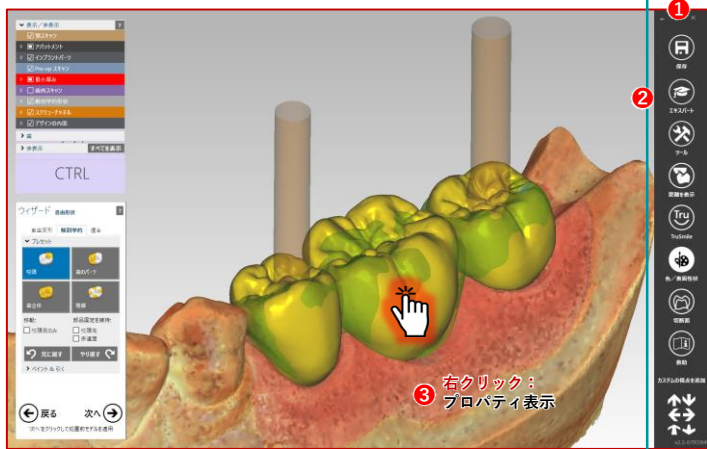




【新規デザインを開始する】

## ワックスアップフレームの適合

【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



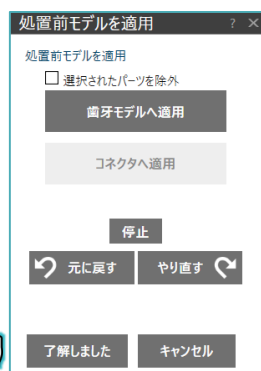
① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

② エキスパート・モードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③ 処置前モデル上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

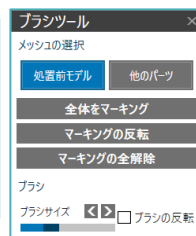
適合させる歯牙を左クリックし、歯牙を【青色】に反転させます。複数歯を同時に適合させるには、【Shift】+左クリックで選択します

④ プロパティから【処置前モデルを適応】を選択します。

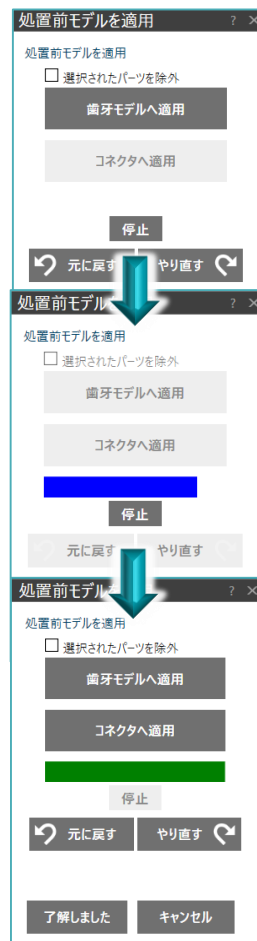


**POINT**  
選択されたパーツを除外

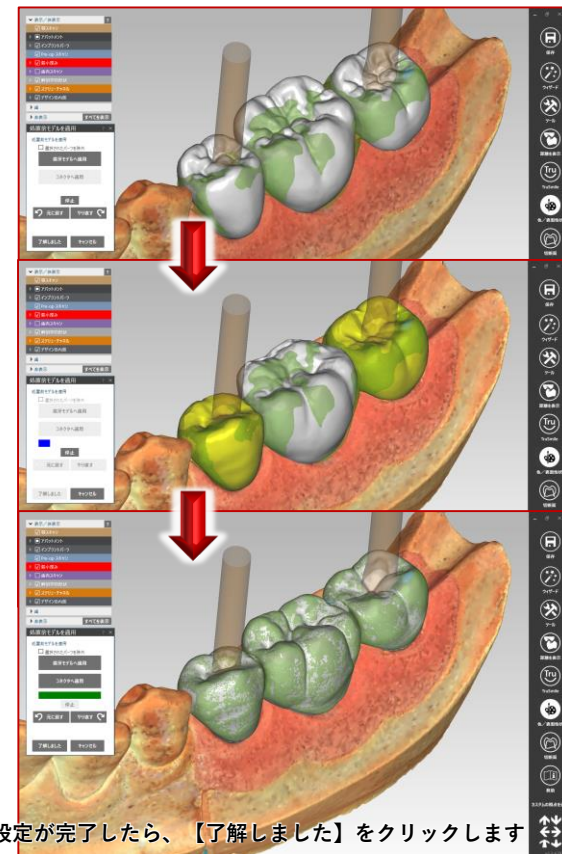
選択されたパーツを除外にチェックを入れ、ブラシツールで色塗りすると、その部分は変形せず、デザインを行うことができます。



【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



処置前モデルを適応ウィンドウの【歯牙モデルへ適応】をクリックし、ライブラリーの歯牙データを、ワックスアップフレームのデータに合わせます。



設定が完了したら、【了解しました】をクリックします



【新規デザインを開始する】

## 歯冠形態のデザイン

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。  
 【追加/削除】【平滑化/平面化】【ブラシ効果】【ブラシサイズ】  
 【タイプ】の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

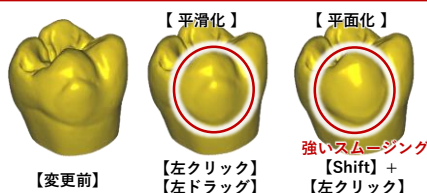
### 1 【追加/削除】

【左クリック＆ドラッグ】  
 でデータを追加できます。  
 データを減らす場合は  
 【Shift】 + 【左クリックor  
 ドラッグ】で削除できます



### 2 【平滑化/平面化】

【左クリック＆ドラッグ】  
 でデータを平滑できます。  
 強スムージングの場合は  
 【Shift】 + 【左クリックor  
 ドラッグ】で実行します。



### 3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します  
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

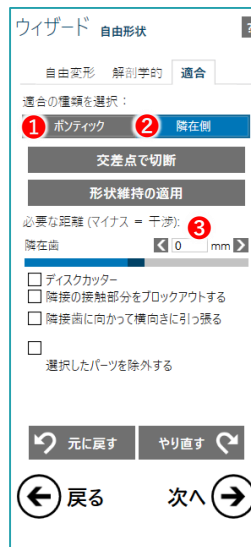
### 4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します  
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

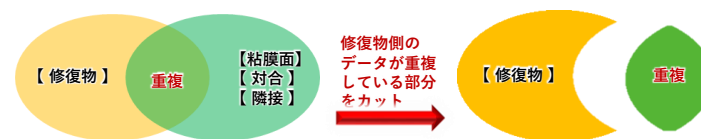
### 5 6 7 【ブラスタイプ】

- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。  
 表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分  
 のデータをカットします。  
 (製作するプロダクトにより表示が異なってきます)



### 1 【ボンテック】

粘膜面と交差している部分の  
 データを削除します



【ボンテック】タブから【歯肉に適合】を  
 クリックし粘膜に合わせます

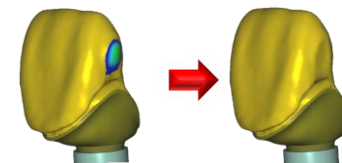


### 2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差して  
 いるデータを削除します



交差点で切断：データを切り取ります  
 形状維持の適用：データを維持します



### 3 【必要な距離】

データの交差量を調整します  
 マイナス：干渉  
 プラス：空隙

右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)



デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

## 歯肉形態のデザイン

【仮想歯肉をデザインする】 — 補綴物に対する模型表面の設定

ウィザード 仮想ワックスアップの内面

- 1 プロパティ 自由形成  
歯肉と一緒にワックスアップをデザインしますか？
- 2 歯肉スキャン無し
- 3 仮想歯肉をデザインする  
歯のデザイン：37-...-35
- 4 次へ

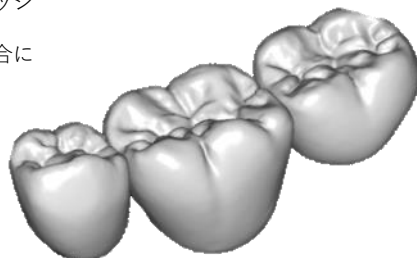
戻る 次へ

\*次へをクリックして取縮

ウィザード欄の①【プロパティ】タブをクリックします。  
②【歯肉スキャンなし】③【仮想歯肉をデザインする】の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。  
選択後、④【次へ】をクリックします。

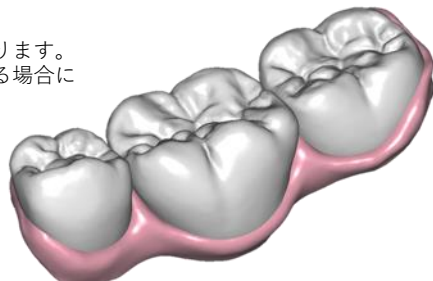
### ② 【歯肉スキャンなし】

歯冠形態のみのブリッジデザインになります。  
歯肉を製作しない場合に選択します。



### ③ 【仮想歯肉をデザインする】

歯冠形態と歯肉形態のブリッジデザインになります。  
ガム付き補綴を製作する場合に選択します。



本項では、歯肉付き補綴デザインで解説しています。

【仮想歯肉をデザインする】 — 補綴物に対する模型表面の設定

ウィザード 仮想ワックスアップの内面

- 1 プロパティ 自由形成  
歯肉と一緒にワックスアップをデザインしますか？
- 2 仮想歯肉をデザインする  
歯肉スキャン無し  
内面部プロパティ  
アンダーカットをブロックアウトする
- 3 ビューを挿入方向として設定  
適用  
歯のデザイン：37-...-35

戻る 次へ

\*次へをクリックして取縮

模型表面を加工し、補綴物基底面と粘膜までの空隙確保や、補綴物着脱に影響するアンダーカット部のブロックアウト設定などを行います。

①【プロパティ】タブから②【仮想歯肉をデザインする】を選択します。

補綴物の着脱方向を決定するため、3D画像を動かし、  
③【ビューを挿入方向として設定】をクリックし着脱方向を決定します。  
決定されると、模型表面に挿入軸に対するアンダーカットが色付で表示されます。

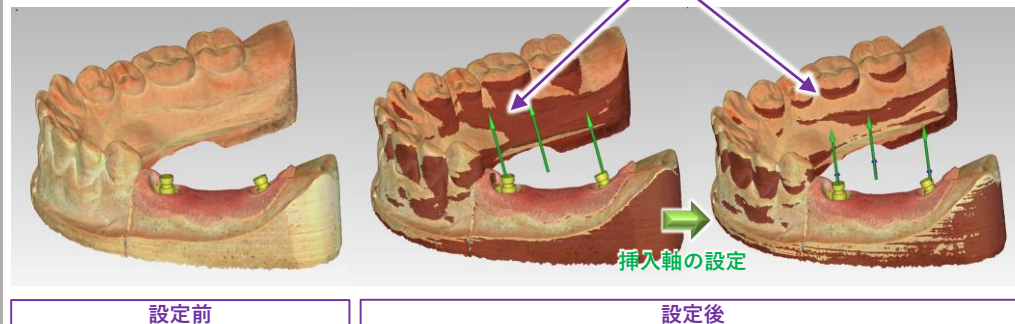
ビューを挿入方向として設定



補綴物の着脱方向の決定

設定中の挿入軸  
ビューに戻す

挿入軸に対するアンダーカット部



設定前

設定後





【新規デザインを開始する】

## 歯肉形態のデザイン

【仮想歯肉をデザインする】 — 補綴物に対する模型表面の設定

ウィザード 仮想ワックスアップの内面

プロパティ 自由形成  
歯肉と一緒にワックスアップをデザインしますか？

歯肉スキャン無し

**1** 仮想歯肉をデザインする

内面部プロパティ

アンダーカットをブロックアウトする

ビューを挿入方向として設定

**2** 適用

歯のデザイン：37...-35

戻る 次へ

次へをクリックして収縮

### 3 【内面部プロパティ】

各パラメータを設定し、**2**【適用】をクリックすると3Dに反映されます。再度、調整する場合は、**3**【アップデート】をクリックします。

**オフセット**：(0~4mm)

粘膜からガム補綴基底部までの垂直的空隙設定 (0~4mm)

**平滑化**：(0~100%)

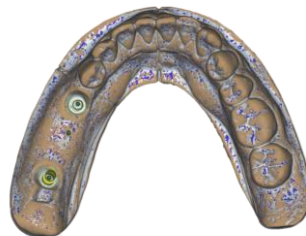
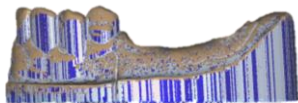
表面全体をスムージングします。

**フライス直径**：(0.3~2mm)

模型の角や歯冠隅角など、鋭角な部位のみブロックアウトします。

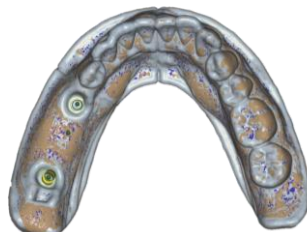
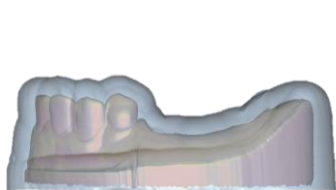
オフセット：(0mm)

フライス直径：(0.3mm)



オフセット：(4mm)

フライス直径：(0.3mm)



**3** アップデート クリア

【仮想歯肉をデザインする】 — 補綴物に対する模型表面の設定

ウィザード 仮想ワックスアップの内面

プロパティ 自由形成  
歯肉と一緒にワックスアップをデザインしますか？

歯肉スキャン無し

**1** 仮想歯肉をデザインする

内面部プロパティ

アンダーカットをブロックアウトする

ビューを挿入方向として設定

**2** 適用

歯のデザイン：37...-35

戻る 次へ

次へをクリックして収縮

### 4 【アンダーカットをブロックアウトする】

**角度**：(-50~50度)

ブロックアウトの角度を調整します。

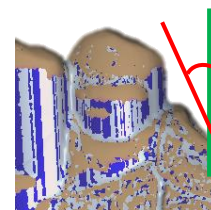
(**1**の挿入軸に対する角度設定)

**アンダーカットを許容**：(0~0.5mm)

アンダーカット最上縁から、設定値の分だけ距離を置いた位置からブロックアウトが設定される

角度：(0度)

アンダーカット許容：(0mm)

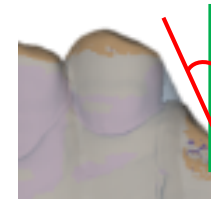


挿入軸に対する角度



角度：(20度)

アンダーカット許容：(0.5mm)



挿入軸に対する角度



アンダーカット上縁から設定値まで下げる

アンダーカットをブロックアウトする

角度 < 2 ° >

\*\*\*アンダーカットを許容以下 < 0 mm >

**3** アップデート クリア

### POINT 自由形成

【自由形状】タブでは、クラウンデザイン同様、部分的なデザインが可能です。

設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

## 歯肉形態のデザイン

【歯肉をデザインする】

ウィザード 歯肉デザイン

ベース: 37 - 35

gingiva design bottomをクリックして、マージラインを推します。

クリアー

元に戻す やり直す

表面特性

ベース厚さ < 1 mm >

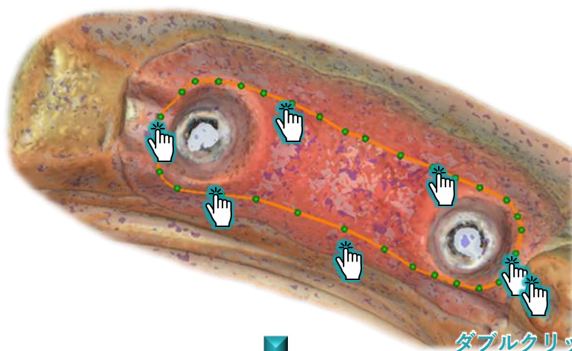
歯頸部厚み < 1 mm >

平滑化 < 2 mm >

適用 キャンセル

戻る 次へ

歯肉部の粘膜接触面の範囲を決定します。模型粘膜面にポイントを付与し、歯肉部分の範囲を決定します。最終ポイントはダブルクリックをし、範囲決定を行います。範囲決定を行うと、歯肉部分が表示されます。



ダブルクリックで決定

ポイントの修正

- 左ドラッグ: ポイントの移動ができます。
- 左クリック: ポイントを増やす
- 左右クリック: ポイントを消します
- 左ダブルクリック: 歯肉の再計算を行います

ウィザード 歯肉デザイン

ベース: 37 - 35

gingiva design bottomをクリックして、マージラインを推します。

クリアー

元に戻す やり直す

表面特性

ベース厚さ < 1 mm >

歯頸部厚み < 1 mm >

平滑化 < 2 mm >

適用 キャンセル

戻る 次へ

**クリアー:**  
付与したポイントをすべて消去します。

**元に戻す:**  
ひとつ前の作業に戻します。

**やり直す:**  
【元に戻す】で行った操作を取り消します。

【歯肉をデザインする】

ウィザード 歯肉の自由形成

自由形成 1 解剖学的

▼ プレセット

2 小領域

3 巨大な領域

内面部と境界を固定したままにする

望ましい厚さ < 0.4 >

3.4 0.65 0.6 1.15 1.4

元に戻す やり直す

戻る 次へ

\*次へをクリックして収録

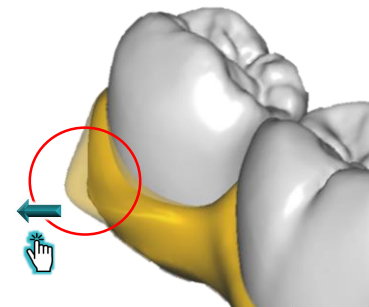
### 1【解剖学的】

解剖学的デザインでは、領域ごとにデザインデータを変形させます

### 2小領域:

部分的に比較的小さい範囲を変形させます。

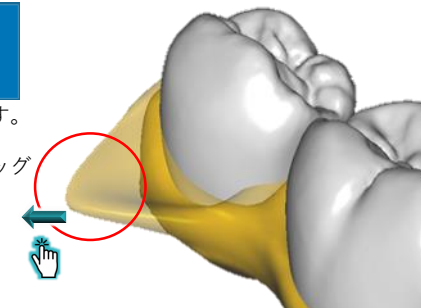
変形させたい部位を左ドラッグで引っ張り変形させます。



### 3巨大な領域:

広範囲、大きい変形させます。

変形させたい部位を左ドラッグで引っ張り変形させます。



設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

## 歯肉形態のデザイン

【歯肉をデザインする】

ウィザード 歯肉の自由形成

自由変形 解剖学的

追加/削除 平滑化/平面化

ブラシ

ブラシ効果 (Ctrl+マウスホイール)

ブラシサイズ (Shift+マウスホイール)

タイプ:

内面と境界を固定したままにする

相互作用的な厚さの適用

内部の厚みを視覚化する

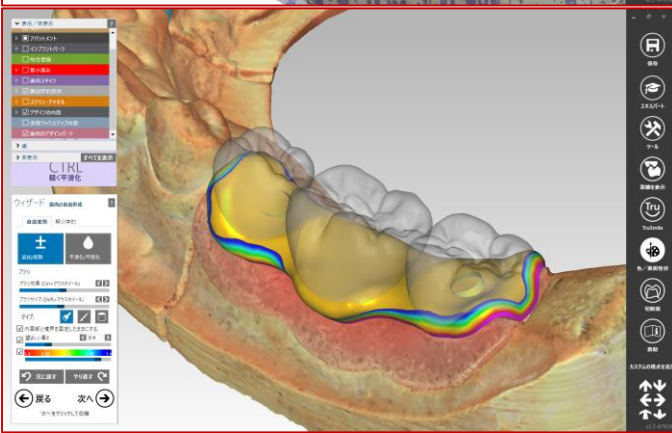
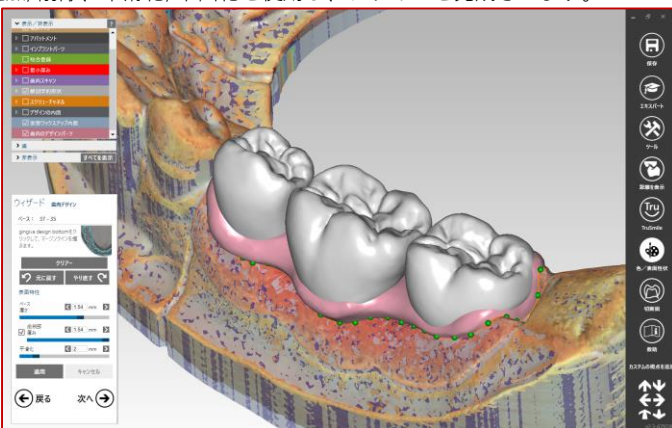
元に戻す やり直す

戻る 次へ

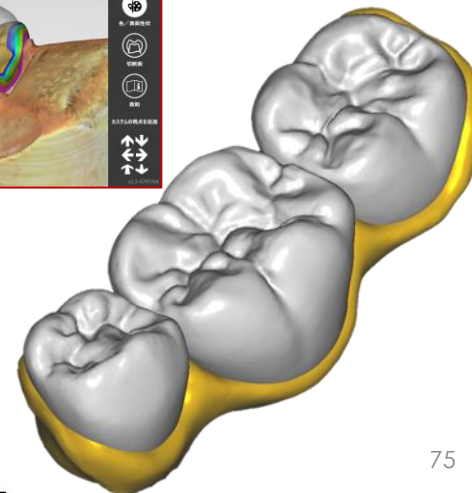
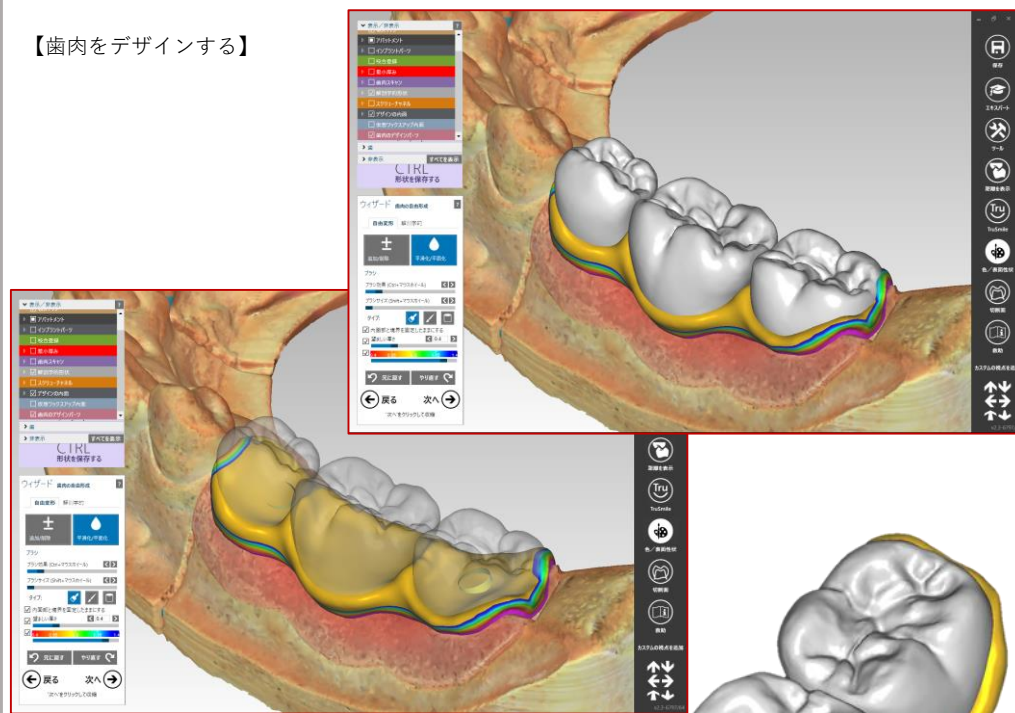
次へをクリックして収録

【自由変形】

自由変形デザインでは、歯冠デザイン同様、詳細なデザインが可能です。追加/削除、平滑化/平面化を使用し、デザインを完成させます。



【歯肉をデザインする】



デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

### POINT

カットバックライブラリーを使用しない場合は【使用しないでください(通常縮小)】を選択し、他の項目で、カットバックを行ってください

【カットバックフレームをデザインします】

【カットバックフレームをデザインします】

ウィザード 収縮処理

1 カットバックデザインライブラリー...

使用しないでください (通常縮小)

収縮

深さ < 0 mm

部分収縮

選択されたパーツを除外

プランの厚み

すべてをマーク すべて 舌側 カラー

[舌側の収縮を抑制しますか?]

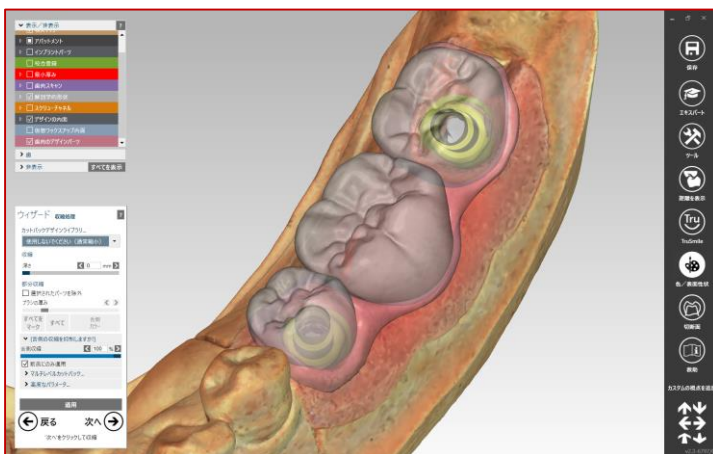
舌側収縮 < 100 %

前歯にのみ適用

> マルチレベルカットバック...

> 高度なパラメータ...

適用



### 1 【カットバックデザインライブラリー】

ライブラリーデータを使用し、カットバックを行います。

➤ Incisal-ridges

➤ facial-ridges

➤ thimble : スキャンフロー項目で、Start from Libraryを選択した場合のみ選択可

➤ 使用しないでください(通常縮小) : 通常のカットバック機能を行います

incisal-ridges

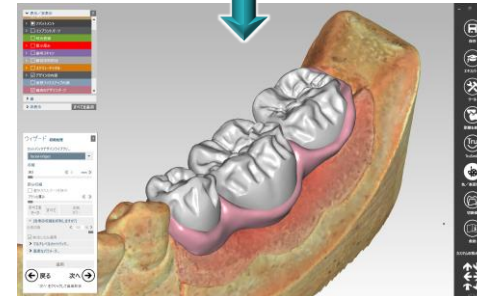
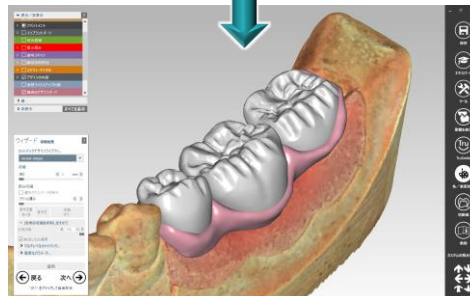
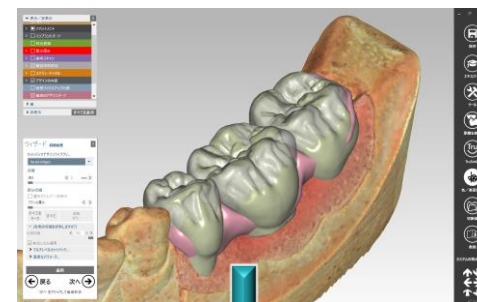
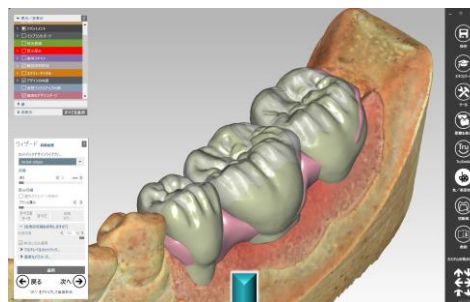
facial-ridges

thimble

使用しないでください (通常縮小)

incisal-ridges

facial-ridges





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【カットバックフレームをデザインします】

ウィザード 収縮処理

カットバックデザインライブラリ...

使用しないでください (通常縮小)

**1** 収縮

深さ < 0 mm >

**2** 部分収縮

選択されたパーツを除外

ブラシの厚み <>

すべてをマーク すべて 舌側カラー

**3**  【舌側の収縮を抑制しますか?】

舌側収縮 < 100 % >

前歯にのみ適用

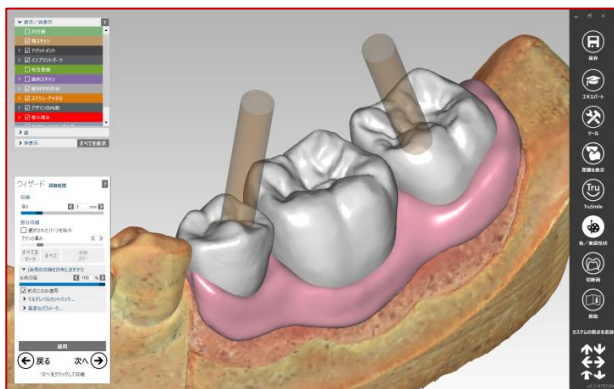
**4** マルチレベルカットバック...

**5** 高度なパラメータ...

**6** 適用

戻る 次へ

\*次へをクリックして収縮



- 1** 【収縮】：カットバック量を調整します。(深さ：0～5mm)
- 2** 【部分収縮】：部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。**色が塗られた箇所以外がカットバックされます。**
  - ・すべてをマーク：クラウン全体を選択します。
  - ・すべて：マークされた部分をクリアします。
  - ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
- 3** 【舌側の収縮を抑制しますか?】：舌側の収縮量調整をします。
  - ・0：カットバックしません
  - ・100：**1**の【収縮】深さに準じカットバックします。
  - ・【前歯部のみ】にチェックを入れると、臼歯部へは適応しません。
- 4** 【マルチレベルカットバック】：同一箇所カットバックが複数回できます。
- 5** 【高度なパラメータ】：最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- 6** 【適応】：**1**～**4**のステータス設定後、適応ボタンでカットバックします。

## POINT カットバック

**1**の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

フルクラウンタイプに使用できます

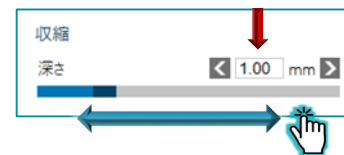
【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

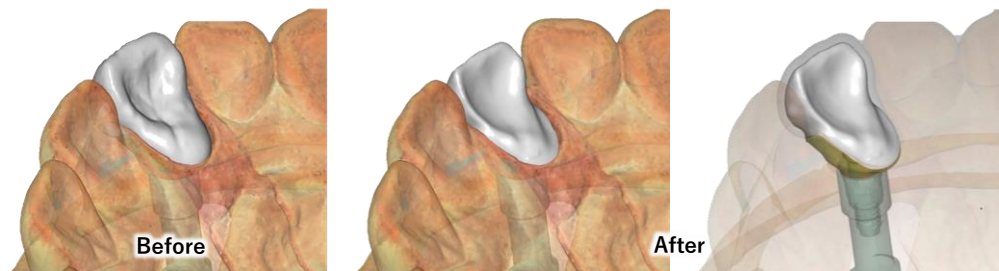
Step :

1. **1** 【収縮】の深さを設定します。
2. **6** 【適用】をクリックします。
3. カットバックされます。

**1** 値の入力もしくは、ゲージ調整



クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます



## POINT カットバックの表示

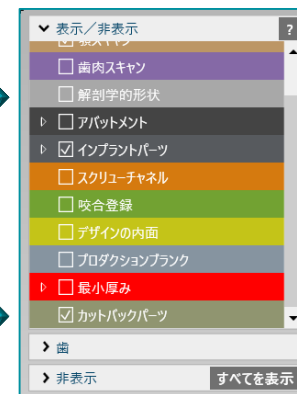
【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

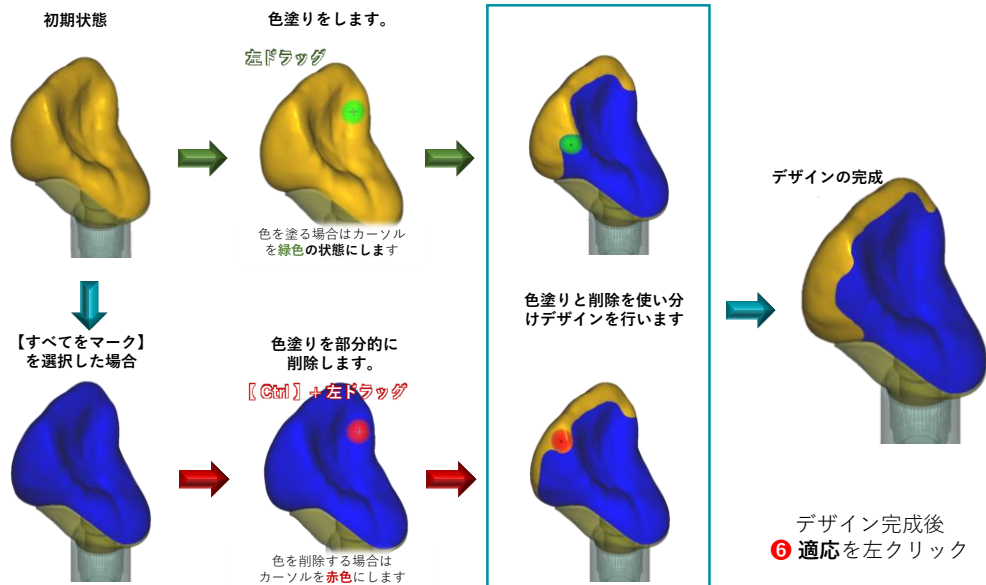
1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ②【部分収縮】の【**選択されたパーツを除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。(適宜、**すべてをマーク・すべて・舌側カラー**を選択します。)
3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。  
**色が塗られた箇所以外がカットバックされます。**  
 ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。  
 【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。  
 ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。  
 ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。  
 【自動選択】ウィンドウが表示され、舌側カラーの高さと範囲が選択できます。(図1)  
 【周りをすべて選択】：クラウン全周にカラーが付きます。  
 【舌側パーツを選択】：クラウン舌側にカラーが付きます。

【パーシャルカットバック】

フリー・デザイン



リングル・カラーの設定

【周りをすべて選択】

【舌側パーツを選択】

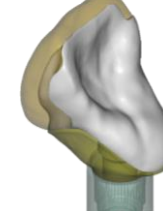
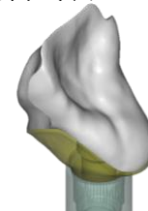


図 1

カットバックフレームの完成

カットバックフレーム

カットバック量の確認





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



【舌側収縮の抑止機能】

舌側一定範囲のカットバック機能

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ③【舌側収縮を抑制しますか?】項目の舌側収縮ゲージを調整し、舌側部のカットバック量を調整します。(0~100%)
  - 0: 舌側部はカットバックしません。舌側以外は①の深さに準じてカットバックします。
  - 50: ①の深さ量の50%カットバックします。
  - 100: ①の深さ量に準じて100%カットバックします。

【前歯にのみ適用】にチェックを入れると、白歯部には適用されず、前歯部のみ適用されます。

チェックを外すと、白歯部にも適用します。(\*図1)

3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【舌側パーツを選択】

舌側収縮の設定

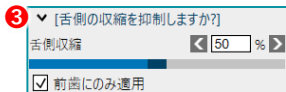
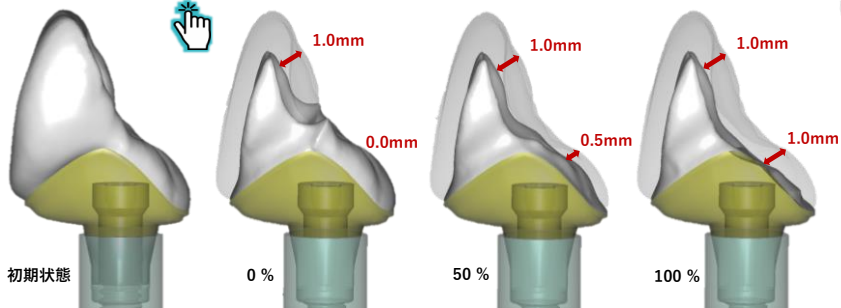


図1



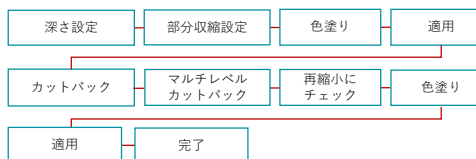
【舌側収縮範囲】

【パーシャルカットバック】

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

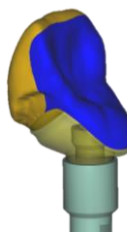
例) 前歯部唇側側の、ボディ部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合  
ボディ: 0.5mm  
切端: 1.0mm



1. 設定  
・深さ  
・部分収縮



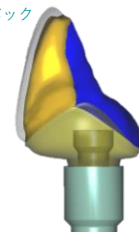
2. デザイン  
・色塗り



3. カットバック  
・適用



4. マルチレベル  
カットバック  
・再縮小に  
チェック



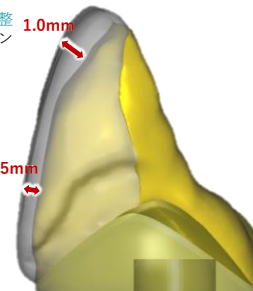
5. 追加デザイン  
・色塗り



6. カットバック  
・適用



自由形状で調整  
・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

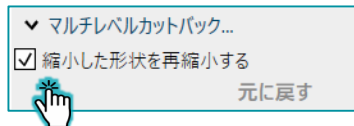


図2

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
2. ②【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. ④【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (\*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. ②部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【カットバックフレームをデザインします】 - 歯牙の指定

### CADメニュー

1

1 画面右にあるCADメニューから、2 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。次いで、**変更を加えたい歯牙**を左クリックし、【歯牙が青色】になったら、画面下【エキスパートモード・メニュー】より、3 【縮小(カットバック)】を起動し、カットバックを行います。

2

エキスパート・モードを起動します



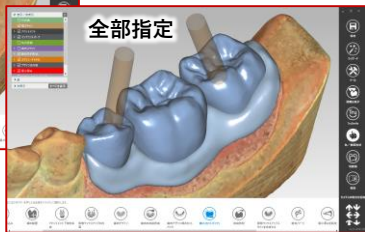
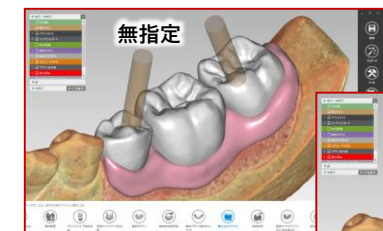
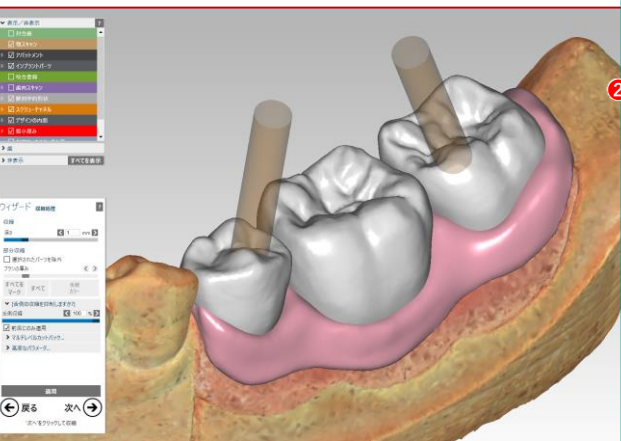
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

3

カットバックをしたい歯牙を指定(青色)後に、(カットバックボタン)をクリックすると、カットバック・ウィザードが出現します。



縮小(カットバック)



### エキスパートモード・メニュー

3

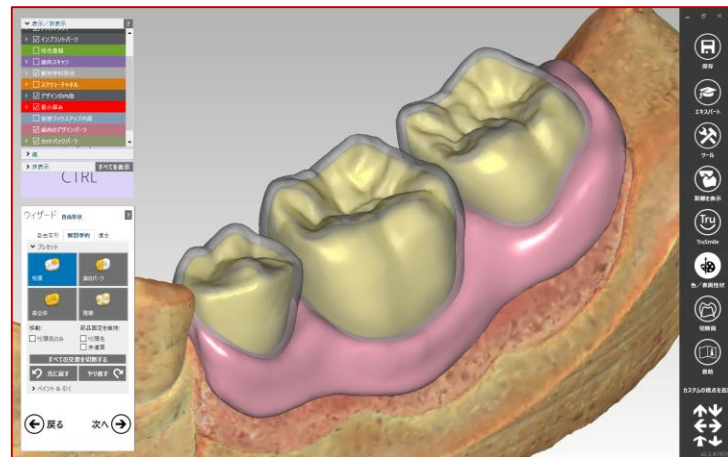
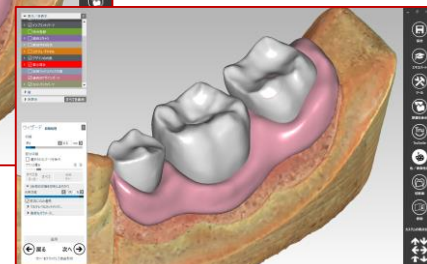
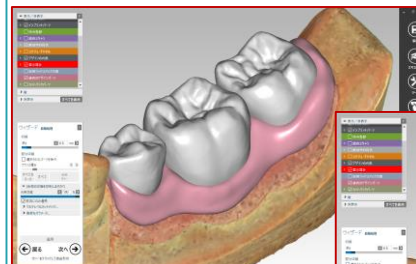
すべての歯に適用。CTRLまたはSHIFTキーを押したまま、適用する歯をクリックして選択します。



【カットバックフレームをデザインします】

ウィザード 収縮処理

カットバックデザインの完了



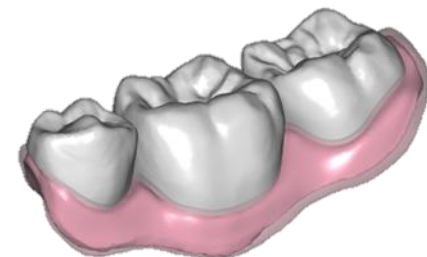
デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。



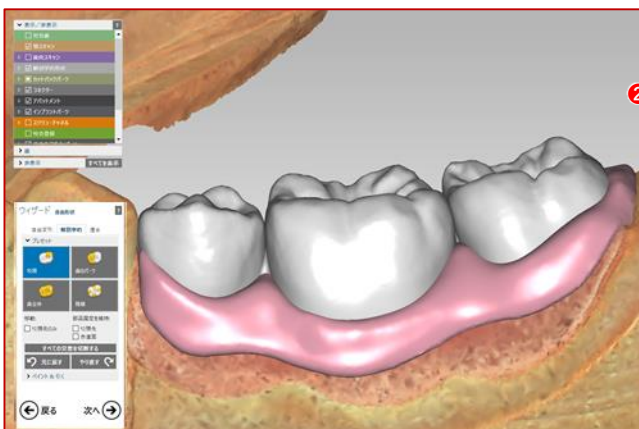


【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします - 歯肉



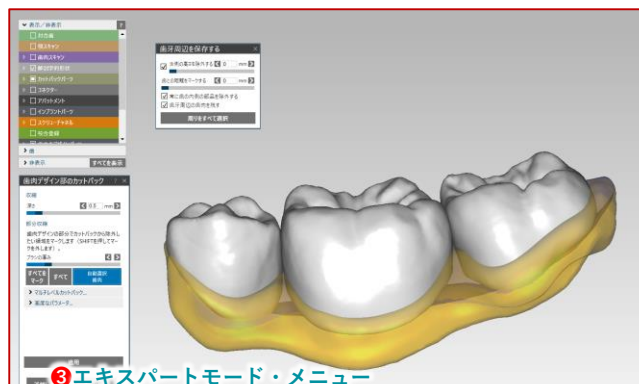
【カットバックフレームをデザインします】 - 歯肉部



**CADメニュー**

- 1 画面右にあるCADメニューから、2 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。
- 2 エキスパート・モードを起動します
- 3 画面下【エキスパートモード・メニュー】より、4 【歯肉デザイン部のカットバック】を起動し、カットバックを行います。

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。



- 4 【歯肉デザイン部のカットバック】ボタンをクリックすると、カットバック・ウィザードが出現します。

歯肉デザイン部のカットバック

【カットバックフレームをデザインします】

歯肉デザイン部のカットバック

- 1 収縮
  - 深さ  mm
- 2 部分収縮
  - 歯肉デザイン部の部分でカットバックから除外したい領域をマークします (SHIFTを押してマークを外します)。
  - ブラシの厚み  mm
- 3 自動選択 歯肉

すべてをマーク すべて 自動選択

マルチレベルカットバック... 高度なパラメータ...

適用

了解しました キャンセル

Step :

1. 1 【収縮】の深さを設定します。
2. 2 【部分収縮】の項目を選択し、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 3 【自動選択 歯肉】を選択すると、歯牙周囲の歯肉を除外、舌側部のデザインを除外など、オプション選択が可能となります
4. デザイン終了後【適用】をクリックします。
5. カットバックされます。

2 【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。  
**色が塗られた箇所以外がカットバックされます。**

- すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。
- 【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。
- すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
- 自動選択歯肉：歯牙周囲を保護するウィンドウが表示されます。

4 歯牙周囲を保存する

- 舌側の高さを除外する  mm
- 歯との距離をマークする  mm
- 常に歯の内側の部品を除外する
- 歯牙周囲の歯肉を残す

周りをすべて選択

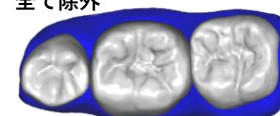
3 【歯牙周囲を保護する】

- 舌側の高さを除外する：舌側から歯牙中心までを除外します。(0~2mm)
- 歯との距離をマークします：歯牙周囲を除外します。(0~2mm)
- 常に歯の内側の部品を除外する：歯牙基底部と歯肉の接触部を除外します。
- 歯牙周囲の歯肉を残す：歯冠入頭部の歯肉を除外します。

全て選択



全て除外



舌側・歯牙周囲を除外



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。



【新規デザインを開始する】

連結部をデザインします

## 【コネクタデザイン】

ウィザード コネクタ

1 形状 フリー

断面

2  コネクタの断面設定

3  コネクタの高さと幅を設定

最小面積  mm<sup>2</sup>

4  コネクタの厚さを視覚化

5 形状

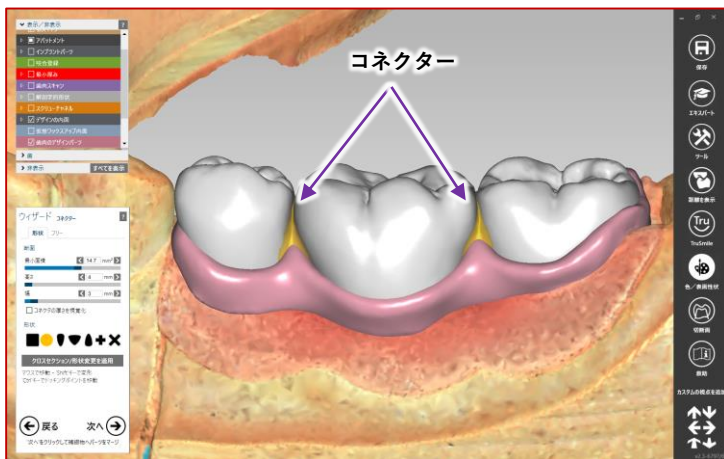
6 クロスセクション/形状変更を適用

マウスで移動・Shiftキーで変形  
Ctrlキーでドッキングポイントを移動

戻る 次へ

### 【形状】

- 【形状】タブから、
  - 【コネクタの断面積】 3 【コネクタの高さと幅】をそれぞれ設定します。
  - 【コネクタの厚さを視覚化】にチェックを入れると、コネクタの厚みが視覚化され、十分な面積があるかを一目で見ることが可能です。
  - 【形状】を選択します。
  - 【クロスセクション/形状変更を適用】をクリックし、3Dデータに適用させます。
- また、コネクタ自体を左ドラッグすることで、適切な位置に移動することができます



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

## 【コネクタデザイン】

ウィザード コネクタ

1 大 フリー

コネクタ制御点

制御点  
Ctrl+クリックで追加  
新しい制御点

動く 中/外

自由移動  
Shift+クリック: 全て移動

コネクタの厚み

0 50 100

厚い 最薄 薄い

元に戻す やり直す

戻る 次へ

次へをクリックして補綴物へパーツをマージ

### 【フリー】

- 【フリー】タブから、コネクタの各ポイントを左ドラッグで移動させ、コネクタデザインを完成させます。

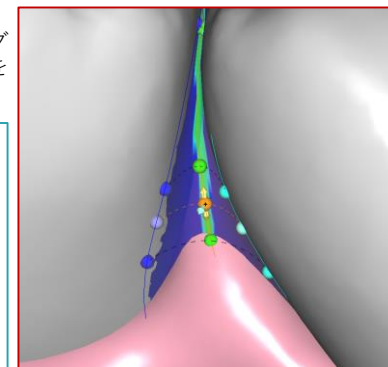
コネクタ制御点

制御点

Ctrl+クリックで追加  
新しい制御点

動く 中/外

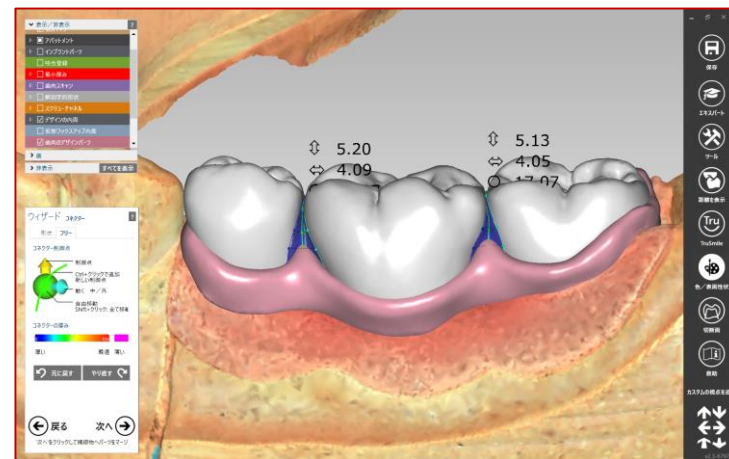
自由移動  
Shift+クリック: 全て移動



### POINT 制御点

両側の【青】のポイントで、面積を決定します。中心の【緑】のポイントはコネクタの形状を決定します。左右に移動させると中心線が変化します。中心線に沿って上下に移動できます。

【Ctrl】+左クリックでポイントを追加できます。



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

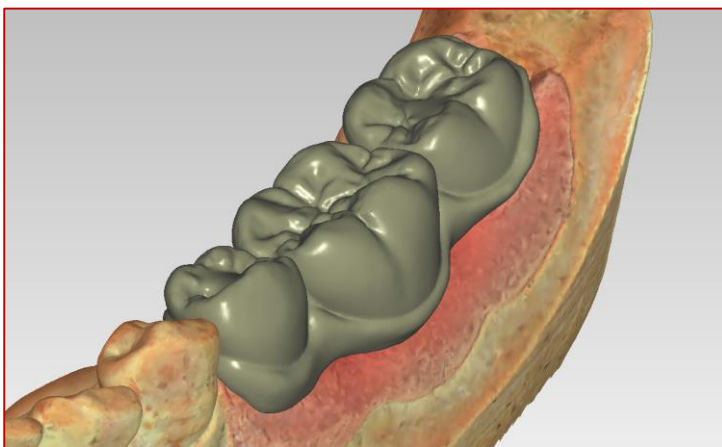


【新規デザインを開始する】

デザインの結合・完了

【デザインを結合します】

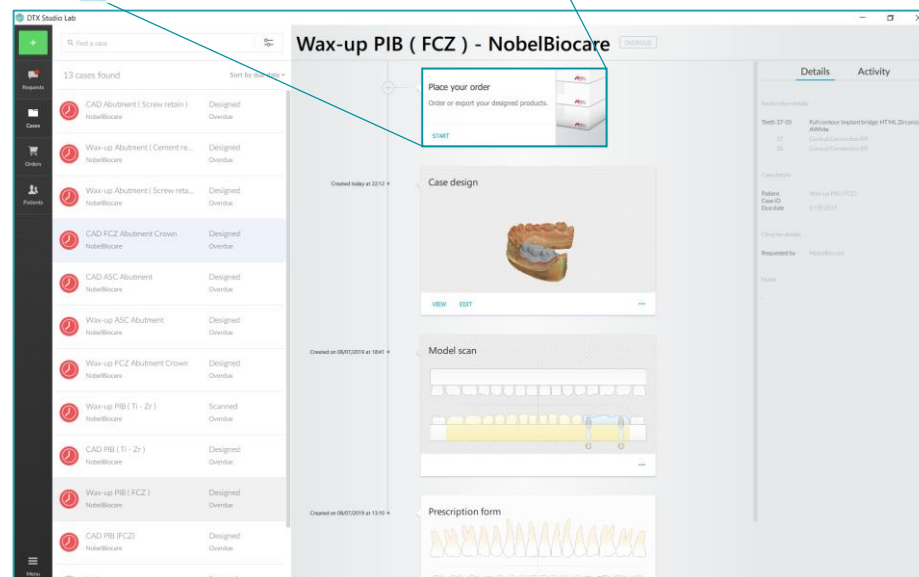
デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います



- 完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます
- フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います
- エキスパートモード：様々なデザイン設計変更をします
- 模型のデザイン：模型の3Dデザインを行います (ModelCleator/要License)

【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・プラットフォームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



# DTX Studio Lab 1.10



GMT xx Nobel Biocare Services AG, 2019. All rights reserved. Distributed by: Nobel Biocare. DTX Studio, Nobel Biocare, the Nobel Biocare logotype and all other trademarks are, if nothing else is stated or is evident from the context in a certain case, trademarks of Nobel Biocare. Please refer to [nobelbiocare.com/trademarks](https://nobelbiocare.com/trademarks) for more information. Product images are not necessarily to scale. Disclaimer: Some products may not be regulatory cleared/released for sale in all markets. Please contact the local sales office for current product assortment and availability. For prescription use only. Caution: Federal (United States) law restricts this device to sale by or on the order of a licensed dentist. See Instructions for Use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and precaution